

令和 6 年度

教 育 委 員 会  
教育行政点検・評価  
報 告 書

(対象：令和 5 年度主要施策)

秦野市教育委員会

# 目 次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 第1章 点検・評価の概要             | 1  |
| 1 点検・評価の目的               | 1  |
| 2 点検・評価の対象               | 1  |
| (1) 教育委員会の活動状況           | 1  |
| (2) 主要施策等                | 1  |
| 3 点検・評価の進め方              | 2  |
| (1) 教育行政点検・評価の実施に関する主な経過 | 2  |
| (2) 教育施策点検・評価会議          | 2  |
| (3) 教育に関する学識経験者（総合評価者）   | 3  |
| (4) 教育委員会                | 3  |
| 第2章 教育委員会の活動状況           | 4  |
| 1 教育委員会会議の活動状況           | 4  |
| (1) 教育委員会会議の開催状況         | 4  |
| (2) 教育委員会会議の審議等の状況       | 5  |
| ア 教育長報告                  | 5  |
| イ 議案                     | 9  |
| ウ 協議事項                   | 9  |
| エ 指名                     | 10 |
| オ その他                    | 10 |
| 2 教育委員会会議以外の活動状況         | 10 |
| 3 教育委員会の活動状況についての点検・評価   | 17 |
| 第3章 令和5年度主要施策            | 21 |
| 1 「令和5年度主要施策」の点検・評価      | 21 |
| (1) 自己点検・評価              | 21 |
| (2) 教育施策点検・評価会議の評価       | 21 |
| (3) 教育長・教育委員の評価          | 21 |
| (4) 令和5年度主要施策一覧          | 23 |
| (5) 点検・評価シート             | 24 |
| 第4章 学識経験者の総合評価           | 75 |

# 第 1 章 点検・評価の概要

## 1 点検・評価の目的

教育行政点検・評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の活動及び具体的教育施策が「秦野市教育委員会基本方針」に沿って効果的に執行されているかを、教育委員会自らが事後に点検・評価を行い、活動及び施策の改善・充実を図るとともに、その結果に関する報告書を議会に提出及び公表し、市民に対する説明責任を果たすことを目的とします。

## 2 点検・評価の対象

令和 5 年度における「教育委員会の活動状況」並びに「教育振興基本計画に基づく主要施策」について点検・評価を実施しました。

### (1) 教育委員会の活動状況

- ア 教育委員会会議の開催状況
- イ 教育委員会会議の審議等の状況
- ウ 教育委員会会議以外の活動状況

### (2) 主要施策等（20 施策）

|     | 令和 4 年度基本方針                                          | 主要<br>施策 |
|-----|------------------------------------------------------|----------|
| 1   | 全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます。   | 4        |
| 2   | 地域とともにある学校づくりを推進します。                                 | 1        |
| 3   | 子どもが安全に安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します。        | 7        |
| 4   | 市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します。 | 6        |
| 5   | 地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます。                         | 2        |
| 合 計 |                                                      | 20       |

### 3 点検・評価の進め方

点検・評価に当たっては、「令和6年度教育委員会教育行政点検・評価の実施方針」及び「令和6年度教育委員会教育行政点検・評価のスケジュール」により実施しました。

また、令和5年度における教育委員会の活動状況については、第2章のとおり、教育委員会会議の開催状況、審議等の状況、教育委員会会議以外の活動状況を点検し、「教育委員会の役割」、「教育委員会会議の活性化」、「教育委員会会議の透明性」及び「教育に関する情報収集」など4つの項目について教育委員による評価を実施しました。

#### (1) 教育行政点検・評価の実施に関する主な経過

| 月 日               | 経 過                    |
|-------------------|------------------------|
| 4月15日(月)～5月2日(木)  | 関係主管課等による自己点検・評価       |
| 5月17日(金)          | 教育委員会会議で活動内容等について協議    |
| 5月23日(木)          | 教育施策点検・評価委員へ評価の依頼      |
| 5月29日(水)～6月12日(水) | 教育施策点検・評価委員による評価       |
| 6月19日(水)          | 教育施策点検・評価会議            |
| 7月19日(金)          | 教育委員会会議で点検・評価報告書について協議 |
| 7月19日(金)          | 点検・評価に関する学習会開催         |
| 8月16日(金)          | 教育委員会会議で点検・評価報告書について議決 |

#### (2) 教育施策点検・評価会議

令和5年度主要施策については、事務局各担当課等の自己評価と併せて、次の表のとおり、PTA役員や元学校長の教育関係者、生涯学習関係者で組織する「教育施策点検・評価会議」から客観的な評価を受けました。

| 区 分     | 氏 名       | 職 名 等           |
|---------|-----------|-----------------|
| 教育関係者   | 内 田 慎 之 介 | P T A 連 絡 協 議 会 |
|         | 竹 石 光 仁   |                 |
|         | 加 藤 し の ぶ | 元 幼 稚 園 長       |
|         | 高 木 俊 樹   | 元 小 学 校 長       |
|         | 小 山 田 幸 弘 | 元 中 学 校 長       |
| 生涯学習関係者 | 高 橋 弘 子   | 社 会 教 育 委 員     |
|         | 熊 澤 広 明   |                 |
|         | 竹 之 内 禎   | 図 書 館 協 議 会 会 長 |

(3) 教育に関する学識経験者（総合評価者）

| 氏 名                 | 所 属 ・ 役 職        |
|---------------------|------------------|
| 大 島 宏<br>(学校教育関係)   | 東海大学 資格教育センター 教授 |
| 逢 坂 伸 一<br>(生涯学習関係) | 東海大学名誉教授         |

(4) 教育委員会

上の表の学校教育関係及び生涯学習関係に関する学識経験者による総合的な評価、意見等を踏まえ、教育長及び教育委員による点検・評価を実施しました。

| 氏 名     | 職 名      |
|---------|----------|
| 佐 藤 直 樹 | 教育長      |
| 牛 田 洋 史 | 教育長職務代理者 |
| 飯 田 文 宏 | 委員       |
| 小 泉 裕 子 | 委員       |
| 内 田 晴 久 | 委員       |

## 第 2 章 教育委員会の活動状況

### I 教育委員会会議の活動状況

#### (I) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、原則として、毎月第 3 金曜日の午後 1 時 30 分から定例教育委員会会議を開催しました。

#### 【令和 5 年度定例会及び臨時会】

| 開 催 日                  | 会 議                               | 付議事件数                                             |
|------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------|
| 令和 5 年<br>4 月 14 日 (金) | 4 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 1 名  | ○教育長報告 19 件<br>○協議事項 2 件                          |
| 5 月 15 日 (月)           | 5 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 4 名  | ○教育長報告 13 件<br>○議 案 2 件<br>○協議事項 1 件<br>○その他 1 件  |
| 6 月 21 日 (水)           | 6 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 1 名  | ○教育長報告 11 件<br>○協議事項 2 件<br>○その他 1 件              |
| 7 月 14 日 (金)           | 7 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし   | ○教育長報告 8 件<br>○協議事項 1 件                           |
| 7 月 28 日 (金)           | 7 月臨時教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 15 名 | ○議 案 3 件                                          |
| 8 月 18 日 (金)           | 8 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし   | ○教育長報告 7 件<br>○議 案 2 件<br>○協議事項 1 件               |
| 9 月 5 日 (火)            | 9 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし   | ○教育長報告 9 件<br>○議 案 2 件<br>○協議事項 2 件               |
| 10 月 27 日 (金)          | 10 月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし  | ○教育長報告 11 件<br>○議 案 3 件<br>○協議事項 2 件<br>○その他 2 件  |
| 11 月 9 日 (木)           | 11 月定例教育委員会<br>欠席委員 1 名<br>傍聴者 なし | ○教育長報告 7 件<br>○議 案 1 件                            |
| 12 月 15 日 (金)          | 12 月定例教育委員会<br>欠席委員 1 名<br>傍聴者 なし | ○請 願 等 1 件<br>○教育長報告 9 件<br>○協議事項 2 件<br>○その他 1 件 |

| 開催日                       | 会議                             | 付議事件数                                                                   |
|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年<br>1月19日(金)          | 1月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし | ○教育長報告 13件<br>○議 案 1件<br>○協議事項 3件<br>○その他 2件                            |
| 2月 9日(金)                  | 2月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし | ○教育長報告 7件<br>○議 案 2件<br>○協議事項 1件<br>○その他 1件                             |
| 3月15日(金)                  | 3月定例教育委員会<br>欠席委員 なし<br>傍聴者 なし | ○教育長報告 14件<br>○議 案 2件<br>○協議事項 1件<br>○指 名 1件                            |
| 定例教育委員会 12回<br>臨時教育委員会 1回 |                                | ○請 願 等 1件<br>○教育長報告 128件<br>○議 案 18件<br>○協議事項 18件<br>○指 名 1件<br>○その他 8件 |

## (2) 教育委員会会議の審議等の状況

令和5年度の教育委員会会議においては、議案18件及び請願等1件の審議、協議事項18件の協議、指名1件を行うとともに、教育長の臨時代理14件を含む128の案件、その他8件について報告を受けて質疑を行いました。

### ア 教育長報告【128件】

| 番号 | 案件名                           | 報告日           |
|----|-------------------------------|---------------|
| 1  | 令和5年5月の開催行事等について              | 令和5年<br>4月14日 |
| 2  | 秦野市議会第1回定例会月会議報告について          |               |
| 3  | 園児、児童、生徒及び学級数について             |               |
| 4  | 教育支援協議会等の結果について               |               |
| 5  | 令和5年度秦野こども未来づくり会議について         |               |
| 6  | 教科学習支援員派遣事業の結果について            |               |
| 7  | コミュニティ・スクールについて               |               |
| 8  | 令和4年度ICTマイスター事業報告について         |               |
| 9  | スマートスクール研究実践事業報告について          |               |
| 10 | 令和4年度「園小接続カリキュラム部会」活動報告について   |               |
| 11 | 第14回秦野市親子川柳大会の作品募集について        |               |
| 12 | 前田夕暮生誕140周年記念事業について           |               |
| 13 | 図書館こどもの読書フェアについて              |               |
| 1  | 令和5年6月の開催行事等について              | 5月15日         |
| 2  | ほりかわ幼稚園のこども園化について             |               |
| 3  | 令和4年度幼稚園型一時預かり事業について          |               |
| 4  | 令和4年度一般財団法人秦野市学校保全公社の経営状況について |               |

| 番号 | 案件名                                                                   | 報告日   |
|----|-----------------------------------------------------------------------|-------|
| 5  | 園児、児童、生徒及び学級数について                                                     | 5月15日 |
| 6  | 小中学校教職員の時間外在校等時間集計結果（令和4年度）について                                       |       |
| 7  | 令和5年度教科書展示会について                                                       |       |
| 8  | コミュニティ・スクールについて                                                       |       |
| 9  | 令和5年度教育研究所研究部会について                                                    |       |
| 10 | 震生湖誕生100周年記念事業について                                                    |       |
| 11 | 令和5年度はだの生涯学習講座について                                                    |       |
| 1  | 令和5年7月の開催行事等について                                                      | 6月21日 |
| 2  | 秦野市学校ネットワークシステム更新業務に係る優先交渉権者の決定について                                   |       |
| 3  | 第1回秦野こども未来づくり会議について                                                   |       |
| 4  | 学びのステップアップ講座授業日程について                                                  |       |
| 5  | コミュニティ・スクールについて                                                       |       |
| 6  | 令和4年度英語教育実施状況調査の結果について                                                |       |
| 7  | 新たな学びプロジェクトが目指すものについて                                                 |       |
| 8  | 広域連携中学生交流洋上体験研修事業について                                                 |       |
| 9  | 企画展「震生湖 保存と活用の歩み」について                                                 |       |
| 10 | 前田夕暮生誕140周年記念第37回夕暮記念こども短歌大会作品募集について                                  |       |
| 1  | 令和5年8月の開催行事等について                                                      | 7月14日 |
| 2  | 秦野市議会第2回定例会月会議報告について                                                  |       |
| 3  | 子ども等に関する事案について                                                        |       |
| 4  | 第41回教育研究発表会について                                                       |       |
| 5  | 公民館における夏休み期間の学習室等開放について                                               |       |
| 6  | 震生湖誕生100周年記念事業 企画展「関東大震災、その時秦野では。」について                                |       |
| 7  | 市指定無形民俗文化財「鶴巻下部大山灯籠行事」及び「瓜生野百八松明・盆踊り」について                             |       |
| 8  | 前田夕暮生誕140周年記念第36回夕暮祭短歌大会表彰式について                                       |       |
| 1  | 令和5年9月の開催行事等について                                                      | 8月18日 |
| 2  | 非常食を活用した防災教育の推進について                                                   |       |
| 3  | ドリームワイドプロジェクトが目指すもの<br>(1) 鹿児島県徳之島町中高生との交流会<br>(2) 本町中学校デジタル通学路マップの取組 |       |
| 4  | 園小中一貫教育推進に係る視察の結果について                                                 |       |
| 5  | 令和5年度公民館運営点検・評価について                                                   |       |
| 6  | 令和5年度「秦野たばこ資料展」について                                                   |       |
| 7  | 楽しい絵本とおはなしの講座について                                                     |       |
| 1  | 令和5年10月の開催行事等について                                                     | 9月5日  |
| 2  | 第2回秦野こども未来づくり会議の実施結果について                                              |       |
| 3  | 子ども等に関する事案について                                                        |       |
| 4  | 「第41回教育研究発表会～はだのっ子学び舎プロジェクトが目指すもの～」の実施結果について                          |       |
| 5  | 第3回新規採用教職員研修会の実施結果について                                                |       |
| 6  | 令和5年度桜土手古墳公園活性化事業「古墳 de YOGA」について                                     |       |

| 番号 | 案件名                                    | 報告日           |
|----|----------------------------------------|---------------|
| 7  | 企画展「学制150年わたりの学び舎ヒストリー」について            | 9月5日          |
| 8  | 令和5年度市民大学について                          |               |
| 9  | 花音朗読コンサート2023について                      |               |
| 1  | 令和5年11月の開催行事等について                      | 10月27日        |
| 2  | 秦野市議会第3回定例会月会議報告について                   |               |
| 3  | 令和5年度第1回コミュニティ・スクール連絡協議会の結果について        |               |
| 4  | 園小中一貫教育に係る読書活動の推進について                  |               |
| 5  | 通級指導教室の運用について                          |               |
| 6  | 民間企業と連携した新たな学びプロジェクトについて               |               |
| 7  | スマートスクール構想の実現に向けて                      |               |
| 8  | 令和5年度指定文化財特別公開について                     |               |
| 9  | 企画展「村の戦いと暮らしー江戸時代の秦野」について              |               |
| 10 | 前田夕暮生誕140周年記念 古典の日・文学講演会について           |               |
| 11 | 秋の読書週間について                             |               |
| 1  | 令和5年12月の開催行事等について                      | 11月9日         |
| 2  | 小中学校教職員の時間外在校等時間集計結果（令和5年度上半期）について     |               |
| 3  | 令和4年度児童・生徒の問題行動・不登校等調査結果について           |               |
| 4  | 第14回秦野市親子川柳大会の入賞作品について                 |               |
| 5  | 第49回親と子の音楽会について                        |               |
| 6  | 「古墳 de YOGA」の結果について                    |               |
| 7  | 前田夕暮生誕140周年記念 第37回夕暮記念こども短歌大会の入賞作品について |               |
| 1  | 令和6年1月の開催行事等について                       | 12月15日        |
| 2  | みらいの学び舎シンポジウムの実施結果について                 |               |
| 3  | 第3回秦野こども未来づくり会議の結果について                 |               |
| 4  | 子ども等に関する事案について                         |               |
| 5  | 秦野市学びの基盤プロジェクトが目指すものについて               |               |
| 6  | Future Cycle Projectが目指すものについて         |               |
| 7  | 広域連携中学生交流洋上体験研修事業の結果について               |               |
| 8  | 企画展「お金のはなしあれやこれーお金をとおして見る秦野の歴史ー」について   |               |
| 1  | 令和6年2月の開催行事等について                       | 令和6年<br>1月19日 |
| 2  | 秦野市議会第4回定例会月会議報告について                   |               |
| 3  | 学校ネットワークシステムの準備稼働開始について                |               |
| 4  | 令和5年度「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査」の実施について  |               |
| 5  | 新たな学びプロジェクトが目指すものについて                  |               |
| 6  | 子ども等に関する事案について                         |               |
| 7  | 企画展「戦争と人びとの生活～戦いは、戦地だけではない～」について       |               |
| 8  | 令和5年度 第4回ミュージアムさくら塾「お札の肖像とその変遷」について    |               |
| 9  | ミュージアム青空レクチャー「東地区（田原）の文化財」について         |               |
| 10 | 大人のためのおはなし会について                        |               |
| 11 | 令和5年度児童文学講座について                        |               |

| 番号 | 案件名                                    | 報告日   |
|----|----------------------------------------|-------|
| 1  | 令和6年3月の開催行事等について                       | 2月9日  |
| 2  | 令和5年度「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査結果」について   |       |
| 3  | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について               |       |
| 4  | 寺子屋放課後学習支援の現状について                      |       |
| 5  | 東京ガス・秦野ガスと連携した効果定量型省エネ教育プログラムの実施について   |       |
| 6  | 令和5年度はだのっ子アワード事業の実績報告について              |       |
| 7  | 令和5年度子ども読書活動推進事業講演会について                |       |
| 1  | 令和6年4月の開催行事等について                       | 3月15日 |
| 2  | 子ども等に関する事案について                         |       |
| 3  | 教育データの利活用に向けた全国フォーラムについて               |       |
| 4  | 新たな学びプロジェクトが目指すものについて                  |       |
| 5  | 令和6年度学校教育関係事業について                      |       |
| 6  | 教育支援教室いずみ事業報告について                      |       |
| 7  | 訪問型個別支援教室つばさ事業報告について                   |       |
| 8  | 義務教育学校研修視察の結果について                      |       |
| 9  | 企画展「桜土手古墳群 調査と活用・50年のあゆみ」について          |       |
| 10 | ミュージアムさくら塾「桜土手古墳群発掘秘史 エピソードで綴る桜土手」について |       |
| 11 | 前田夕暮生誕140周年記念事業の実施報告について               |       |
| 12 | 第37回夕暮祭短歌大会の開催及び作品募集について               |       |

| 報告番号 | 臨時代理の報告について                            | 報告日           |
|------|----------------------------------------|---------------|
| R5-7 | 秦野市教育委員会事務局職員の任免について                   | 令和5年<br>4月14日 |
| 8    | 秦野市教育委員会職員の任免について                      |               |
| 9    | 秦野市個人情報の保護に関する法律施行細則を制定することについて        |               |
| 10   | 秦野市立学校教育施設の開放に関する規則の一部を改正することについて      |               |
| 11   | 秦野市教育委員会事務決裁規程の一部を改正することについて           |               |
| 12   | 補助執行に係る協議について                          |               |
| 13   | 秦野市教育委員会所管の公の施設の事務室等管理規則の一部を改正することについて | 5月15日         |
| 14   | 秦野市教育委員会関係施設の防火管理者を定める規程の一部を改正することについて |               |
| 15   | 秦野市社会教育委員の委嘱について                       | 6月21日         |
| 16   | 令和5年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について        | 12月15日        |

| 報告<br>番号 | 臨時代理の報告について                     | 報告日           |
|----------|---------------------------------|---------------|
| R6<br>-1 | 令和5年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について | 令和6年<br>1月19日 |
| 2        | 令和6年度管理職候補者の推薦について              |               |
| 3        | 秦野市小中学校管理職の退職の内申について            | 3月15日         |
| 4        | 秦野市小中学校管理職の任免の内申について            |               |

## イ 議 案【18件】

| 議案番号      | 案件名                                   | 審議日           |
|-----------|---------------------------------------|---------------|
| R5<br>-11 | 令和6年度に秦野市立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針について | 5月15日         |
| 12        | 令和5年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について            |               |
| 13        | 令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について            | 7月28日         |
| 14        | 令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択について            |               |
| 15        | 令和6年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について   |               |
| 16        | 令和5年度教育委員会教育行政点検・評価について               | 8月18日         |
| 17        | 秦野市図書館協議会委員の委嘱又は任命について                |               |
| 18        | 令和4年度秦野市一般会計（教育費）決算について               | 9月5日          |
| 19        | ほりかわ幼稚園のこども園化に係る不動産（建物）の無償譲渡について      |               |
| 20        | 令和6年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針について        | 10月27日        |
| 21        | 令和6年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針について              |               |
| 22        | 令和5年度秦野市教育委員会教育功労者等表彰・教育長表彰について       |               |
| 23        | 秦野市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱又は任命について          | 11月9日         |
| R6<br>-1  | 秦野市立学校の設置に関する条例の一部を改正することについて         | 令和6年<br>1月19日 |
| 2         | 令和6年度秦野市一般会計（教育費）予算について               | 2月9日          |
| 3         | 令和5年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について            |               |
| 4         | 令和6年度秦野市教育委員会基本方針及び主要施策について           | 3月15日         |
| 5         | 秦野市教育委員会事務局組織規則の一部を改正することについて         |               |

## ウ 協議事項【18件】

| 番号 | 案件名                     | 協議日           |
|----|-------------------------|---------------|
| 1  | 令和5年度教育委員会教育行政点検・評価について | 令和5年<br>4月14日 |
| 2  | 教科用図書採択に関わる日程等について      |               |
| 3  | 令和5年度教育委員会教育行政点検・評価について | 5月15日         |
| 4  | 学校施設等の一体的整備について         | 6月21日         |
| 5  | 学校DXの推進に向けた体制の整備について    |               |
| 6  | 令和5年度教育委員会教育行政点検・評価について | 7月14日         |

| 番号 | 案件名                                        | 協議日           |
|----|--------------------------------------------|---------------|
| 7  | 小規模特認校（上小学校）の令和6年度就学生の募集について               | 8月18日         |
| 8  | 令和6年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針（案）について                | 9月5日          |
| 9  | 令和6年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針（案）について          |               |
| 10 | 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析について                  | 10月27日        |
| 11 | 秦野市立学校運営協議会の設置の申出及び委員の推薦について               |               |
| 12 | 令和6年度秦野市一般会計（教育費）予算編成について                  | 12月15日        |
| 13 | 上小学校長による上幼稚園長の兼職について                       |               |
| 14 | 令和6年度秦野市一般会計（教育費）予算（案）について                 | 令和6年<br>1月19日 |
| 15 | みんなで考えるみらいの学校整備指針（素案）について                  |               |
| 16 | 医療的ケア児に係る支援体制について                          | 2月9日          |
| 17 | 園小中一貫教育に係る教育課程の編成方針について                    |               |
| 18 | はだのっ子学びと育ちの架け橋づくり～園小中一貫教育に係る教育課程の編成指針～について | 3月15日         |

## エ 指名【1件】

| 番号 | 案件名             | 報告日           |
|----|-----------------|---------------|
| 1  | 教育長職務代理者の指名について | 令和6年<br>3月15日 |

## オ その他【8件】

| 番号 | 案件名                      | 協議・報告日        |
|----|--------------------------|---------------|
| 1  | 要望書について                  | 令和5年<br>5月15日 |
| 2  | 令和5年度園・校における防災訓練の結果について  | 6月21日         |
| 3  | 令和6年度予算編成について            | 10月27日        |
| 4  | 学校体育施設開放に伴う電子錠の試行運用について  |               |
| 5  | ヤングケアラーの早期発見と支援体制の充実に向けて | 12月15日        |
| 6  | 令和6年度教育委員会会議等日程（案）について   | 令和6年<br>1月19日 |
| 7  | 要望書について                  |               |
| 8  | 要望書等について                 | 2月9日          |

## 2 教育委員会会議以外の活動状況

令和5年度においては、定例会のほか、総合教育会議、学校等訪問、学習会、研修会、各種事業等の活動に83回（延べ142人）参加及び出席しました。

| No. | 月 日              | 活動等の名称                             | 活 動 内 容    | 区分  |
|-----|------------------|------------------------------------|------------|-----|
| 1   | 令和5年<br>4月 5日(水) | 教育支援助手・特別支援<br>学級介助員研修会<br>【教育指導課】 | 挨拶         | 会 議 |
| 2   | 4月13日(木)         | 学びのステップアップ講座<br>（委嘱式）<br>【教育指導課】   | 挨拶及び委嘱状の交付 | 式 典 |

| No. | 月 日      | 活動等の名称                               | 活 動 内 容                                | 区 分   |
|-----|----------|--------------------------------------|----------------------------------------|-------|
| 3   | 4月15日(土) | 秦野市PTA連絡協議会総会<br>【生涯学習課】             | 挨拶                                     | 会 議   |
| 4   | 4月21日(金) | 広域連携中学生交流洋上体験研修事業第1回実行委員会<br>【生涯学習課】 | 挨拶                                     | 会 議   |
| 5   | 4月27日(木) | 教育研究所研究員委嘱式<br>【教育研究所】               | 挨拶及び委嘱状の交付                             | 式 典   |
| 6   | 5月 7日(日) | 第1回秦野こども未来づくり会議<br>【教育指導課】           | 市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、明るい未来を目指して意見交換を行う | 会 議   |
| 7   | 5月16日(火) | 新採用・転任採用教職員研修会<br>【教育研究所】            | 講話等                                    | 会 議   |
| 8   |          | 園・学校訪問<br>(大根中学校)<br>【教育総務課】         | 園長・学校長との意見交換等                          | 学校等訪問 |
| 9   | 5月17日(水) | 令和5年度第1回教科用図書採択検討委員会<br>【教育指導課】      | 令和6年度使用教科用図書の採択について                    | 会 議   |
| 10  |          | 先進地視察<br>(大空学園義務教育学校)<br>【教育指導課】     | 本市教育行政の発展のため先進地の視察を行う                  | 視 察   |
| 11  | 5月26日(金) | 関東甲信越静市町村教育委員会連合会<br>【教育総務課】         | 総会及び研修会                                | 会 議   |
| 12  | 5月31日(水) | 令和5年度第1回図書館協議会<br>【図書館】              | 挨拶                                     | 会 議   |
| 13  | 6月 1日(木) | 園・学校訪問<br>(本町中学校)<br>【教育総務課】         | 園長・学校長との意見交換等                          | 学校等訪問 |
| 14  | 6月 7日(水) | 園・学校訪問<br>(渋沢中学校)<br>【教育総務課】         | 園長・学校長との意見交換等                          | 学校等訪問 |
| 15  | 6月22日(木) | 園・学校訪問<br>(南が丘小学校)<br>【教育総務課】        | 園長・学校長との意見交換等                          | 学校等訪問 |
| 16  | 6月26日(月) | 学びのステップアップ講座授業づくり研修会<br>【教育指導課】      | 挨拶                                     | 会 議   |
| 17  | 6月27日(火) | 第1回社会教育委員会会議<br>【生涯学習課】              | 挨拶                                     | 会 議   |
| 18  | 6月28日(水) | 園・学校訪問<br>(渋沢小・渋沢中学校)<br>【教育総務課】     | 園長・学校長との意見交換等                          | 学校等訪問 |

| No. | 月 日      | 活動等の名称                                | 活 動 内 容                                      | 区 分        |
|-----|----------|---------------------------------------|----------------------------------------------|------------|
| 19  | 6月30日(金) | 園・学校訪問<br>(北小学校)<br>【教育総務課】           | 園長・学校長との意見交換等                                | 学校等<br>訪 問 |
| 20  | 7月 3日(月) | 令和5年度第2回教科用図書採択検討委員会<br>【教育指導課】       | 令和6年度使用教科用図書の採択について(調査員報告)                   | 会 議        |
| 21  | 7月 5日(水) | 学びのステップアップ講座<br>本町小学校訪問<br>【教育指導課】    | 挨拶及び授業観察                                     | 学校等<br>訪 問 |
| 22  | 7月 6日(木) | 園・学校訪問<br>(本町小学校)<br>【教育総務課】          | 園長・学校長との意見交換等                                | 学校等<br>訪 問 |
| 23  | 7月10日(月) | オンライン会議<br>(文部科学省)<br>【教育指導課】         | 意見交換                                         | 会 議        |
| 24  | 7月13日(木) | 園・学校訪問<br>(南中学校)<br>【教育総務課】           | 園長・学校長との意見交換等                                | 学校等<br>訪 問 |
| 25  | 7月14日(金) | 学習会<br>【教育総務課】                        | 教育行政点検・評価                                    | 学習会        |
| 26  |          | 令和6年度使用教科用図書学習会<br>【教育指導課】            | 令和6年度の教科用図書採択替えに関する学習会                       | 学習会        |
| 27  | 7月20日(木) | 令和6年度使用教科用図書学習会<br>【教育指導課】            | 令和6年度の教科用図書採択替えに関する学習会                       | 学習会        |
| 28  |          | 先進地視察<br>(大阪府箕面市教育委員会)<br>【教育総務課】     | 本市教育行政の発展のため先進地の視察を行う(オンライン)                 | 視 察        |
| 29  | 7月24日(月) | 園・学校訪問<br>(訪問型個別支援教室「つばさ」)<br>【教育指導課】 | 意見交換等                                        | 学校等<br>訪 問 |
| 30  | 7月26日(水) | 第1回総合教育会議<br>【教育総務課】                  | 首長と教育委員会が教育政策の方向性を共有するため、本市教育行政に関する協議、調整を行う。 | 会 議        |
| 31  | 7月27日(木) | 先進地視察<br>(静岡県沼津市立静浦小中一貫学校)<br>【教育研究所】 | 本市教育行政の発展のため先進地の視察を行う(オンライン)                 | 視 察        |

| No. | 月 日      | 活動等の名称                                     | 活 動 内 容                                                    | 区 分        |
|-----|----------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------|
| 32  | 7月29日(土) | 前田夕暮生誕140周年記念・第36回夕暮祭短歌大会<br>【図書館】         | 表彰式等                                                       | 式 典        |
| 33  | 7月31日(月) | 第1回コミュニティ・スクール連絡協議会<br>【教育指導課】             | 挨拶及び事業の説明                                                  | 会 議        |
| 34  | 8月 4日(金) | 新採用教員研修会<br>【教育研究所】                        | 本市の特色を生かした自然や歴史とふれあう中で、仲間との連帯感を深めるとともに、「人格的資質・情熱」について再確認する | 会 議        |
| 35  |          | 園・学校訪問<br>(訪問型個別支援教室「つばさ」)<br>【教育指導課】      | 意見交換等                                                      | 学校等<br>訪 問 |
| 36  | 8月 5日(土) | 広域連携中学生交流洋上体験研修事業出発式<br>【生涯学習課】            | 出発式及び記念撮影に参加                                               | 式 典        |
| 37  | 8月 7日(月) | 神奈川県市町村教育委員会連合会<br>【教育総務課】                 | 役員会                                                        | 会 議        |
| 38  |          | 新採用教員研修会<br>【教育研究所】                        | 本市の特色を生かした自然や歴史とふれあう中で、仲間との連帯感を深めるとともに、「人格的資質・情熱」について再確認する | 会 議        |
| 39  | 8月17日(木) | 第2回秦野こども未来づくり会議<br>【教育指導課】                 | 市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、明るい未来を目指して意見交換を行う                     | 会 議        |
| 40  | 8月18日(金) | 園・学校訪問<br>(東中学校)<br>【教育総務課】                | 園長・学校長との意見交換等                                              | 学校等<br>訪 問 |
| 41  |          | かながわ<br>ティーチャーズデイ<br>(総合教育センター)<br>【教育研究所】 | 研究発表会参加                                                    | 事 業<br>参 加 |
| 42  | 8月23日(水) | 第41回教育研究発表会<br>【教育研究所】                     | フルインクルーシブ教育及び教育研究等のパネルディスカッション形式の発表                        | 事 業<br>参 加 |
| 43  | 8月29日(火) | オンライン会議<br>(OEC D教育局)<br>【教育指導課】           | 意見交換等                                                      | 会 議        |

| No. | 月 日       | 活動等の名称                               | 活 動 内 容                                                                                       | 区 分        |
|-----|-----------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 44  | 9月 2日(土)  | 震生湖誕生100周年記念式典<br>【生涯学習課】            | 関東大地震による誕生から100年を迎える震生湖を震災遺構と捉え、記憶と教訓を後世に伝え引き継いでいくことを再確認する節目として開催                             | 式 典        |
| 45  | 9月 3日(日)  | 園・学校訪問<br>(東中学校)<br>【防災課】            | 総合防災訓練参加                                                                                      | 学校等<br>訪 問 |
| 46  | 9月27日(水)  | 全国学力・学習状況調査研究推進連絡会<br>【教育指導課】        | 挨拶及び事業説明                                                                                      | 会 議        |
| 47  | 9月29日(金)  | 園・学校訪問<br>(末広小学校)<br>【教育総務課】         | 園長・学校長との意見交換等                                                                                 | 学校等<br>訪 問 |
| 48  | 10月 5日(木) | 園・学校訪問<br>(広畑小学校)<br>【教育総務課】         | 園長・学校長との意見交換等                                                                                 | 学校等<br>訪 問 |
| 49  | 10月21日(土) | おおね公民館まつり<br>【生涯学習課】                 | 挨拶                                                                                            | 式 典        |
| 50  | 10月31日(火) | 第2回社会教育委員会<br>【生涯学習課】                | 挨拶                                                                                            | 会 議        |
| 51  | 11月 5日(日) | 第3回秦野こども未来づくり会議<br>【教育指導課】           | 市内小・中学校代表児童・生徒、教員が集い、明るい未来を目指して意見交換を行う                                                        | 会 議        |
| 52  | 11月 6日(月) | 文部科学省地方教育アドバイザー視察兼学習会<br>【教育指導課】     | 視察同行の後、学びの基盤プロジェクト学習会挨拶及び参加                                                                   | 学校等<br>訪 問 |
| 53  | 11月 7日(火) | 先進地視察<br>(鳥取県鳥取市立鹿野学園)<br>【教育総務課】    | 本市教育行政の発展のため先進地の視察を行う(オンライン)                                                                  | 視 察        |
| 54  | 11月10日(金) | 第28回全国報徳サミット御殿場市大会総会及び交歓会<br>【生涯学習課】 | 報徳仕法の検証を通して、これからのまちづくりに必要な取り組みを学ぶため、加盟市町村の長が一堂に会し、開催される「全国報徳サミット」の総会及び交歓会に出席、翌日に社会教育委員と合同で視察。 | 事 業<br>参 加 |
| 55  | 11月11日(土) | 第28回全国報徳サミット御殿場市大会<br>【生涯学習課】        |                                                                                               | 事 業<br>参 加 |
| 56  | 11月12日(日) | 第14回秦野市親子川柳大会表彰式<br>【生涯学習課】          | 挨拶及び表彰状贈呈                                                                                     | 式 典        |
| 57  | 11月14日(火) | 園・学校訪問<br>(南中学校)<br>【教育指導課】          | 部活動地域移行の視察                                                                                    | 学校等<br>訪 問 |

| No. | 月 日              | 活動等の名称                                   | 活 動 内 容                                              | 区 分        |
|-----|------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------|------------|
| 58  | 11月16日(木)        | 第2回総合教育会議<br>【教育総務課】                     | 首長と教育委員会が教育政策の方向性を共有するため、本市教育行政に関する協議、調整を行う。         | 会 議        |
| 59  | 11月23日(木)        | みらいの学び舎シンポジウム<br>【教育総務課】                 | 講演やディスカッションを通して、将来の学校施設のあり方を考えていくためのきっかけづくりとするシンポジウム | 事 業<br>参 加 |
| 60  |                  | 第2回コミュニティ・スクール連絡協議会<br>【教育指導課】           | みらいの学び舎シンポジウムを同協議会の研修に位置付けて開催                        | 会 議        |
| 61  |                  | 前田夕暮生誕140周年記念第37回夕暮記念こども短歌大会表彰式<br>【図書館】 | 表彰式                                                  | 式 典        |
| 62  | 11月25日(土)        | 西公民館まつり開会式<br>【生涯学習課】                    | 挨拶                                                   | 式 典        |
| 63  | 11月29日(水)        | 令和5年度第2回図書館協議会<br>【図書館】                  | 挨拶                                                   | 会 議        |
| 64  | 12月 2日(土)        | 生徒会意見交換会<br>(堀川公民館)<br>【教育指導課】           | 意見交換等                                                | 学校等<br>訪 問 |
| 65  | 12月 8日(金)        | 本町小中学校第1回運営協議会<br>【教育指導課】                | 挨拶                                                   | 会 議        |
| 66  | 12月 9日(土)        | 南公民館まつり開会式<br>【生涯学習課】                    | 挨拶                                                   | 式 典        |
| 67  | 12月10日(日)        | 第49回親と子の音楽会<br>【生涯学習課】                   | 挨拶                                                   | 事 業<br>参 加 |
| 68  | 令和6年<br>1月 5日(金) | 令和6年 新年賀詞交換会<br>【秘書課】                    | 式典                                                   | 式 典        |
| 69  |                  | オンライン会議<br>(文部科学省)<br>【教育指導課】            | 意見交換等                                                | 会 議        |
| 70  | 1月20日(土)         | 秦野市教育委員会教育功労者等表彰式<br>【教育総務課】             | 本市の教育や学術等の振興に貢献した個人・団体を表彰する。                         | 式 典        |
| 71  |                  | はだのっ子アワード表彰式<br>【教育研究所】                  | 「はだのっ子アワード事業」において優秀な成績を修めた児童・生徒を表彰する。                | 式 典        |
| 72  | 1月25日(木)         | 園・学校訪問<br>(末広小学校)<br>【教育総務課】             | 園長・学校長との意見交換等                                        | 学校等<br>訪 問 |
| 73  | 1月29日(月)         | プログラミング教育公開授業(東小学校)<br>【教育指導課】           | 挨拶及び授業観察                                             | 学校等<br>訪 問 |

| No. | 月 日      | 活動等の名称                            | 活 動 内 容               | 区 分        |
|-----|----------|-----------------------------------|-----------------------|------------|
| 74  | 2月 7日(土) | オンライン会議<br>(総務省)<br>【教育指導課】       | 意見交換等                 | 会 議        |
| 75  |          | 園・学校訪問<br>(北幼稚園)<br>【教育総務課】       | 園長・学校長との意見交換等         | 学校等<br>訪 問 |
| 76  | 2月 8日(木) | オンライン会議<br>(文部科学省)<br>【教育指導課】     | 意見交換等                 | 会 議        |
| 77  | 2月14日(水) | オンライン会議<br>(OECD教育局)<br>【教育指導課】   | 意見交換等                 | 会 議        |
| 78  | 2月17日(土) | 鶴巻公民館まつり開会式<br>【生涯学習課】            | 挨拶                    | 式 典        |
| 79  | 2月19日(月) | 先進地視察<br>(八王子市いずみの森学園)<br>【教育研究所】 | 本市教育行政の発展のため先進地の視察を行う | 視 察        |
| 80  | 2月20日(火) | 第3回社会教育委員会<br>【生涯学習課】             | 挨拶                    | 会 議        |
| 81  | 2月21日(水) | 学びのステップアップ講座<br>修了式 【教育指導課】       | 挨拶及び終了証の交付            | 式 典        |
| 82  | 3月 7日(木) | オンライン会議<br>(総務省)<br>【教育指導課】       | 意見交換等                 | 会 議        |
| 83  | 3月27日(水) | 令和5年度第3回図書館協<br>議会 【図書館】          | 挨拶                    | 会 議        |

### 3 教育委員会の活動状況についての点検・評価

教育委員会の役割、教育委員会会議の活性化・透明性及び教育に関する情報収集の4つの視点から点検し、教育長・教育委員による評価を行いました。

| 点検項目                    | 内容（ ）は令和４年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 評価・意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育委員会<br>の役割につ<br>いて    | 指揮監督等<br>○指揮監督案件数<br>173件(187件)<br>○改善・充実等の指示・意見等数<br>42件(32件)<br>○反映等の結果<br>反映・実施 14件(24件)<br>検討・一部反映 28件(7件)<br>現状維持・未実施 0件(1件)                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 様々な分野の教育委員が判断に偏りが出ないように、審議や協議等を行い、住民のニーズに適切に対応できる教育行政の実現のため、活発な議論を行った結果、より良い効果をもたらす具体的な指示や意見の発言につながった。<br>今後も教育を取り巻く現状や住民ニーズの把握に努め、課題解決に向けて適正な活動を行っていきたい。                                                                                                                                                                                                 |
| 教育委員会<br>会議の活性<br>化について | 開催回数<br>○定例会 12回(12回)<br>○臨時会 1回(0回)<br>※規則で定める回数は毎月1回<br>○欠席委員数 延べ2人(延べ0人)<br><br>教育委員会会議以外の活動<br>○園・学校訪問 23回(1回)延べ 23人(1人)<br>○学習会 3回(1回)延べ 15人(5人)<br>○会議 33回(24回)延べ 48人(33人)<br>○視察 4回(0回)延べ 4人(0人)<br>○事業参加 5回(1回)延べ 21人(4人)<br>○式典等 15回(15回)延べ 31人(24人)<br><br>活性化への取組<br>① 資料は、会議開催3日前に事前配付<br>⇒報告時間の短縮により質疑応答時間を確保<br>② 教育委員会の規則等の改廃は、教育委員の意見を反映するため、議案提出の前月定例会で協議事項として提出<br>③ 次年度予算は、編成の始まる時期に協議し、教育委員の意見を反映 | 毎月開催する定例会のほか、臨時会を1回開催した。定例会の開催に当たっては、会議資料を事前に送付し、課題に対する内容を十分に把握したうえで、教育施策の充実に向けた審議や協議等に努めた。<br>教育委員会会議以外の活動としては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、活動が再開されたことに伴い、会議や園・学校訪問等への参加回数が増え、合計83回、延べ142人が参加した。<br>総合教育会議にて、学校教育の情報化や教育水準の改善・向上等、各種教育行政について協議及び調整を行い、市長との教育施策の方向性の共有に努めた。<br>今後も、教育委員会会議の一層の活性化を図るとともに、教育行政全般にわたり、慎重かつ迅速な審議に努めながら、教育委員会並びに教育委員の活動の更なる充実を図っていきたい。 |

| 点検項目                    | 内容 ( )は令和４年度                                                                                | 評価・意見                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育委員会<br>会議の透明<br>性について | 傍聴者数<br>○延べ 21人(延べ16人)                                                                      | <p>教育委員会会議の傍聴者数は、令和４年度と比べて増加している。</p> <p>引き続き、会議録等を市ホームページに公開するなど、様々な情報発信を行っていく。</p> <p>教育行政を取り巻く環境は多様化、複雑化しており、課題解決に向けて地域と連携した取組が求められている中で、教育行政について、市民に広く周知する必要性が高くなってきていることから、引き続き、市ホームページや広報誌などを活用して本市の取組や対応状況等の情報発信の充実を図り、一層の透明性の確保に努めていく。</p> |
|                         | 会議録の公開<br>○会議録承認後、ホームページ及び市役所内にある行政情報閲覧コーナーで公開                                              |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                         | 情報発信<br>○教育委員の名簿をはじめ、教育委員会の概要を「秦野の教育」として、市ホームページで紹介<br>○教育委員会の開催日時、予定される議題等をホームページに事前掲載し、公告 |                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 教育に関する<br>情報収集<br>について  | 視察等<br>①園・学校訪問等に教育委員等が同行し、学校現場の状況を把握<br>23回(1回)<br>②教育施策等の視察を実施<br>4回(0回)                   | <p>教育委員等の活動を活発かつ、適切に行うためには、教育行政、学校現場等の教育を取り巻く状況の把握が重要となってくる。そのため、園・学校訪問等に教育委員等が同行し、子どもたちが安全で安心な学校生活を送れるよう、引き続き、教職員等の意見を聴く場に積極的に参加するとともに、本市が抱える課題に対して現状に適した有効な方針が検討できるよう、国や他の自治体における教育課題や事例の情報収集を行い、視野を広く持った教育行政の運営に努めていく。</p>                      |
|                         | 研修会等への参加<br>○必要に応じ、研修会等へ参加<br>1回(1回)<br>※オンラインによる研修会に参加。                                    |                                                                                                                                                                                                                                                    |

## 教育委員会の活動状況に対する総合評価

教育現場で抱えている様々な教育課題に対し、市長と教育委員会がお互いの役割と責任をもって適切に対処していくという基本原則のもとに、今後の教育施策の方向性を共有し、連携を密にすることで、迅速かつ円滑に教育行政のより一層の推進を図るため、総合教育会議を2回開催し、未来を生きる「はだのっ子」の学校のあり方、次年度における教育部の重要施策について協議を行い、施策の推進に当たって市長と教育委員会の共通認識を深めた。

教育水準の改善・向上では、非認知能力の育成と個々の学力の定着度に着目した学びの基盤プロジェクトへの参加校をさらに拡充するとともに、文部科学省から調査官等を招聘した研修会を開催するなど、国の情報や助言を生かした施策の展開に努めた。

幼児教育の質の向上については、園小接続カリキュラムモデルを軸に、市内2校区で実践研究を行った。また、園小の円滑な接続に向け、架け橋コーディネーターによる支援体制の試行や大学等関係機関との連携等により、推進体制の構築を図るとともに、教育研究所内への乳幼児教育センターの設置に当たって関係機関との連携を図った。

学校教育の情報化の推進については、学校等の意見を踏まえて選定した新学校ネットワークシステムへ更新するとともに、校内無線ネットワークの接続方式を見直すことで、学習用端末の安定的な利用環境を整備した。

中学校給食の推進では、規格外野菜のフードロス対策の実施や学校給食における地産地消の取組を推進するとともに、中学校給食に対する意見を聴取するため、市民等からの申込制による給食センター見学会及び試食会を実施した。

生涯学習に係る取組については、桜土手古墳公園を活用した新事業を実施したことにより、より多くの人に文化財や市の歴史に触れる機会の提供を図った。また、前田夕暮生誕140周年を記念した各種事業を開催し、前田夕暮の功績を称え、短歌に親しむとともに夕暮について理解を深める機会を創出した。

引き続き、複雑化、多様化する教育課題の現状に即した教育施策の実現に向けて、環境整備を推進していく。これまでの成果や課題を土台に、本市の豊かな地域資源を活用できる先進事例を積極的に取り入れ、教育目標に掲げた人づくり、快適な教育環境づくりに努めていきたい。



### 第3章 令和5年度主要施策

#### I 「令和5年度主要施策」の点検・評価

##### (1) 自己点検・評価

ア 秦野市教育振興基本計画に位置付けられた主要施策（20施策）について、主管課等が自己点検・評価を実施しました。

イ 自己点検・評価をするに当たり「目標達成状況」について、主管課等の評価をA、B、C、Dの4段階で自己点検・評価を行いました。

##### (2) 教育施策点検・評価会議の評価

ア P T A役員や元学校長などの教育関係者、社会教育委員、図書館協議会委員で組織する「教育施策点検・評価会議」において、主管課等が自己点検・評価した主要施策について客観的な評価を行いました。

イ 教育施策点検・評価会議においても、自己評価と同様に、A、B、C、Dの4段階での評価を行いました。

##### (3) 教育長・教育委員の評価

ア 点検・評価の方法

秦野市教育振興基本計画に位置付けられた主要施策（20施策）について、主管課等と施策の取組内容等について相互に意見交換をする学習会を実施し、教育施策点検・評価会議の評価を踏まえて各施策について点検・評価を行いました。

イ 点検・評価の表記

###### (ア) 文章表記（要旨）

各教育委員から出された意見、要望、協議内容等を列記しています。

###### (イ) 4段階評価（ランク）

各項目について、次表のとおり、A、B、C、Dの4つのランクでの教育委員会としての評価を行いました。

| ランク                     | 評価 A ～ D の内容について                                                                                        |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A</b><br>確実な成果を出している | ○目標値に向けて計画のとおり実施することができ、優れた取組が見られた。<br>○当初の目的を達成し、事業が完了した。                                              |
| <b>B</b><br>一定の成果を出している | ○施策としての充実した事業が行われた。<br>○目標値への具体的な取組が十分に表れている。                                                           |
| <b>C</b><br>やや成果が低い     | ○取組方法等を見直すことにより今以上の成果が期待できる。<br>○施策推進の計画や方法を再考する必要がある。<br>○更に工夫・改善が必要である。<br>○一定の成果を上げて事業が完了したが、課題が残った。 |
| <b>D</b><br>成果が低い       | ○費用対効果がほとんど上がっていない。<br>○内容の抜本的な見直しや、廃止の検討が必要である。                                                        |

(ウ) 令和5年度主要施策（20施策）の点検・評価結果

A評価： 1施策

B評価： 19施策

C評価： 0施策

D評価： 0施策

この評価結果を今後の施策実施に反映し、市民ニーズを的確に捉え、常に工夫改善をすべきであると考えます。

(4) 令和5年度主要施策一覧

| No.   | 施 策 名                                                | 評価 |
|-------|------------------------------------------------------|----|
| 基本方針1 | 全ての子どもたちの可能性を引き出す新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます。   |    |
| 1     | 新たな学びプロジェクトの展開【重点施策】                                 | B  |
| 2     | インクルーシブ教育の推進                                         | B  |
| 3     | いじめ・不登校等の対策の推進                                       | B  |
| 4     | 一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進                              | B  |
| 基本方針2 | 地域とともにある学校づくりを推進します。                                 |    |
| 5     | 学校マネジメントの強化【重点施策】                                    | B  |
| 基本方針3 | 子どもたちが安心して学ぶことができる学習環境と質の高い教育を支える教育環境を整備します。         |    |
| 6     | 学校における働き方改革の推進                                       | B  |
| 7     | 学校施設長寿命化の推進                                          | B  |
| 8     | 学校における省エネ対策の推進                                       | B  |
| 9     | 学校管理下の安全確保の推進                                        | B  |
| 10    | 学校教育の情報化の推進                                          | B  |
| 11    | 中学校給食の推進【重点施策】（学校給食の推進）                              | B  |
| 12    | 教育施設の一体的整備の推進                                        | B  |
| 基本方針4 | 市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します。 |    |
| 13    | 地域コミュニティの活動拠点としての公民館事業の充実                            | B  |
| 14    | 魅力ある地域学習の推進【重点施策】                                    | B  |
| 15    | 市民の生涯学習を支える読書活動への支援                                  | B  |
| 16    | 子ども読書活動の推進【重点施策】                                     | B  |
| 17    | 施設長寿命化の推進（公民館）                                       | B  |
| 18    | 施設長寿命化の推進（図書館）                                       | B  |
| 基本方針5 | 地域の歴史資源の保存・活用を通じ後世への継承に努めます。                         |    |
| 19    | 歴史資源等の保存・管理の推進                                       | B  |
| 20    | 文化財・歴史資源等の活用の推進【重点施策】                                | A  |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |        |                                                                                                                                                                                                                                                            | 主管課名 | 学校教育課<br>教育指導課<br>教育研究所 |
|---------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|
| No.1    | 施策名    | 新たな学びプロジェクトの展開【重点施策】                                                                                                                                                                                                                                       |      |                         |
| 施策の概要   | 目的     | 学習指導要領で求められている確かな学力の定着に向けて、園小中一貫教育を軸とした教育指導施策を展開し、子どもたちの学ぶ意欲や非認知能力を育み、教育水準の改善・向上を図る。                                                                                                                                                                       |      |                         |
|         | 今後の方向性 | 平成23年度から取り組んできた子どもたちの育ちや学びの連続性を意識した園小中一貫教育をさらに推進するとともに、学力の基盤となる非認知能力に着目した授業改善に各校と協働的に取り組む。<br>また、各校と協働した教育指導施策の展開やGIGAスクール構想を軸としたICT活用推進等により新たな学びのスタイルの構築に取り組む。                                                                                            |      |                         |
|         | 主な取組   | ①園小中一貫教育の推進 ②学びの基盤プロジェクトの推進 ③新たな学びステップアップ事業の展開 ④GIGAスクール構想の推進 ⑤情報モラル教育の推進 ⑥わくわく読書プランの推進 ⑦はだのっ子寺子屋事業の推進                                                                                                                                                     |      |                         |
| 施策の進捗状況 | 取組内容   | ①園小中一貫教育の推進                                                                                                                                                                                                                                                |      |                         |
|         | R5事業内容 | 平成30年度に作成された幼小中一貫教育の成果報告書を踏まえ、改正学校教育法を念頭に置いた新たな学校制度の研究を行うモデル地区を南が丘中学校区に設置するとともに、先進事例の視察等にも取り組み、現在の一貫教育の先を見据えた「園小中一貫教育に係る教育課程の編成指針」の策定を進めた。また、一貫したカリキュラムの策定を目指す「ふるさと科部会」等の3つの部会を、一貫教育推進のため教育研究所に設置したほか、小・中学校合同のコミュニティ・スクールの設置を進めるなど、学びと育ちの連続性確保の具体的な取組を進めた。 |      |                         |
|         | R6事業予定 | 改正学校教育法を踏まえ新たな学校制度となる義務教育学校制度の研究を行うモデル地区を3中学校区に増やし、学びの連続性を確保する具体的な取組となる学びの基盤プロジェクトの小・中学校で一貫した取組や教科担任制の推進、育ちの連続性を確保する具体的な異年齢交流等の実現を支援する園小接続コーディネーターの配置等により教育水準の改善・向上を図る。                                                                                    |      |                         |
|         | 取組内容   | ②学びの基盤プロジェクトの推進                                                                                                                                                                                                                                            |      |                         |
|         | R5事業内容 | 非認知能力の育成と個々の学力の定着度に着目した授業改善の取組となる学びの基盤プロジェクトについては、文部科学省から調査官等を招聘した研修会の開催や、授業改善の取組で成果をあげている小・中学校教員2名をパネリストとした研修会等も実施するなど、市内全体で成果や意義を共有した結果、令和6年度の参加希望校は22校まで広がった。                                                                                           |      |                         |
|         | R6事業予定 | 改正学校教育法で定義付けられた新たな小中一貫教育の制度となる義務教育学校の研究を行うモデル地区を中心に、学びの連続性を確保するための具体的なツールとなる、個々の学習履歴（学びのカルテ）の有効活用について研究を進め、更なる授業改善を目指す。                                                                                                                                    |      |                         |
|         | 取組内容   | ④GIGAスクール構想の推進                                                                                                                                                                                                                                             |      |                         |
|         | R5事業内容 | GIGAスクール構想の次のステージを見据え、学習端末のより効果的な活用とそれに伴う働き方改革を実現するため、教育分野におけるデジタル化を推進するスマートスクール研究部会を立ち上げ、市内21校が参加するCBTトライアルを進めた。                                                                                                                                          |      |                         |
|         | R6事業予定 | 学習端末のより効果的な活用とそれに伴う働き方改革を実現するスマートスクール構想の実現に向け、市内全ての教職員からこの新たなミッションに共感する教職員を、秦野市と世界の学びのベクトルの架け橋となる人材（グローバルリーダー）として公募し、新たな検証改善サイクルの確立に資するため今年度中にCBTの本格導入を図る。                                                                                                 |      |                         |

|             |                    |                                                                                                                                                                                                            |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
|-------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|-------|--------|-----|
| 施策の進捗状況     | 取組内容               | ⑥わくわく読書プランの推進                                                                                                                                                                                              |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
|             | R5事業内容             | 毎月第一月曜日を「よむよむDAY」として、市内一斉の読書活動の推進を図るとともに、読書活動推進校を中心に、学校図書館の地域開放や電子図書の試行等、さらには、新たな読書活動の一つとして読書検定への参加も進めた。                                                                                                   |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
|             | R6事業予定             | 新たな読書スタイルとして心に残った一節を紹介する読書検定を、秦野市として「OMOTAN読書レター」という名称で独自の取組を推進するとともに、読書活動推進校を中心に、民間園や児童ホームと連携した学校図書館の地域開放にも試験的に取り組む。                                                                                      |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
|             | 取組内容               | ⑦はだのっ子寺子屋事業の推進                                                                                                                                                                                             |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
|             | R5事業内容             | 北地区及び西地区に加えて、新たに本町・東地区での寺子屋事業の本格実施を展開するとともに、課題として昨年指摘のあった大根地区の開設も含め生活困窮世帯に向けた学習支援事業との一本化した放課後学習支援事業を進めた。令和5年度は10か所で開設され、合計参加者は174名となり、昨年度の115名から大幅な増加となった。                                                 |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
|             | R6事業予定             | 利用児童・生徒の保護者からは、「今後もぜひ継続してほしい」「参加可能人数を増やしてほしい」という声が寄せられたことから、今年度は、個別支援型学習支援教室にて、個別支援型に加え、小集団型の学習スタイルも取り入れるほか、民間主導の3か所（南が丘西大竹地区、南地区、鶴巻地区）との連携強化も含め、公民併せて9中学校区全てでの展開となる合計17か所で開設を目指し、より多くの児童生徒が参加できるように進めていく。 |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
| 課題及び工夫・改善事項 |                    | 現在も成果指標の達成に至っていないが、引き続き新たな学力観に基づいた授業改善を目指し、各校と協働して新たな検証改善サイクルを確立していく必要がある。また、読書活動や寺子屋事業についても、その意義や成果等を発信することで、継続的な取組としていく必要がある。                                                                            |                      |                  |                  |                  |       |        |     |
| 施策の目標       | 年 度                |                                                                                                                                                                                                            | 令和2年度                | 3年度              | 4年度              | 5年度              | 6年度   | 7年度    |     |
|             | 指標名                |                                                                                                                                                                                                            | 目標値<br>実績値           | 目標現状値（R1）        | －                | －                | 目標中間値 | －      | 目標値 |
|             |                    |                                                                                                                                                                                                            | 実績値                  | 実績値              | 実績値              | 実績値              | 実績値   | 実績値    |     |
|             | 全国学力・学習状況調査における集計値 | 平均正答率                                                                                                                                                                                                      | 本市 60.2%<br>全国 63.8% | －                | －                | 全国平均             | －     | 全国平均以上 |     |
|             |                    |                                                                                                                                                                                                            | 実施せず                 | 本市 60%<br>全国 64% | 本市 58%<br>全国 62% | 本市 59%<br>全国 63% |       |        |     |
|             |                    | 学習意欲                                                                                                                                                                                                       | 60.4%                | －                | －                | 64%              | －     | 68%    |     |
|             |                    |                                                                                                                                                                                                            | 実施せず                 | 58.7%            | 57.2%            | 55.3%            |       |        |     |
|             |                    | 非認知能力                                                                                                                                                                                                      | 71.2%                | －                | －                | 77%              |       | 81%    |     |
|             |                    |                                                                                                                                                                                                            | 実施せず                 | 77.1%            | 74.9%            | 75.6%            |       |        |     |
|             | ICTの活用             |                                                                                                                                                                                                            | －                    | －                | －                | 80%              | －     | 90%    |     |
|             |                    |                                                                                                                                                                                                            | 79.1%                | 77.8%            | 78.8%            | 公表前              |       |        |     |

| 施策の総合評価          |    | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |    | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 目標達成状況<br>(自己評価) | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                  | B  | <p>コロナ禍の影響で、教職員が感染症対策など安全・安心な教育活動の実現が優先され、さらに各校と協働した学力向上施策の実施が困難となり、令和4年度の施策成果につながる令和5年5月に実施された全国学力・学習状況調査における集計値では、成果指標の達成に至っていない。一方で、行動制限が解除された令和5年5月以降、学びの基盤プロジェクトへの参加校も15校と広がりを見せ、児童生徒一人ひとりの非認知能力と学力の定着度合いに着目した授業改善が着実に進んでいる。さらに昨年度までのICTマイスターを中心とするタブレット端末を活用した授業改善はもとより、CBT化の試行についても令和4年度の7校から21校と着実に参加校が増えたほか、昨年度の点検評価で指摘された大根地区の寺子屋開設も含めて着実に広がりを見せており、施策については計画通り進んでいる。</p>                                                                       |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                  | B  | <p>これまで市立園を中心に進めてきた幼小中一貫教育を、公私や園種の枠を超えて市内全幼児を対象として、園小中一貫教育を推進していく考えは評価できる。指導内容や指導方法など地域で一貫した独自のカリキュラムを組むとともに、個々の到達度を互いに共有できるとよい。</p> <p>学びの基盤プロジェクトとして非認知能力を育むことについては、園小中一貫教育の根幹にあるものと考え、教員の人間としての資質向上が不可欠であり、子どもや保護者との関係性を大切に、ふれあいを豊かにできる人材の育成にも取り組んでいただきたい。</p> <p>また、学校現場でタブレット端末を活用した授業を児童生徒が平等に学べる状況になるよう期待するとともに、CBT化への取組は教員の事務量の負担軽減にもつながると考えられるため、今後の展開に期待したい。</p> <p>主管課の計画通りの取組については大いに評価できる一方で、各事業における、目標に即した成果が十分現われていないところが今後の課題になるであろう。</p> |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                  | B  | <p>学びの基盤プロジェクトの取組が全校で実施されることにより、今後、どのように成果が出てくるのか期待をしている。グローバルリーダーをさらに展開し、テストを作成することで学びの方向性が揃い、授業改善につながると良い。非認知能力については、幼児期に育つと考えるので、園小中連携して取り組んでいくことが必要であり、継続的に取り組めるとよい。</p> <p>「好きこそものの上手なれ」と言うが、興味を持って読書活動を進めることで、想像力を持ち、先を見越すことができるような工夫のある取組につながると考える。</p>                                                                                                                                                                                            |



# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |        |                                                                                                                                                                                                                      | 主管課名                  | 教職員課<br>教育指導課 |
|---------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------|
| No.2    | 施策名    | インクルーシブ教育の推進                                                                                                                                                                                                         | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 1-3(1)        |
| 施策の概要   | 目的     | 多様化する子どもたちの教育課題に対応するため、合理的配慮を踏まえたインクルーシブ教育を推進し、個に応じた支援体制の充実を図る。                                                                                                                                                      |                       |               |
|         | 今後の方向性 | <p>全ての教職員が適切に支援ニーズへの対応ができるよう、スキルアップを図るための研修内容の充実を図るとともに、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うため、教育支援助手、特別支援学級介助員の効果的な配置に努める。</p> <p>また、すべての児童生徒に合理的配慮が実現するようフルインクルーシブ教育の理念について市全体で再確認するとともに、通級指導教室の効果的な運用や外国につながる児童生徒への支援体制の整備を推進する。</p> |                       |               |
|         | 主な取組   | ①特別支援学級介助員の派遣 ②教育支援助手の派遣 ③大学生による学習支援の推進 ④通級指導教室及び日本語指導の充実 ⑤フルインクルーシブ教育の理念共有                                                                                                                                          |                       |               |
| 施策の進捗状況 | 取組内容   | ①特別支援学級介助員の派遣                                                                                                                                                                                                        |                       |               |
|         | R5事業内容 | 特別支援学級在籍児童生徒の増加に伴う支援ニーズを踏まえ、介助員56人を小学校12校、中学校2校に派遣し、学習活動の補助や生活介助等を行った。                                                                                                                                               |                       |               |
|         | R6事業予定 | 引き続き56人の特別支援学級介助員を派遣し、合理的配慮を踏まえ、個に応じた支援を行うとともに、介助員に対して、アーカイブ形式で動画を視聴して学ぶ研修の機会を提供する。                                                                                                                                  |                       |               |
|         | 取組内容   | ②教育支援助手の派遣                                                                                                                                                                                                           |                       |               |
|         | R5事業内容 | 66人の教育支援助手を派遣し、支援を必要とする子どもについての理解と認識を深め、日常の教育活動の充実に努めた。                                                                                                                                                              |                       |               |
|         | R6事業予定 | 引き続き66人の教育支援助手を派遣し、個に応じたきめ細やかな支援の取組を進めるとともに、教育支援助手に対して、アーカイブ形式の動画の研修の機会を提供する。                                                                                                                                        |                       |               |
|         | 取組内容   | ③大学生による学習支援の推進                                                                                                                                                                                                       |                       |               |
|         | R5事業内容 | メンタルフレンドを4名派遣し、支援の必要な児童生徒に対して、適切な支援につなげた。                                                                                                                                                                            |                       |               |
|         | R6事業予定 | 大学生に対してフォローアップ研修会を行い、支援方法や困ったことなどの対応策を一緒に考え、フォロー体制を構築し、人材育成にもつなげていく。                                                                                                                                                 |                       |               |
|         | 取組内容   | ④通級指導教室及び日本語指導の充実                                                                                                                                                                                                    |                       |               |
|         | R5事業内容 | 小学校に「まなびの教室」3校、「ことばの教室」2校、中学校2校に通級指導教室を開設するとともに、生徒の発達段階等を考慮し、中学校は巡回型とし、市内5校での支援に努めた。また小・中学校に日本語指導協力者を13人派遣したほか令和5年度より2年間、県の施策を活用して、日本語指導の先進地区となる愛知県知立市に県費負担教職員1人を派遣して、今後の支援体制充実に向けた取組を進めるとともに、新たにNPO法人との連携も模索した。     |                       |               |
|         | R6事業予定 | <p>小学校では、支援体制の充実のため「まなびの教室」担当教諭を3人から5人に増員するとともに、中学校では新たに大根中学校を拠点校として開設し、中学校通級巡回校を5校から2校増やす。指導者の育成を図りつつ、個々の支援ニーズに応えられるよう通級の拡充を行う。</p> <p>また、新たにNPO法人との連携を拡充し、プレスクール拡充も含めた日本語指導の充実を図る。</p>                             |                       |               |

|              |                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |     |       |     |     |
|--------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------|-----|-----|
| 施策の進捗状況      | 取組内容                       | ⑤フルインクルーシブ教育の理念共有                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |     |       |     |     |
|              | R5事業内容                     | 昨年度の点検評価で指摘をされた教職員の意識向上を図るため、昨年8月に実施した教育研究所の発表会において、東京大学バリアフリー教育開発センターから小国教授を招聘し、全ての児童生徒に合理的配慮が実現するようフルインクルーシブ教育の理念について市全体で共有した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |     |       |     |     |
|              | R6事業予定                     | 文部科学省が公募した「インクルーシブな学校運営モデル事業」の採択が決まり、フルインクルーシブ教育の実現に向け、障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指し、具体的な教育活動の実践研究を行い、市内でその成果を共有する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |     |       |     |     |
| 課題及び工夫・改善事項  |                            | 成果指標については、全国学力・学習状況調査における支援教育に関する集計値のうち学校質問紙調査の結果としており、「学校の教員は、特別支援教育について理解や指導上の工夫を行いましたか」の質問に対して「よく行った」と回答した学校の集計値を採用し、令和4年度と令和5年度で「よく行った」が小学校で3校から2校へ、中学校では2校が3校と増減があったものの合計は変わっていない。一方で、「行った」と回答した小・中学校は合計で、令和4年度が21校で95.5%に対して、令和5年度は20校で90.1%と高い水準を保っている。これについては、年々特別な支援を必要とする児童生徒の増加等もあって、各校の意識は高まっており、指標の客観性が担保されているか判断が難しくなっている。特に指標となる令和5年4月に行われる全国学力・学習状況調査の結果は、令和4年度の施策の成果に直結する部分も多く、引き続き現行の施策の推進を図っていく必要があると判断している。 |     |     |       |     |     |
| 施策の目標        | 年 度                        | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 3年度 | 4年度 | 5年度   | 6年度 | 7年度 |
|              | 目標値<br>実績値                 | 目標現状値（R1）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | －   | －   | 目標中間値 | －   | 目標値 |
|              | 指標名                        | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 実績値 | 実績値 | 実績値   | 実績値 | 実績値 |
|              | 全国学力・学習状況調査における支援教育に関する集計値 | 31.8%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | －   | －   | 40%   | －   | 50% |
| 施策の総合評価      |                            | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |     |     |       |     |     |
|              |                            | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |     |       |     |     |
| 目標達成状況（自己評価） | 評価                         | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |     |     |       |     |     |
|              | B                          | 通級指導教室の拡充など各施策は概ね計画通り進捗し、教職員の意識は高まっているが、年々特別な支援を必要とする児童生徒の増加等もあって、今後も継続的な取組が求められている。特に指標となる令和5年4月に行われる全国学力・学習状況調査の結果は令和4年度の施策の成果に直結する部分も多く、引き続き現行の施策の推進を図っていく必要があると判断している。                                                                                                                                                                                                                                                      |     |     |       |     |     |
| 点検・評価会議の評価   | 評価                         | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |     |     |       |     |     |
|              | B                          | 特別な配慮を要する児童生徒の増加に伴い、インクルーシブ教育の人的及び物理的な環境整備は喫緊の課題である。その中で、きめ細かな支援を行うための指導人員の配置や関係機関との連携等の取組は評価できる。<br>支援級教員の加配が厳しい状況になっている現状において、市としての更なる人的環境の確保とともに、フルインクルーシブ教育の理念について、市全体で共有することによる教職員一人ひとりの意識の変化に期待したい。また、教職員のみならず、子どもや保護者、地域に対しても、インクルーシブ教育を少しずつ浸透させていくことも必要ではないかと考える。                                                                                                                                                       |     |     |       |     |     |

|                 | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育長・教育委員<br>の評価 | B  | <p>様々な支援を必要とする子どもがいる中、教職員だけではなく、支援助手や介助員、大学生ボランティア、日本語指導協力等、より多くの関係者が連携するとともに、国際教室や通級指導教室の充実を図っていることは評価できる。</p> <p>フルインクルーシブ教育が教職員の負担にならないかを検証するとともに、引き続き、理念の理解を進めるためにも、事業の拡充や研修会の実施を計画することが必要ではないかと考える。</p> |



# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|                             |        |                                                                                                                                                                        | 主管課名                  | 教職員課<br>教育指導課<br>教育研究所 |
|-----------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------|
| No.3                        | 施策名    | いじめ・不登校等の対策の推進                                                                                                                                                         | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 1-4(2)                 |
| 施策<br>の<br>概<br>要           | 目的     | いじめの未然防止を図るため、「いじめ防止基本方針」に従い早期発見、早期の組織的な対応の定着に向けた取組を強化する。<br>また、新たな学びの場を求める児童生徒の将来の社会的自立に向けた支援を行う。                                                                     |                       |                        |
|                             | 今後の方向性 | 心理や福祉の専門家等による相談・支援体制を充実させ、児童・生徒の抱える課題に対して、学校と関係機関、地域との連携・協働をより一層深化させたチーム学校を目指す。<br>また、教育支援教室「いずみ」や訪問型個別支援教室「つばさ」を核とした支援体制を充実させ、新たな学びの場の保証と個に応じた支援が行われるよう整備を図る。         |                       |                        |
|                             | 主な取組   | ①チーム支援体制の推進 ②学校内外の相談体制の充実 ③いじめを考える児童生徒委員会の推進 ④教育支援教室「いずみ」の充実 ⑤訪問型個別支援教室「つばさ」の充実                                                                                        |                       |                        |
| 施策<br>の<br>進<br>捗<br>状<br>況 | 取組内容   | ①チーム支援体制の推進                                                                                                                                                            |                       |                        |
|                             | R5事業内容 | 「児童生徒指導担当者会」や「いじめ問題対策連絡協議会」等あらゆる機会を活用し、いじめ対策について、継続的に法的ないじめと社会通念上のいじめの違いを認識し、現状のいじめの認知方法に合わせた児童生徒への適切な支援の仕方について、共通理解に努めた。また、各校の「いじめ防止基本方針」について、校内での確認とホームページ更新の徹底を図った。 |                       |                        |
|                             | R6事業予定 | 引き続き「いじめ問題対策調査委員会」による第三者評価の活用を図り、「児童生徒指導担当者会」、「いじめ問題対策連絡協議会」等と連携した「いじめ防止基本方針」に沿った対応の推進を図るとともに「未然防止が最大の対応策」という意識で早期発見・早期対応が図れるよう各校との情報連携を強化していく。                        |                       |                        |
|                             | 取組内容   | ②学校内外の相談体制の充実                                                                                                                                                          |                       |                        |
|                             | R5事業内容 | スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携した支援体制の強化を図るとともに、児童生徒や保護者への更なる支援に向けて、教育長だよりで全児童生徒、保護者向けに「はだのっ子あんしん相談室」を案内した。また、2学期開始前日に臨時で相談室を開設し、相談員を配置した。                                |                       |                        |
|                             | R6事業予定 | 引き続き心理や福祉の専門家と連携した支援体制の強化と、児童生徒及び保護者向けの相談窓口をデジタル化する「はだのっ子あんしんルーム」を開設し相談窓口の強化を図る。                                                                                       |                       |                        |
|                             | 取組内容   | ③いじめを考える児童生徒委員会の推進                                                                                                                                                     |                       |                        |
|                             | R5事業内容 | 「秦野こども未来づくり会議」と名称変更し、3回開催した。3回目は家庭や学校、地域も参加し、中学校区ごとに明るい未来へのアイデアを発表し、「明るい未来づくりに向けて何が大切か。何ができるか。」をテーマに協議を行った。                                                            |                       |                        |
|                             | R6事業予定 | 「いじめ撲滅」と「未来づくり」をテーマに、社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していく主権者教育を展開する。また、令和7年1月の市制施行70周年や新総合計画に児童生徒の意見が反映されるよう、政策部と連携した取組に深化させる。                                             |                       |                        |

|             |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |                 |                     |       |       |     |
|-------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|---------------------|-------|-------|-----|
| 施策の進捗状況     | 取組内容                             | ④教育支援教室「いずみ」の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |                 |                     |       |       |     |
|             | R5事業内容                           | 心理士の資格を持った専門相談員の参加による連絡会を定期的に開催し、一人ひとりに合った支援の具体的方策に生かすとともに、保護者懇談会の開催も含め教室運営上の諸課題について、指導主事も含めて連絡調整を行った。                                                                                                                                                                                                                                  |                 |                 |                     |       |       |     |
|             | R6事業予定                           | 定期的に支援の在り方を検討し、学校、専門相談員やスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携を図りながら、児童生徒一人ひとりに合った支援を行っていく。学校復帰につながる通室者も増えているので、学校との連携を緊密に行う。                                                                                                                                                                                                                           |                 |                 |                     |       |       |     |
|             | 取組内容                             | ⑤訪問型個別支援教室「つばさ」の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                 |                 |                     |       |       |     |
|             | R5事業内容                           | 市独自のスクールソーシャルワーカーを配置し、各校から提出された不登校報告書の分析や保護者との面談を通して、学校や関係機関と連携した家庭を含めた支援を行った。また、はだのE-Lab（旧大根幼稚園園舎）を活用したサテライト展開を進めた。                                                                                                                                                                                                                    |                 |                 |                     |       |       |     |
|             | R6事業予定                           | 市独自のスクールソーシャルワーカーを令和6年度も配置し、必要に応じて家庭ごとの支援につなげていく。また、はだのE-Labへの通室者も増えているので、2拠点での円滑な運営と文部科学省の公募事業でもある「デジタルフリースクール」の開設を進める。                                                                                                                                                                                                                |                 |                 |                     |       |       |     |
| 課題及び工夫・改善事項 |                                  | いじめ対策については継続的に、法的ないじめと社会通念上のいじめの違いを認識し、現状のいじめの認知方法に合わせた児童生徒への適切な支援の仕方について、学校、保護者、地域の理解を深めていく必要がある。一方、コロナ禍の影響で様々な教育活動が制限され、児童や生徒同士の結びつきの弱体化や社会体験の不足から、不登校が増加しているのではないかと懸念が生じている。引き続き新たな学びの場を求める児童生徒への支援体制について強化するとともに心理や福祉の専門家が学校から提出される「長期欠席児童生徒報告書」を確認し、学校と情報を共有する体制を強化し、学校側から積極的に支援につなげていく「プッシュ型支援」を進めるとともに、デジタルの活用も含めた学習保障を進める必要がある。 |                 |                 |                     |       |       |     |
| 施策の目標       | 年度                               | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 3年度             | 4年度             | 5年度                 | 6年度   | 7年度   |     |
|             | 指標名                              | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 目標現状値（R1）       | -               | -                   | 目標中間値 | -     | 目標値 |
|             |                                  | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 実績値             | 実績値             | 実績値                 | 実績値   | 実績値   | 実績値 |
|             | 不登校児童生徒の出現率                      | 1.64人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | -               | -               | 1.34人               | -     | 1.21人 |     |
|             |                                  | 1.57人<br>(186人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2.01人<br>(236人) | 3.09人<br>(348人) | 2.91人<br>(12月迄328人) |       |       |     |
|             | 認知したいじめの改善率                      | 99.3%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | -               | -               | 99.5%               | -     | 99.7% |     |
|             |                                  | 97.6%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 99.7%           | 99.4%           | 公表前                 |       |       |     |
|             | 不登校児童生徒に対して専門機関等と連携した支援が行われている割合 | 69.5%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | -               | -               | 80%                 | -     | 85%   |     |
|             |                                  | 72.6%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 66.1%           | 54.6%           | 公表前                 |       |       |     |

| 施策の総合評価          |    | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |    | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 目標達成状況<br>(自己評価) | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | C  | <p>いじめ対策事業に取り組むことで、いじめの認知件数が減少し、認知したいじめの改善率も目標値を達成した。</p> <p>その一方で不登校児童生徒の出現率の増加に伴い、専門機関等と連携した支援が行われている割合が減少した。今後も新たな学びの場を求める児童生徒の要望に応えるような体制づくりとともに、魅力ある学校づくりを進め、児童生徒にとっての居場所づくりと絆づくりや学校内における関係機関との窓口となる教員を中心に、積極的な連携を図る必要がある。</p>                                                                                                                          |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | B  | <p>いじめ対策事業の推進により、認知件数の減少や改善率の向上が見られる。学校及び関係機関と連携したチーム支援体制や相談体制の充実を図る取組、さらに、いじめ問題の未然防止の視点から「秦野こども未来づくり会議」の取組を始めたことは一定程度評価できる。</p> <p>一方で、学校との情報共有を適切に行い、緊急時の危機管理体制の整備とともに、専門機関との連携が適切にできるよう学校現場への周知をしていただきたい。</p> <p>また、教育機会均等法に基づく新しい学びの場を求める児童生徒への対応は急務であり、不登校の増加の原因把握や対策を検討するとともに、学校の支援状況を適切に把握しながら連携を図り、より有効な支援策について相談・検討できる体制を整備し、学校現場の負担軽減につなげてほしい。</p> |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | B  | <p>「秦野こども未来づくり会議」に名前が変わったことで、子どもたちが未来に向かって自由な意見をポジティブに出すことができていると考える。SNS上の問題が多く、なかなかいじめは減少しないと思うが、チーム支援体制の推進や関係各課が連携して対応していく必要がある。本市の不登校児童生徒の出現率が増えている現状があるようだが、不登校対策として、「いずみ」や「つばさ」等を通して支援につながってきている。デジタルの活用も含めた学習保障として、支援につながる子どもが増えてくることを期待する。</p> <p>また、国が行う令和6年度からの新たな不登校支援の取組となる校内教育支援センター支援員の配置の推進や、スクールカウンセラー等の専門職配置の充実についてもさらに進めてほしい。</p>           |



# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                     | 主管課名 | 教育総務課<br>教育研究所        |
|-------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|
| No.4        | 施策名    | 一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進                                                                                                                                                                             |      | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け |
| 施策の概要       | 目的     | 幼児教育の重要性を鑑み、私立園との連携を図りながら、幼児教育の質の充実及び健やかな成長を育む環境づくりを推進する。                                                                                                                                           |      |                       |
|             | 今後の方向性 | 「秦野市幼児教育・保育環境整備計画（以下「計画」という。）」に基づき、持続可能な幼児教育環境を目指し、公私や園種の枠を超えた幼児教育の質の向上と施設配置の見直しに取り組む。<br>支援を必要とする幼児のよりよい発達を促すために、巡回相談事業の充実に努め、共に育ちあうことを目指す。                                                        |      |                       |
|             | 主な取組   | ①幼児教育の質の向上 ②個に応じた支援の充実 ③公立幼稚園の配置の見直し                                                                                                                                                                |      |                       |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①幼児教育の質の向上                                                                                                                                                                                          |      |                       |
|             | R5事業内容 | 「園小接続カリキュラム」モデルを軸に、市内2校区で実践研究を実施した。また、園小の円滑な接続に向け、架け橋コーディネーター2名による支援体制の試行や大学等関係機関との連携等により、推進体制の構築を図った。さらに、令和6年度からの乳幼児教育センター機能の創設に向けて、幼児教育・保育環境整備推進委員会にて推進体制等の検討を行った。                                |      |                       |
|             | R6事業予定 | 研究部会で作成された「園小接続カリキュラム」を大学等の教育研究機関と連携し、発達心理学の視点も加えて教育委員会版として深化させる。また引き続き小学校1校と公私園種を問わず複数のこども園等で「園小接続カリキュラム」の実践事業を行い、実践化を進める。また、乳幼児教育センターの運営を開始し、市内全ての公立園・私立園の教員を対象とした研修協議等を行い、互いの学び合いを通して保育の質の向上を図る。 |      |                       |
|             | 取組内容   | ②個に応じた支援の充実                                                                                                                                                                                         |      |                       |
|             | R5事業内容 | 支援の必要な園児が増加する中、弘済学園所属の専門職員等に指導・助言を受けるとともに、児童発達支援施設や支援学校等との連携を図るなど、家庭支援や個に応じた支援の充実を図っていった。また、医療的ケア児の支援体制の構築を行い、1園で医療的ケア児の受け入れを行った。                                                                   |      |                       |
|             | R6事業予定 | 巡回相談事業として、園児の支援の在り方について専門的見地から助言を得るため、臨床心理士等を派遣し、支援の充実を図る。また、就学相談事業では、令和6年度から乳幼児教育センター職員も加わり、公私を問わず教育相談等を実施し支援体制の充実を図る。<br>医療的ケア児のスムーズな支援体制を整えるため、他機関とも連携し、インクルーシブ教育の推進を図る。                         |      |                       |
|             | 取組内容   | ③公立幼稚園の配置の見直し                                                                                                                                                                                       |      |                       |
|             | R5事業内容 | ほりかわ幼稚園のこども園化に係る運営法人を決定するとともに、令和6年度の園舎改修工事に向け、ほりかわ幼稚園の園機能を堀川小学校内に移転した。                                                                                                                              |      |                       |
|             | R6事業予定 | ほりかわ幼稚園のこども園化に向けて、市・運営法人・保護者で構成する三者協議会を設置し、令和7年度からの円滑な園運営に向けた協議を行う。                                                                                                                                 |      |                       |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 計画の着実な推進を図るため、教育部・こども健康部がより密接に連携を図りながら、私立園との協力体制を深めていく必要がある。また、引き続き園と小学校をつなぐ推進体制の充実を図っていく。                                                                                                          |      |                       |

| 施策の目標                          | 年 度                                  | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 3 年度          | 4 年度                              | 5 年度                                        | 6 年度  | 7 年度                   |     |
|--------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------|---------------------------------------------|-------|------------------------|-----|
|                                | 指標名                                  | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 目標現状値（R1）     | -                                 | -                                           | 目標中間値 | -                      | 目標値 |
|                                |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 実績値           | 実績値                               | 実績値                                         | 実績値   | 実績値                    | 実績値 |
|                                | 秦野市幼児教育・保育<br>環境整備計画に基づく<br>施設の配置見直し | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | -             | -                                 | 需給バランスに応じ<br>た配置見直しの実施                      | -     | 需給バランスに応じ<br>た配置見直しの実施 |     |
|                                |                                      | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 大根幼稚園<br>の一体化 | ほりかわ幼稚園のこ<br>ども園化に係る運営<br>法人の募集開始 | ほりかわ幼稚園のこ<br>ども園化に係る運営<br>法人の決定             |       |                        |     |
|                                | 乳幼児教育保育支援セ<br>ンター機能の創設               | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | -             | -                                 | 設置・運用                                       | -     | 運用                     |     |
|                                |                                      | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 分科会<br>の設置    | 分科会での<br>協議                       | 運用開始に向け<br>た環境整備・人<br>材確保                   |       |                        |     |
|                                | 園小接続カリキュラム<br>の作成                    | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | -             | -                                 | 接続カリキュラ<br>ムの作成                             | -     | 運用                     |     |
|                                |                                      | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 部会・分科<br>会の設置 | 「園小接続カリ<br>キュラム」モデ<br>ルの策定        | 研究指定2地区によ<br>る地域に応じた「園<br>小接続カリキュラ<br>ム」の作成 |       |                        |     |
|                                | 施策の総合評価                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 凡例            |                                   |                                             |       |                        |     |
| A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |               |                                   |                                             |       |                        |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価）               | 評価                                   | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |               |                                   |                                             |       |                        |     |
|                                | B                                    | 園小での実践研究の取組を経て「園小接続カリキュラム」の推進を図ることができた。<br>教育研究所内への乳幼児教育センターの設置に当たって、関係機関と連携を図った。今後は設置に伴い公私を超えた乳幼児期の支援体制の確立を目指す。                                                                                                                                                                                                     |               |                                   |                                             |       |                        |     |
| 点検・評価会議の<br>評価                 | 評価                                   | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |               |                                   |                                             |       |                        |     |
|                                | B                                    | 支援の必要な園児が増加することへの対応には、専門的な知識と指導力を持った教員の加配が必要となる。教育研究所内に乳幼児教育センターを新設し支援体制が強化され、目標達成に向けて着実に歩みを進めることができた」と評価できる。<br>市立幼稚園が100年をかけて取り組んできた幼児教育の実績を生かし、公私全ての園が学び合いを通して幼児教育の質が向上することを期待する。また、市立幼稚園の設立に当たった先人の思いや地域の期待を大事にしつつ、時代のニーズに対応した斬新的な見直しが急務と考える。<br>ほりかわ幼稚園のこども園化については、保護者の意見を丁寧に聴きながら、独自性を発揮し、魅力ある認定こども園になるよう期待する。 |               |                                   |                                             |       |                        |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価                | 評価                                   | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |               |                                   |                                             |       |                        |     |
|                                | B                                    | 乳幼児教育センターの設置の運用に関しては、市内のすべての公立園・私立園を対象とした幼児教育の質の向上を目指した取組がスタートしており、今後、成果に期待したい。「園小接続カリキュラム」については、私立園も含めた普及・促進が重要となってくるので、私立園の要望等を丁寧に聞きながら、着実に進めていただきたい。<br>ほりかわ幼稚園のこども園への移行に当たっては、保護者や関係課等と連携を密にし、保護者や園児が戸惑うことのないよう、地域にも配慮しながら、円滑な移行を進めてほしい。                                                                         |               |                                   |                                             |       |                        |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

| 令和6年度（5年度事業） |                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     | 点検・評価シート  |       | 主管課名                  | 教職員課<br>教育指導課 |        |     |
|--------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|-----------------------|---------------|--------|-----|
| No.5         | 施策名                                                            | 学校マネジメントの強化【重点施策】                                                                                                                                                                                                                                   |           |       | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 2－1（1）        |        |     |
| 施策の概要        | 目的                                                             | 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指した学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、学校と地域の連携・協働を更に推し進め「地域とともにある学校づくり」を実現するため、学校と地域が一体となった教育活動を展開し、幼児、児童、生徒の豊かな成長につなげる。                                                                                                                             |           |       |                       |               |        |     |
|              | 今後の方向性                                                         | 地域とともにある学校づくりを推進し、学校のマネジメント力を強化するため、令和7年度までに全ての小・中学校に学校運営協議会の設置を目指す。                                                                                                                                                                                |           |       |                       |               |        |     |
|              | 主な取組                                                           | ①コミュニティ・スクールの推進 ②スクールガードリーダーの派遣                                                                                                                                                                                                                     |           |       |                       |               |        |     |
| 施策の進捗状況      | 取組内容                                                           | ①コミュニティ・スクールの推進                                                                                                                                                                                                                                     |           |       |                       |               |        |     |
|              | R5事業内容                                                         | 本町小中学校がコミュニティ・スクール設置校となり22校中18校が設置校となった。また、第2回コミュニティ・スクール連絡協議会では、「みらいの学び舎シンポジウム」を協議会の研修と位置付けて同時開催とし、学校、地域の参加者で今後の展望を共有した。                                                                                                                           |           |       |                       |               |        |     |
|              | R6事業予定                                                         | 引き続き、研究推進校として南小中学校、鶴巻小中学校の取組を推進し、令和6年度はコミュニティ・スクールの全校設置を進める。また、今後の園小中一貫教育の進め方について学校運営協議会で議論を進め、学校マネジメントの強化につなげる。                                                                                                                                    |           |       |                       |               |        |     |
|              | 取組内容                                                           | ②スクールガードリーダーの派遣                                                                                                                                                                                                                                     |           |       |                       |               |        |     |
|              | R5事業内容                                                         | 地域社会の防犯・安全対策に精通するスクールガードリーダーを学校からの求めに応じて派遣し、子どもたちにとって安全・安心な地区づくりを推進した。また、取組の中で得られた情報を教育委員会だけでなく、必要に応じて他課や学校と共有することで、安全・安心な地域づくりを推進した。                                                                                                               |           |       |                       |               |        |     |
|              | R6事業予定                                                         | 引き続きスクールガードリーダーの派遣を通して、子どもたちにとって安全・安心な地域づくりを推進する。                                                                                                                                                                                                   |           |       |                       |               |        |     |
| 課題及び工夫・改善事項  |                                                                | 長年進めてきた地域学校協働活動の枠組みとなる「子どもを育む懇談会」と、ガバナンス組織となる学校運営協議会という二つの事業趣旨がまだ十分理解されていないことが大きな課題である。特に教職員の多忙化解消という側面からも、今後先進地区や有識者を招いた研修会、さらには今後の園小中一貫教育の進め方をテーマに学校運営協議会で熟議を進め、学校マネジメントの強化につなげることが大変重要となる。また、今後は既存の「子どもを育む懇談会」を地域学校協働本部として市全体で一般化を図り、学校の負担軽減を図る。 |           |       |                       |               |        |     |
| 施策の目標        | 年 度                                                            | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                               | 3年度       | 4年度   | 5年度                   | 6年度           | 7年度    |     |
|              | 指標名                                                            | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                          | 目標現状値（R1） | -     | -                     | 目標中間値         | -      | 目標値 |
|              |                                                                | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                 | 実績値       | 実績値   | 実績値                   | 実績値           | 実績値    | 実績値 |
|              | コミュニティ・スクール設置校数                                                | 7校                                                                                                                                                                                                                                                  | -         | -     | 14校                   | -             | 全小・中学校 |     |
|              |                                                                | 7校                                                                                                                                                                                                                                                  | 11校       | 16校   | 18校                   |               |        |     |
|              | 全国学力・学習状況調査の学校質問紙における「コミュニティ・スクールと学校の教育水準の向上の取組の関連性」に関する項目の集計値 | 40.9%                                                                                                                                                                                                                                               | -         | -     | 46%                   | -             | 50%    |     |
|              |                                                                | 実施せず                                                                                                                                                                                                                                                | 23.1%     | 27.3% | 23.1%                 |               |        |     |
|              | 学校からの求めに応じたスクールガードリーダーの派遣回数                                    | 213回                                                                                                                                                                                                                                                | -         | -     | 250回                  | -             | 250回   |     |
|              |                                                                | 162回                                                                                                                                                                                                                                                | 195回      | 316回  | 178回                  |               |        |     |

| 施策の総合評価          |    | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |    | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 目標達成状況<br>(自己評価) | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                  | A  | 令和5年度は目標中間値とした14校を大きく上回る18校での設置が進んだ。今後は令和7年度の全校設置はもとより、各校の実務を支援するディレクターの配置や各校の情報共有の場となる連絡協議会を継続し、学校マネジメントの強化につなげる。                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                  | B  | <p>コミュニティ・スクール設置校が着実に増えていることや、実効性を高めるために新旧の組織を整理し、市として一般化する取組等については評価できる。</p> <p>一方で、事業内容が未だ一部の地域に伝わっているに過ぎず、地域住民や保護者側の視点で何が変わるのか、学校づくりにどういう関わり方を求められているのかが分かりづらいため、更なる周知が必要である。また、多忙化解消の側面も含めて、コミュニティ・スクール化したことによるメリット、あるいは学校機能の新たな可能性について教職員の意識が薄いことは否めない。</p> <p>教育水準の向上のためにはどのような取組が必要かなど、重点施策としてよく現状を分析し、学校づくりへの関わり方に関心を持ってもらうため、地域協働によるコミュニティ・スクール運営の特色及び可能性を啓発していくことが求められる。</p>           |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                  | B  | <p>学校マネジメントの強化に係る施策の成果指標は大きく3点あり、1点目の設置校数が令和5年度の目標中間値となる14校を大きく上回る18校での設置が進んだことは大いに評価すべき点と考える。</p> <p>一方で、2点目の成果指標となる全国学力・学習状況調査の学校質問紙における「コミュニティ・スクールと学校の教育水準の向上の取組の関連性」に関する項目の集計値は、目標値の46%に対して半分の23.1%となっており、前年度と比較しても改善されていない。コロナ禍で多くの教育活動が制限を受ける時期が3年にわたり続いた影響であると考えられるが、量から質への転換が求められていると判断すべきであろう。自己評価にも、その辺りの記載がなく所管課としての意識改革の必要性を感じる。またスクールガードリーダーの派遣回数については、果たして指標とすべきか再検討が必要とも感じる。</p> |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                               | 主管課名                  | 教職員課   |
|-------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.6        | 施策名    | 学校における働き方改革の推進                                                                                                                                                                                                | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 3-1(1) |
| 施策の概要       | 目的     | <p>教職員の厳しい勤務実態を踏まえ、これまでの働き方を見直し、教育水準の改善・向上のため、自らの授業を磨く。</p> <p>また、自らの人間性や創造性を高め、教職員としての自信と誇りを持って子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう学校における働き方改革を推進し、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制づくりにつなげる。</p>                           |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 令和3年5月策定の学校業務改善推進方針で掲げた24項目の改善策について、学校現場と一体となって着実な推進を図る。                                                                                                                                                      |                       |        |
|             | 主な取組   | ①学校業務の改善 ②部活動スタートアップ事業の展開 ③スクールサポートスタッフの効果的な活用                                                                                                                                                                |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①学校業務の改善                                                                                                                                                                                                      |                       |        |
|             | R5事業内容 | 令和3年5月に策定した「学校業務改善推進方針」に基づき、教師が教師でなければできないことに全力投球できるよう、県費の負担も含めたスクールサポートスタッフの継続配置や、統合型校務支援システムによる勤務時間の適正把握などのほか、学校閉庁時刻の設定、小・中学校給食費の公会計化実施、学校閉庁日の拡大(6日⇒7日)等の整備などに取り組んだ。                                        |                       |        |
|             | R6事業予定 | 学校ICT化の推進として更新に合わせて導入した、新たな統合型校務支援システムによる円滑な勤務時間管理や、学校開放に伴う体育館扉の電子錠の導入を全校で実施する。                                                                                                                               |                       |        |
|             | 取組内容   | ②部活動スタートアップ事業の展開                                                                                                                                                                                              |                       |        |
|             | R5事業内容 | 東中学校、南が丘中学校（バレーボール部、軟式野球部）大根中学校（体操部、ソフトテニス部）、南中学校（吹奏楽部）、市内中学校剣道部、市内中学校陸上競技部、市内サッカー部で休日の学校部活動を段階的に地域移行していく取組を実践研究し、全体の3割で地域移行が進んだ。                                                                             |                       |        |
|             | R6事業予定 | 令和7年度末までに休日の学校部活動を段階的に地域移行していくため、「秦野市教育振興基本計画」に位置付けた「部活動スタートアッププラン」に基づき、令和5年度に実施した実証研究を継続的に実施するとともに、第三期研究体制として南が丘中学校を推進モデル校とすることや、各校の実情に応じた取組を行う。また、市内剣道部及び陸上競技部においては、市スポーツ協会との連携を図りながら、全体の6割の目標として取組を推進していく。 |                       |        |
|             | 取組内容   | ③スクールサポートスタッフの効果的な活用                                                                                                                                                                                          |                       |        |
|             | R5事業内容 | 教員OBを中心に市費負担教職員9人、県費負担教職員32人を任用し全校に配置した。市費県費の効果的な運用に努めたことで、教員の業務負担軽減につながった。                                                                                                                                   |                       |        |
|             | R6事業予定 | この間の効果的な運用が国や県の予算拡充へとつながったため、市費スクールサポートスタッフ事業を県費へ移行。全校に配置するとともに各校への複数配置の実現を目指す。                                                                                                                               |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 学校のICT化を推進しつつ、教職員はもちろんのこと、学校関係者を含めた一人ひとりの意識改革と行動が大きな原動力となるため、教育委員会の安全衛生委員会ともよく連携し、教職員の健康に留意しながら、引き続き、タイミングよく、粘り強く、情報と意識の共有、協働を図りつつ、着実な推進に努める必要がある。特に中学校は部活動の影響も大きいことから、引き続き教職員の意識改革を進める必要がある。                 |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度           | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 3 年度       | 4 年度 | 5 年度 | 6 年度  | 7 年度 |       |
|------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------|------|-------|------|-------|
|                  | 指標名           | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 目標現状値（R I） | -    | -    | 目標中間値 | -    | 目標値   |
|                  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 実績値        | 実績値  | 実績値  | 実績値   | 実績値  | 実績値   |
|                  | 教職員ストレスチェック指数 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 93         | -    | -    | 前回値以下 | -    | 前回値以下 |
|                  |               | 91                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 91         | 98   | 94   |       |      |       |
| 施策の総合評価          |               | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |      |      |       |      |       |
|                  |               | A：計画以上　B：計画通り　C：少し遅れた　D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |            |      |      |       |      |       |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価            | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |      |      |       |      |       |
|                  | B             | 統合型校務支援システムの導入に伴う学校のＩＣＴ化、デジタル化の積極的な環境整備に努めるとともにその効果的な活用についても学校現場と一体となって進めることができた。また新たに学校開放に伴う体育館の電子錠導入に関して、全校実施に向けて学校と一体になって取り組むことで、成果指標の達成や時間外在校等時間が令和元年度比で小学校で29％の削減、中学校で16％の削減につながった。今後も時間外在校等時間45時間以上となる教職員がゼロになることを目指し、各校と協働した取組を進めていく必要がある。                                                                                         |            |      |      |       |      |       |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価            | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |      |      |       |      |       |
|                  | B             | 教師が誇りをもって教育に専念できるように、という問題意識、課題設定、施策ともにふさわしい取組を着実に進めていると評価できる。<br>その一方、ＩＣＴ化の前にそれを受け入れる環境や仕組み作りが必要であることはよく言われるところであり、教職員が使いこなすための時間や教職員がどのような「働き方」を目指すのかというイメージを描くのに時間がかかるのではないと思われる。ＩＣＴ化によってストレスを感じる教員や、部活動に携わる時間が減少して不満を感じる教員も少なからずいる。<br>将来的に少子化の進行が見込まれる中で、段階的な部活動数の削減などの対応が必要であろう。目標や道筋を具体的に周知していく必要があるとともに、現場の声をよく聴きながら取組を進めていただきたい。 |            |      |      |       |      |       |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価            | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |      |      |       |      |       |
|                  | B             | 着実に改革は進んでいると評価するが、この課題が学制開始から150年経過して表出したと考えれば、働き方改革という山は、とてつもなく高い。既に中央教育審議会では、全ての教職員の時間外在校等時間を45時間以内とする目標について議論がなされている。こうした経緯を斟酌すれば成果指標が適正であるかという議論も含めて、教育委員会が設置する安全衛生委員会ともよく連携し、引き続き着実な推進に努める必要がある。                                                                                                                                     |            |      |      |       |      |       |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                       | 主管課名                  | 教育総務課  |
|-------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.7        | 施策名    | 学校施設長寿命化の推進                                                                                                                                                                           |                       |        |
|             |        |                                                                                                                                                                                       | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 3-2(1) |
| 施策の概要       | 目的     | 学校施設の長寿命化を計画的に進めることにより、快適で安全・安心な学習環境を確保する。                                                                                                                                            |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 学校施設や設備の老朽化が進む中で、施設の耐用年数を踏まえた建替えなども考慮しながら、計画的に施設改修を進める。また、子どもたちの安全・安心な学習環境を確保するため非構造部材の耐震対策を進める。                                                                                      |                       |        |
|             | 主な取組   | ①学校施設の改修<br>②非構造部材の耐震対策(ガラス飛散防止対策：R4～R6)                                                                                                                                              |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①学校施設の改修                                                                                                                                                                              |                       |        |
|             | R5事業内容 | 令和5年度の長寿命化に係る改修工事を6件実施した。<br>・本町小学校給食室棟屋上防水工事 ・東小学校高圧ケーブル及びP A S改修工事<br>・鶴巻中学校屋上防水工事 ・東中学校高圧ケーブル及びP A S改修工事<br>・渋沢中学校法面改修工事 ・西幼稚園園舎屋上防水工事                                             |                       |        |
|             | R6事業予定 | 令和6年度の長寿命化に係る改修工事を3件予定している。<br>・渋沢小学校渡り廊下屋上防水工事 ・末広小学校屋内運動場屋根改修工事<br>・南中学校P A S改修工事                                                                                                   |                       |        |
|             | 取組内容   | ②非構造部材の耐震対策(ガラス飛散防止対策)                                                                                                                                                                |                       |        |
|             | R5事業内容 | 令和5年度のガラス飛散防止フィルム貼付けを8校で実施した。<br>・小学校5校(南・上・広畑・渋沢・末広)、中学校3校(南・南が丘・渋沢)                                                                                                                 |                       |        |
|             | R6事業予定 | 令和6年度のガラス飛散防止フィルム貼付けを7校で実施を予定している。<br>・小学校4校(北・南が丘・堀川・鶴巻)、中学校3校(本町・東・北)                                                                                                               |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                                                       |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                                                       |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                                                       |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 設備の改修においては、国庫補助事業を活用しながら実施をしているが、実施する工事内容によっては、国庫補助事業の対象外となるものもあり、財源が十分に確保できない中で改修箇所増加に対応しなければならないため、学校施設の現状を注視しながら、長寿命化を図れるものと抜本的な改修を要するものを見定め、改修の必要性や優先順位を基に改修計画を適切に見直しながら進める必要がある。 |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度                                | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                    | 3 年度        | 4 年度        | 5 年度         | 6 年度  | 7 年度 |     |
|------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|--------------|-------|------|-----|
|                  | 指標名                                | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                    | 目標現状値（R1）   | -           | -            | 目標中間値 | -    | 目標値 |
|                  |                                    |                                                                                                                                                                               | 実績値         | 実績値         | 実績値          | 実績値   | 実績値  | 実績値 |
|                  | 今後5年間で予定している改修・更新工事<br>（25件）の進ちょく率 | -                                                                                                                                                                             | -           | -           | 60%          | -     | 100% |     |
|                  |                                    | -                                                                                                                                                                             | 20%<br>（5件） | 32%<br>（8件） | 56%<br>（14件） |       |      |     |
| 施策の総合評価          |                                    | 凡例                                                                                                                                                                            |             |             |              |       |      |     |
|                  |                                    | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                |             |             |              |       |      |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価                                 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                      |             |             |              |       |      |     |
|                  | B                                  | 目標中間値に対して、若干の遅れが生じたが、概ね計画通りとなっている。当初の改修計画から、年度の経過とともにより優先度の高い改修箇所が生じている状況もあり、工事予定箇所の見直しが必要である。また、非構造部材（窓ガラスの飛散防止対策）については、3か年で全小中学校が完了する予定で進めており、令和5年度までは計画通りに進んでいる。           |             |             |              |       |      |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価                                 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                      |             |             |              |       |      |     |
|                  | B                                  | 安全・安心な教育環境が確保された中で質の高い教育が行われることが理想であるため、学校施設の修繕・改修が計画的に進められていることは評価できる。<br>学習環境の整備とともに、地域の防災拠点としての機能維持という視点が大切であり、大規模地震や豪雨災害等への対応が十分可能となるよう、適切な改修・整備を進めてほしい。                  |             |             |              |       |      |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価                                 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                      |             |             |              |       |      |     |
|                  | B                                  | 市の財政面や老朽化が進む学校施設の状況を踏まえ、対応箇所の把握や優先順位の精査も難しくなっていると感じている。教育総務課だけでなく建築職の協力も得ながら対応しており、子どもたちの安全・安心な学校生活に対応する単年の実績としては評価できる。学校は、地域の核となる施設であり、また、避難所としての側面もあるので、継続的な維持保全に注力してもらいたい。 |             |             |              |       |      |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                  | 主管課名                  | 教育総務課  |
|-------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.8        | 施策名    | 学校における省エネ対策の推進                                                                                   | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 3-2(2) |
| 施策の概要       | 目的     | 児童生徒の安全・安心と省エネルギー化による環境への配慮の両面から、教育環境の整備を図る。                                                     |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 幼稚園及び小・中学校の校舎等への高効率照明（ＬＥＤ照明）設備導入に係る整備計画を策定し、計画的にＬＥＤ照明への更新を図る。                                    |                       |        |
|             | 主な取組   | ①学校施設省エネ対策の推進                                                                                    |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①学校施設省エネ対策の推進                                                                                    |                       |        |
|             | R5事業内容 | 小・中学校における、エネルギー使用量の把握と学校現場への省エネに係る周知                                                             |                       |        |
|             | R6事業予定 | 幼稚園保育室等への高効率照明（ＬＥＤ照明）設備導入に係る計画を策定するとともに、小・中学校におけるエネルギー使用量の把握と学校現場への省エネに係る周知を継続                   |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                  |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                  |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                  |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                  |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                  |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                  |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                  |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                  |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                  |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 整備手法の見直しにより、令和4年度中に小・中学校全校の照明設備をＬＥＤ化し、電力消費の削減を図るとともに、幼稚園については、今後の園児数や園運営を考慮し、効果的な範囲のＬＥＤ化計画を策定する。 |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度                          | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                        | 3 年度      | 4 年度 | 5 年度          | 6 年度  | 7 年度          |     |
|------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------|---------------|-------|---------------|-----|
|                  | 指標名                          | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                        | 目標現状値（R1） | -    | -             | 目標中間値 | -             | 目標値 |
|                  |                              |                                                                                                                                                                                                   | 実績値       | 実績値  | 実績値           | 実績値   | 実績値           | 実績値 |
|                  | エネルギー使用量等の削減（照明のLED化による削減効果） | -                                                                                                                                                                                                 | -         | -    | R2年度比<br>15%減 | -     | R2年度比<br>30%減 |     |
|                  |                              | -                                                                                                                                                                                                 | -         | -    | 12.3%減        |       |               |     |
| 施策の総合評価          |                              | 凡例                                                                                                                                                                                                |           |      |               |       |               |     |
|                  |                              | A：計画以上    B：計画通り    C：少し遅れた    D：大きく遅れた                                                                                                                                                           |           |      |               |       |               |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価                           | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                          |           |      |               |       |               |     |
|                  | B                            | 照明設備のLED化に伴い、目標値に近い削減効果が図れた。引き続き環境負荷軽減を目的に、効率的な電力の使用ができるよう省エネへの取組を継続する。                                                                                                                           |           |      |               |       |               |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価                           | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                          |           |      |               |       |               |     |
|                  | B                            | エネルギー使用量の削減効果や消し忘れ等による浪費の状況について、定期的に情報を提供することは教職員、児童生徒が省エネに意識を持って生活することにつながるため、継続的な取組を求める。                                                                                                        |           |      |               |       |               |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価                           | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                          |           |      |               |       |               |     |
|                  | B                            | 省エネ、カーボンニュートラルへの取組として、学校を通じ子どもたちにも意識が芽生えるよう取組は継続してもらいたい。省エネは大切だが、一方で教職員や児童生徒の健康管理も重要なので、特にエアコンの使用についてはメリハリのある使い方をしてもらいたい。教職員の執務を各教室ではなく職員室で行ったり、見回りを強化しエアコンや照明の不要な稼働がないようにするなど、無駄を省く努力を継続してもらいたい。 |           |      |               |       |               |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 主管課名                  | 学校教育課  |
|---------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.9    | 施策名    | 学校管理下の安全確保の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 3-2(3) |
| 施策の概要   | 目的     | <p>児童生徒の登下校時の安全を確保するため、学校から整備・改善要望を受けた通学路の危険箇所等について、学校、保護者、教育委員会、関係課及び秦野警察署が合同点検を実施し、必要性や優先順位等を見極めながら安全対策を更に強化する。</p> <p>また、安全で安心な給食を提供するため、施設及び設備の適正な維持管理と計画的な改修・更新を進める。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                       |        |
|         | 今後の方向性 | <p>児童生徒の登下校時の安全・安心のため、引き続き、学校、保護者、教育委員会、関係課及び秦野警察署が連携し、必要に応じて所有者等の協力を得ながら安全対策を進める。</p> <p>また、国県道の安全対策について、それぞれの道路管理者と連携する。</p> <p>さらに、教育施設の一体化等を見据えながら、小学校給食室及び給食設備の計画的な改修及び更新等に取り組み、安全で安心な給食の安定的な提供に努める。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                       |        |
|         | 主な取組   | ①通学路の安全確保 ②小学校給食調理設備等の計画的な改修                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                       |        |
| 施策の進捗状況 | 取組内容   | ①通学路の安全確保                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |        |
|         | R5事業内容 | <p>【通学路危険箇所への対応】</p> <p>各校からの整備要望箇所に対して、学校、秦野警察署、道路管理者、市交通安全所管課及び教育委員会による合同点検等により対策案を検討し、各部署において対策を実施した。また、学識経験者等を構成員とした「秦野市通学路安全対策推進懇話会」の会議を3回開催し、客観的な視点からの助言等をいただきながら通学路の安全確保に向けた取組を着実に進めることができた。</p> <p>【登下校時の見守り活動】</p> <p>警察官OB等をスクールガードリーダーとして派遣し、地域ボランティアの養成、危機管理体制に対する指導・助言、定期的な園・学校内外の巡回パトロールを行い、安全・安心な体制づくりを推進した。また、令和5年度から開始した「通学路見守りサポーター登録制度」を市公式LINE等で周知し、33人の追加登録により見守り体制の強化を図ることができた。</p> <p>【児童生徒への交通安全教育】</p> <p>試行的な取組として、本町中学校において民間企業及び警察と連携した交通安全教育を実施し、自転車に関わる事故の実態やヘルメット着用の努力義務化の理解を深めるとともに、実技を通して周囲に合わせた「協調した自転車の乗り方」等について学んだ。</p> |                       |        |
|         | R6事業予定 | <p>引き続き、通学路安全対策推進懇話会の助言を受けながら、合同点検等による安全対策の実施を進め、通学路の安全確保に向けた取組を推進する。</p> <p>また、スクールガードリーダーによる見守り活動を実施するとともに、通学路見守りサポーター登録制度の効果や課題等を整理し、登下校時における児童生徒の見守り体制の拡充に努める。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |        |

|              |                                 |                                                                                                                                                                                                                |           |      |                |       |                |     |
|--------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------|----------------|-------|----------------|-----|
| 施策の進捗状況      | 取組内容                            | ②小学校給食調理設備等の計画的な改修                                                                                                                                                                                             |           |      |                |       |                |     |
|              | R5事業内容                          | 【小学校給食調理室の改修整備】<br>総合計画に位置付けた老朽化した給食調理室の改修整備を計画的に行った。（南が丘小学校）<br>【学校給食センターの活用を踏まえた提供方針の検討】<br>安全・安心で安定的な給食提供を実施するため、児童生徒数の推移や小中学校の一体化の方針を踏まえ、給食調理員の適正配置と提供方針の検討を行った。                                           |           |      |                |       |                |     |
|              | R6事業予定                          | 【小学校給食調理室の改修整備】<br>安全・安心な給食を提供するため、小中学校の一体化の方針を踏まえ、給食調理室の改修整備計画を策定する。<br>【学校給食センターの活用を踏まえた提供方針の検討】<br>引き続き、安全・安心で安定的な給食提供を実施するため、児童生徒数の推移や小中学校の一体化の方針を踏まえ、給食調理員の適正配置と提供方針の検討を行う。                               |           |      |                |       |                |     |
| 課題及び工夫・改善事項  |                                 | 通学路の合同点検については、通学路安全対策推進懇話会での助言を踏まえ、一部の箇所において試行的な取組（危険内容に応じて点検を登校時間に実施、地域住民（自治会）にも参加いただいて実施）を行い、効果的な対策の推進に努めた。                                                                                                  |           |      |                |       |                |     |
| 施策の目標        | 年 度                             | 令和2年度                                                                                                                                                                                                          | 3年度       | 4年度  | 5年度            | 6年度   | 7年度            |     |
|              | 指標名                             | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                     | 目標現状値（R1） | -    | -              | 目標中間値 | -              | 目標値 |
|              |                                 | 実績値                                                                                                                                                                                                            | 実績値       | 実績値  | 実績値            | 実績値   | 実績値            |     |
|              | 情報提供を受けた通学路の危険箇所のうち、即応可能な案件への対応 | 100%                                                                                                                                                                                                           | -         | -    | 100%           | -     | 100%           |     |
|              |                                 | 100%                                                                                                                                                                                                           | 100%      | 100% | 100%           |       |                |     |
|              | 計画的な給食施設の改修                     | -                                                                                                                                                                                                              | -         | -    | 1施設/年          | -     | 1施設/年          |     |
|              |                                 |                                                                                                                                                                                                                | 1校        | 1校   | 1校             |       |                |     |
|              | 先行的な備品等の入替・修繕                   | 緊急度合による順位付け対応                                                                                                                                                                                                  | -         | -    | 備品台帳に基づく計画的な入替 | -     | 備品台帳に基づく計画的な入替 |     |
|              |                                 | 100%                                                                                                                                                                                                           | 100%      | 100% |                |       |                |     |
| 施策の総合評価      |                                 | 凡例                                                                                                                                                                                                             |           |      |                |       |                |     |
|              |                                 | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                 |           |      |                |       |                |     |
| 目標達成状況（自己評価） | 評価                              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                       |           |      |                |       |                |     |
|              | B                               | 秦野市通学路交通安全プログラムに基づき、学校、警察、道路管理者等による合同点検等を実施し、懇話会からの助言等を受けながら通学路の安全対策を推進することができた。<br>また、情報提供を受けた通学路の危険箇所の内、草木の伐採や蜂の巣への対応等、即時対応可能な案件については、すべて対応を行うことができた。（令和5年度対応件数：6件）<br>小学校給食調理設備は、計画通りに施設の改修及び備品等の入替・修繕ができた。 |           |      |                |       |                |     |

|                 |    |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 点検・評価会議の<br>評価  | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                 | A  | <p>33人もの通学路見守りサポーターへの追加登録や、定期的な安全点検を実施しつつ、各通学路の危険箇所に対して即時対応可能な案件に100%対応したことは評価できる。改善事項にある登校時間における点検実施についても、ぜひ実現を望みたい。</p> <p>安全対策は何よりも重要な事柄であるため、継続した取組に努めてほしい。</p>                                                                                       |
| 教育長・教育委員<br>の評価 | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                 | B  | <p>緊急性が高いことが想定される、即時対応を要する箇所にすべて対応できたことは評価できる。</p> <p>また、スクールガードリーダー、自治会等による見守り活動に加えて、新たに33人の見守りサポーターが登録され、子どもたちを見守る目が増えていくことに安心感を感じる。今後は、それぞれの団体が連携し、透き間のない見守り体制が整備されることを期待したい。</p> <p>小学校給食の調理室については、食の安全につながるものなので、計画的な改修に加えて、日常的な点検の確実な実施をお願いしたい。</p> |



# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 主管課名                  | 学校教育課  |
|-------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.10       | 施策名    | 学校教育の情報化の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                       |        |
|             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 3-3(2) |
| 施策の概要       | 目的     | 次代を拓く子どもたちに公正で最適な学びを提供するため、ICT環境を整備し、「学校教育の情報化」を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                 |                       |        |
|             | 今後の方向性 | ICTを活用し、個別最適化された学びの実現に向けた環境整備を推進する。<br>また、児童生徒に多様な学習環境を提供できるよう、学習用ICT端末を最大限に活用できる効果的かつ効率的な環境づくりに取り組む。<br>さらに、教職員の校務のデジタル化を推進し、効率的な校務処理の実現により教職員の事務負担の軽減を図り、教育活動の質の向上につなげる。                                                                                                                            |                       |        |
|             | 主な取組   | ①GIGAスクール構想の環境整備                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①GIGAスクール構想の環境整備                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |        |
|             | R5事業内容 | <p>児童生徒一人1台の学習用端末を適切に管理運用するとともに、校内無線ネットワークを高速かつ大容量の通信が可能な接続方式へ変更し、安定的な利用環境の確保に努めた。</p> <p>また、学校ネットワークシステム（校務用パソコンを利用するための各種サーバ類及び統合型校務支援システム）について、令和4年度に策定した更新方針に基づき、教育現場の課題解決に資するシステムへの更新作業を行い、令和6年1月から準備稼働を開始した。</p> <p>さらに、学校と教育委員会が連携した推進組織として「秦野市学校DX推進会議」を設置し、デジタルを活用した新たな学校づくりに向けた体制を構築した。</p> |                       |        |
|             | R6事業予定 | <p>引き続き、学習用端末をはじめとするICT機器の適切な管理運用に努めるとともに、本格稼働を開始した新学校ネットワークシステムを効果的に活用し、校務のデジタル化を推進する。</p> <p>また、令和7年度に予定している学習用端末の更新に向けて、県が設置する共同調達会議に参加し、次期端末で必要とする機能や調達方法、更新計画等について検討を進める。</p>                                                                                                                    |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | <p>学習用端末の故障、破損等の発生を抑制するため、教職員及び児童生徒に対して継続的に端末利用に関する注意喚起を行い、適切な端末利用の推進に努める。</p> <p>また、日々更新されるWebサイトに対しては、不適切なサイトへのフィルタリングを確実に実施するとともに、学校に対してもアクセス制限を必要とするサイトを確認した場合の迅速な報告を依頼し、学習用端末の利用に係る児童生徒の安全確保に努める。</p>                                                                                            |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度       | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                             | 3 年度       | 4 年度  | 5 年度 | 6 年度  | 7 年度 |     |
|------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|------|-------|------|-----|
|                  | 指標名       | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                             | 目標現状値（R I） | -     | -    | 目標中間値 | -    | 目標値 |
|                  |           |                                                                                                                                                                                                                                                                        | 実績値        | 実績値   | 実績値  | 実績値   | 実績値  | 実績値 |
|                  | I C T の活用 |                                                                                                                                                                                                                                                                        | -          | -     | -    | 80%   | -    | 90% |
|                  |           | 79.1%                                                                                                                                                                                                                                                                  | 77.8%      | 78.8% | 公表前  |       |      |     |
| 施策の総合評価          |           | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |       |      |       |      |     |
|                  |           | A：計画以上　B：計画通り　C：少し遅れた　D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                         |            |       |      |       |      |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価        | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                               |            |       |      |       |      |     |
|                  | A         | 学校及び I C T 支援員と連携し、学習用端末を適切に管理運用することができた。また、校内無線ネットワークの接続方式を見直すことにより、学習用端末の安定的な利用環境を整備することができた。<br>さらに、学校の意見等を踏まえて選定した新学校ネットワークシステムへ更新し、学校のデジタル化に必要な基盤を構築することができた。                                                                                                     |            |       |      |       |      |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価        | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                               |            |       |      |       |      |     |
|                  | B         | 新しい通信ネットワーク環境の整備を実現し、G I G A スクール構想について実のある進展が見られる。生成 A I をはじめとして、デジタル技術は目覚ましい勢いで進化していることを踏まえ、目標値の90%に囚われず、すべての授業で I C T の活用が実現できるよう、今後は環境整備に加え、授業等での活用方法の研究・情報共有への注力にも期待する。<br>一方で、新学校ネットワークシステムの運用については、令和6年1月の準備稼働開始以来、やや現場での戸惑いも見られるため、引き続き現場での定着に向けた所管課の対応が求められる。 |            |       |      |       |      |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価        | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                               |            |       |      |       |      |     |
|                  | B         | 日々進化を続けるデジタル技術に対応していくことは、多くの困難を伴うものであると考えるが、新しい学校ネットワークシステムへの更新等、着実に学校のデジタル化が進んでいると感じる。新しいシステムの利用に当たっては、教職員間で情報共有を図るなど工夫し、多くの教職員が効果的に活用することを期待する。<br>また、引き続き安全・安心な学習用端末の利用環境を整備していくとともに、学習用端末を活用した授業の研究等、活用面での取組を推進してほしい。                                              |            |       |      |       |      |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                                            | 主管課名 | 学校教育課                 |
|-------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|
| No.11       | 施策名    | 中学校給食の推進【重点施策】<br>(学校給食の推進)                                                                                                                                                                                                |      | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け |
| 施策の概要       | 目的     | 未来を担う子どもたちの心身の健全な育成に資するため、全ての中学校で、安全・安心でおいしい生徒が喜ぶ中学校給食を提供する。                                                                                                                                                               |      |                       |
|             | 今後の方向性 | 給食センター内に職員を配置し、学校給食事務の円滑な運営に努める。<br>また、献立作成や食材の調達及び給食費の徴収を市が行うことで、安定的な給食の提供を行う。<br>さらに、食育や地産地消に継続的に取り組み、給食を通じて地域振興につながるよう、庁内の関係部局と連携を図る。                                                                                   |      |                       |
|             | 主な取組   | ①学校給食の推進                                                                                                                                                                                                                   |      |                       |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①学校給食の推進                                                                                                                                                                                                                   |      |                       |
|             | R5事業内容 | 公会計化による小・中学校給食費の徴収率の向上に取り組んだ。<br>夏季休業中における給食センターの有効活用として、2学期の給食提供に使用する玉ねぎを加工し、規格外野菜のフードロス対策を実施した。<br>また、中学校給食に対する意見を聴取するため、申込制による市民等からの給食センターの見学会及び試食会を実施した。                                                               |      |                       |
|             | R6事業予定 | 公会計化による小・中学校給食費の徴収率の更なる向上を目指す。<br>生産者と顔が見える関係の構築により、食材への感謝の心を育むとともに、ふるさと秦野食育DAY、「Go Fun（ご飯）Week！」などを実施し、関係機関や生産者と連携したオール秦野産の給食提供、食育の充実を図ることにより、学校給食における地産地消率の更なる向上を目指す。<br>また、中学校給食に対する率直な意見を聴取する必要があるため、引き続き市民向け試食会を実施する。 |      |                       |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                                                                                            |      |                       |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                                                                                            |      |                       |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                                                                                            |      |                       |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                                                                                            |      |                       |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                                                                                            |      |                       |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                                                                                            |      |                       |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 給食事業の円滑な運営のため、学校現場と綿密な連携を図るとともに生徒や保護者及び学校との意見交換に努める。<br>また、将来を見据えた小・中学校の学校給食事業を、学校施設の一体化と併せて、また小・中学校の残渣についても、環境に配慮した持続可能な処分方法を検討する。                                                                                        |      |                       |

| 施策の目標            | 年 度                      | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                   | 3 年度      | 4 年度  | 5 年度 | 6 年度  | 7 年度 |     |
|------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|------|-------|------|-----|
|                  | 指標名                      | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                   | 目標現状値（R1） | -     | -    | 目標中間値 | -    | 目標値 |
|                  |                          |                                                                                                                                                                                                                                                              | 実績値       | 実績値   | 実績値  | 実績値   | 実績値  | 実績値 |
|                  | 学校給食食材における<br>秦野産野菜の使用割合 | 37.2%                                                                                                                                                                                                                                                        | -         | -     | 40%  | -     | 50%  |     |
|                  |                          | 37.7%<br>(中学のみ・品目)                                                                                                                                                                                                                                           | 30.2%     | 38.0% |      |       |      |     |
| 施策の総合評価          |                          | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                           |           |       |      |       |      |     |
|                  |                          | A：計画以上    B：計画通り    C：少し遅れた    D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                      |           |       |      |       |      |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価                       | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                     |           |       |      |       |      |     |
|                  | B                        | 野菜類については、農業や商業の振興の観点から中学校はJAから、小学校は八百屋からと調達先をすみ分け、中学校は52.4%、小学校は23.6%、トータルの地場産率は38.0%であったが、概ね計画通りであった。引き続き地場産率の向上に取り組んでいく必要がある。                                                                                                                              |           |       |      |       |      |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価                       | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                     |           |       |      |       |      |     |
|                  | B                        | 地場野菜は旬によって使える品種が限られる中、中学校給食で50%を超える使用率は大いに評価できる。また、令和6年度には食育の充実を図り、残渣を減らすことにもつながる取組や、今後も継続して安定した品質の給食が提供されることを期待する。<br>一方で、中学校給食の導入効果について、施策の趣旨を踏まえて子どもたちや保護者、教職員が状況をどのように捉えているのかを基に評価すべきではないかと考える。教育学習環境や学校教職員の負担感、子どもや保護者の意向、食育の視点などから施策を点検・評価していくことが望ましい。 |           |       |      |       |      |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価                       | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                     |           |       |      |       |      |     |
|                  | B                        | 公会計化により、徴収率が向上していることは、評価できる。また、引き続き経済的な支援が必要な家庭には、就学援助制度により、取り組んでほしい。<br>夏季休業中の給食センターの利活用については、規格外野菜の取組のほか、さらに効果的に取り組めるような検討を進めてほしい。<br>また、食育の一環である「Go Fun（ご飯）Week!」を実施し、食料に対する意識の啓発や栄養バランスが取れた食事の効果などを学ぶことで、食料自給率の向上や教育分野以外にもつながる取組となるよう期待する。               |           |       |      |       |      |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                       | 主管課名                  | 教育総務課  |
|-------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.12       | 施策名    | 教育施設の一体的整備の推進                                                                                                                                         |                       |        |
|             |        |                                                                                                                                                       | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 3-3(5) |
| 施策の概要       | 目的     | 児童・生徒数の減少と施設の老朽化が進む中、学校施設が隣接する立地条件とこれまでの幼小中一貫教育の成果を踏まえ、教育施設の一体的整備を推進することで、教育環境の充実を図る。                                                                 |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 施設の耐用年数等を踏まえ、教育施設の一体化整備の具体的な方向付けを行う。                                                                                                                  |                       |        |
|             | 主な取組   | ①学校施設の一体的整備に係る整備手法等の検討<br>②新たな学びを支える学校施設等のあり方に関する調査研究                                                                                                 |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①学校施設の一体的整備に係る整備手法等の検討                                                                                                                                |                       |        |
|             | R5事業内容 | 「みんなで考えるみらいの学校整備指針案」を作成し、教育委員会会議に諮るとともに、これからの学校整備に係る課題や方向性などをまとめた動画を作成した。動画については、本町公民館で開催した「みらいの学び舎シンポジウム」において公表するとともに、広く市民に周知するため動画サイトでも閲覧できるよう掲載した。 |                       |        |
|             | R6事業予定 | ・「みんなで考えるみらいの学校整備指針」の庁内合意を図る。<br>・パブリックコメントの実施による市民からの意見聴取。<br>・大根中学校区学校施設整備構想作成のための外部委託を行う。                                                          |                       |        |
|             | 取組内容   | ②他の公共施設との集約の可能性の検討                                                                                                                                    |                       |        |
|             | R5事業内容 | 公共施設再配置計画推進会議による庁内検討の実施（他の公共施設との複合化等の検討）                                                                                                              |                       |        |
|             | R6事業予定 | 公共施設再配置計画推進会議による庁内検討の継続（他の公共施設との複合化等の検討）                                                                                                              |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                       |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                       |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                       |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 教育施設の一体化整備については、令和6年度中に策定する予定の「みんなで考えるみらいの学校整備指針」を基礎資料に、教育内容の側面から「園小中一貫教育に係る教育課程の編成指針」を踏まえながら、学校運営協議会等との意見交換を重ね進める必要がある。                              |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度               | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                                             | 3 年度      | 4 年度 | 5 年度         | 6 年度  | 7 年度              |     |
|------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------|--------------|-------|-------------------|-----|
|                  | 指標名               | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                                             | 目標現状値（R1） | -    | -            | 目標中間値 | -                 | 目標値 |
|                  |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 実績値       | 実績値  | 実績値          | 実績値   | 実績値               | 実績値 |
|                  | 新たな学校施設等の一体的整備の推進 | -                                                                                                                                                                                                                                                                                      | -         | -    | 施設の一体的整備指針決定 | -     | 施設一体化に係る「基本構想」の策定 |     |
|                  |                   | -                                                                                                                                                                                                                                                                                      | -         | -    | 指針案の作成       |       |                   |     |
| 施策の総合評価          |                   | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |      |              |       |                   |     |
|                  |                   | A：計画以上    B：計画通り    C：少し遅れた    D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                |           |      |              |       |                   |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価                | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |      |              |       |                   |     |
|                  | C                 | 当初、予定では令和5年度中に指針の策定としていたが、指針の熟度を高めるほか、内部的な政策合意、教育課程の編成指針との進め方などを調整するなかで、策定予定が令和6年度中へ移行することとなった。                                                                                                                                                                                        |           |      |              |       |                   |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価                | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |      |              |       |                   |     |
|                  | C                 | 教育環境が日々変わっていく中で、未来の指針作りの苦労は想像に難くないが、諸事情により目標にしていた指針策定にまで至らなかったことは残念である。一方で、学校の教育課程編成指針を踏まえての指針作成は課題も多く、慎重な取組と、教育指導課及び教育研究所との有機的な取組が求められる。<br>教育施設の一体化について、広く市民に周知するための啓発活動は有効であり、継続的な取組を期待したい。また、災害のリスクが高まっている中で緊急避難場所にもなる施設なので、関係各所からよく意見を聴取するとともに、長期的、具体的な展望に立った構想の策定を計画的に進めていただきたい。 |           |      |              |       |                   |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価                | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |      |              |       |                   |     |
|                  | B                 | 自己評価にある「指針の熟度を高める」という考え方のもと、計画どおりの進捗を得られなかったという評価はそのとおりだが、多角的な情報収集と分析を踏まえたこれまでの議論や取組の経過を鑑みると、より精練された計画になってきていると感じている。引き続き「園小中一貫教育に係る教育課程の編成指針」との整合性を図りつつ、未来に求められる、秦野ならではの教育施設の一体的整備により一層の力を注いでもらいたい。                                                                                   |           |      |              |       |                   |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                                                         | 主管課名                  | 生涯学習課  |
|-------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.13       | 施策名    | 地域コミュニティの活動拠点としての公民館事業の充実                                                                                                                                                                                                               | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 4-1(1) |
| 施策の概要       | 目的     | 市民一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学習し、その成果を生かすことができる社会の実現を図るため、生涯学習活動やコミュニティ活動の拠点である公民館事業の充実を図る。                                                                                                                                           |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 各公民館が連携し、地域間の交流を活性化させ、地域コミュニティづくりをサポートするとともに、市民一人ひとりが得た学びを地域に還元する機会の拡充、仕組みづくりに取り組む。                                                                                                                                                     |                       |        |
|             | 主な取組   | ①市民提案型事業の充実 ②公民館協働事業の充実 ③地域協働事業の充実                                                                                                                                                                                                      |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①市民提案型事業の充実 ②公民館協働事業の充実 ③地域協働事業の充実                                                                                                                                                                                                      |                       |        |
|             | R5事業内容 | 新型コロナウイルスが5類に引き下げられた中、公民館長（堀川、渋沢、南が丘以外の8館）が地域まちづくりコーディネーターとして地域活動の活性化を推進するとともに、地域住民等の協力のもと、地域資源の活用事業、世代間交流事業、公民館同士の協働連携事業などをはじめ、可能な限り事業を実施することに努めた。また、生涯学習推進計画の「高度情報化社会に関する学習の推進」の一環として、デジタルデバインド（情報格差）の解消のために、高齢者を対象としたスマートフォン講座を実施した。 |                       |        |
|             | R6事業予定 | 幅広い世代の参加を促すためのニーズの把握に努めることで、講座等の充実につなげ、引き続き多様な学びの機会の充実に努めていく。                                                                                                                                                                           |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 令和5年度は新型コロナウイルスの制限がない中で自主事業を実施した。コロナ禍前の水準には達しなかったが、親子で参加できる事業など、幅広い世代を対象とした学習機会の提供を図った。また、公民館まつりについても、飲食の提供に加え、利用団体の発表や展示、こども園・幼稚園の発表、中学生のボランティアなど、通常開催し、利用団体等の意欲向上とともに、地域活動の活性化につなげることができた。                                            |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度             | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                    | 3 年度      | 4 年度    | 5 年度    | 6 年度    | 7 年度 |         |
|------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|---------|---------|------|---------|
|                  | 指標名             | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                    | 目標現状値（R1） | -       | -       | 目標中間値   | -    | 目標値     |
|                  |                 |                                                                                                                                                                                                               | 実績値       | 実績値     | 実績値     | 実績値     | 実績値  | 実績値     |
|                  | 公民館自主事業<br>参加者数 |                                                                                                                                                                                                               | 49,164人   | -       | -       | 57,500人 | -    | 58,000人 |
|                  |                 | 13,864人                                                                                                                                                                                                       | 12,512人   | 25,053人 | 35,590人 |         |      |         |
| 施策の総合評価          |                 | 凡例                                                                                                                                                                                                            |           |         |         |         |      |         |
|                  |                 | A：計画以上    B：計画通り    C：少し遅れた    D：大きく遅れた                                                                                                                                                                       |           |         |         |         |      |         |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                      |           |         |         |         |      |         |
|                  | B               | 実績値で見ると、参加者数が目標値（目標値の約66%）を達成することはできなかったが、事業を通常どおり実施することで、コロナ禍と比較して大幅に増加し、学びを通じて人と人とのつながりや地域活動に一定の効果をもたらしていると捉え、計画どおりと評価した。                                                                                   |           |         |         |         |      |         |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                      |           |         |         |         |      |         |
|                  | B               | 人との関わりについて制限が緩和され、市民活動の機会が増えており、公民館においての文化的、伝統的な事業は、参加者の楽しみや満足感を得ていると感じる。地域活動の活性化、生涯学習活動の充実には地域コミュニティ活動の拠点としての公民館の役割は大きい。引き続き幅広い世代の学びの場であることを期待する。                                                            |           |         |         |         |      |         |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                      |           |         |         |         |      |         |
|                  | B               | 公民館を、施策名どおり「地域コミュニティの活動拠点」として位置付け、その考え方を軸にそれぞれの地域の特性や人材を生かしながら各公民館で特色のある事業を展開されていることは大いに評価したい。<br>また、「地域コミュニティ」から「地域まちづくり」へと、公民館の機能を拡充させていきたいという視点はとても大切なことである。「まちおこし」も「地域から」という土壌づくりの役割として、今後の公民館の在り方に期待したい。 |           |         |         |         |      |         |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |        |                                                                                                                                                                                                  | 主管課名 | 生涯学習課<br>図書館          |
|---------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|
| No.14   | 施策名    | 魅力ある地域学習の推進【重点施策】                                                                                                                                                                                |      | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け |
| 施策の概要   | 目的     | 市民の生涯学習活動を支援するため、秦野の自然、歴史、文化、産業などの地域資源をはじめ現代課題などの地域学習の機会を提供する。<br>また、地域を共有する東海大学の資源を生かした学習機会を提供する。                                                                                               |      |                       |
|         | 今後の方向性 | あらゆる市民が満足できる学習を、いつでもどこでも自由に得られ、身につけた知識や教養、人とのつながりなど、その成果を地域に生かすことが住みよい地域づくりにつながるよう、多様な講座等を実施する。                                                                                                  |      |                       |
|         | 主な取組   | ①はだの生涯学習講座の充実 ②たけのこ学級の推進 ③広畑ふれあい塾の支援<br>④報徳仕法啓発事業の充実 ⑤かみ放課後子ども教室の推進 ⑥夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会の開催 ⑦市民大学の開催                                                                                            |      |                       |
| 施策の進捗状況 | 取組内容   | ①はだの生涯学習講座・家庭教育支援の充実                                                                                                                                                                             |      |                       |
|         | R5事業内容 | 地域学習として様々な分野における現代的・社会的・公共的課題に対応した講座（はだの生涯学習講座）や、家庭教育支援に関する講座を年間を通して開催し、市民の学習意欲の向上と多様な学習機会の提供を図った。                                                                                               |      |                       |
|         | R6事業予定 | はだの生涯学習講座では、学習効果を高めるため、参加型・体験型の講座を実施するほか、庁内連携により産業振興課と連携した講座を開催する。家庭教育に関する事業においては、事業の充実に向け、関係団体・各課等と連携し、市民ニーズに沿った事業を展開していく。                                                                      |      |                       |
|         | 取組内容   | ④報徳仕法啓発事業の充実                                                                                                                                                                                     |      |                       |
|         | R5事業内容 | 第28回全国報徳サミット御殿場市大会（静岡県）は、社会教育委員や教育委員に加え、秦野市民も市民ツアーで参加した。特に新型コロナウイルス感染症や度重なる災害、デジタル化の推進等、急激に変化し、予測できない昨今の社会情勢において、報徳仕法を今一度振り返り、自分たちの生活や歩みを見つめなおす重要な機会となった。                                        |      |                       |
|         | R6事業予定 | 第29回全国報徳サミット桜川市大会（茨城県）は、これからの時代に対応したひとづくり・まちづくりに必要な取組を報徳仕法から学ぶことを目的に開催される。また、令和7年度には、第30回全国報徳サミット秦野市大会の開催が内定しており、今後、実行委員会を設立し、映画上映等による報徳仕法の普及啓発に取り組む。                                            |      |                       |
|         | 取組内容   | ⑥夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会の開催                                                                                                                                                                         |      |                       |
|         | R5事業内容 | 本市出身の歌人である前田夕暮の功績を称え、短歌に親しむとともに夕暮についての理解を深める機会として、第36回夕暮祭短歌大会及び第37回夕暮記念こども短歌大会を開催した。令和5年度は夕暮の生誕140年の記念の年に当たり、既存の賞に加えて、特別賞を設けて開催した。各学校の先生方の御尽力により、夕暮祭短歌大会には1,753首、夕暮記念こども短歌大会は過去最多の2,671首の応募があった。 |      |                       |
|         | R6事業予定 | 令和5年度記念事業の一つとして実施した、中学校への出前授業を継続して行うことで、前田夕暮や短歌についての理解を深めていただき、より多くの作品募集を目指して夕暮祭短歌大会と夕暮記念こども短歌大会を開催する。                                                                                           |      |                       |

|             |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |        |        |        |     |     |
|-------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|-----|-----|
| 施策の進捗状況     | 取組内容                  | ⑦市民大学の開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |        |        |        |     |     |
|             | R5事業内容                | 市民に生涯学習の機会を提供するため、東海大学との提携事業により同大学の教授等を講師とした専門的な講座を開催した。全5回の講座では、前田夕暮生誕140周年記念事業として設定した「前田夕暮とその時代」と、「萬葉集の世界」をテーマとした。延べ231人が受講した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |        |        |        |     |     |
|             | R6事業予定                | 市民が自ら教養等を高める生涯学習の機会として専門性の高い内容の講義を提供し、市民の生涯学習活動を支援するため、市民大学を継続実施する。令和6年度については希望者が参加しやすくなるよう、全4回の構成とした。講義テーマについては、アンケート結果等を踏まえ、市民の興味関心に応えるような多様な講義テーマを企画する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |        |        |        |     |     |
| 課題及び工夫・改善事項 |                       | <p>【はだの生涯講座】<br/>はだの生涯学習講座では、当日受講できなかった方でも、受講できるよう、講師の了解を得た講座については市公式YouTubeはだのモーピックへ掲載し、多様な学習ニーズに合わせた学習機会の提供に努めた。</p> <p>【報徳仕法啓発事業】<br/>令和7年度に第30回全国報徳サミット秦野市大会の開催が内定していることに伴い、幅広い世代を対象として、報徳仕法ゆかりの郷土の偉人「安居院庄七」と「草山貞胤」等をはじめとする報徳仕法の普及啓発に取り組む。</p> <p>【夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会】<br/>前田夕暮生誕140年に当たることから、記念大会として既存の賞に加え、特別賞を設定した。<br/>また、応募しやすくすることや、集計作業等職員の事務の効率化を目的に、引き続き電子申請による応募を取り入れた。<br/>こども短歌大会においては、メールでの応募、複数作品の応募を可とし、より多くの応募を募れるようにしている。</p> <p>【市民大学】<br/>前田夕暮生誕140周年記念事業として設定した「前田夕暮とその時代」では、全5回それぞれ異なる講師が登壇し、各回様々な切り口でテーマについて、リレー形式で講義をするという新たな試みを行った。</p> |        |        |        |     |     |
| 施策の目標       | 年 度                   | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 3年度    | 4年度    | 5年度    | 6年度 | 7年度 |
|             | 目標値<br>実績値            | 目標現状値（R1）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | -      | -      | 目標中間値  | -   | 目標値 |
|             | 指標名                   | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 実績値    | 実績値    | 実績値    | 実績値 | 実績値 |
|             | はだの生涯学習講座等の実施回数       | 7回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | -      | -      | 10回    | -   | 10回 |
|             |                       | 3回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 8回     | 10回    | 10回    |     |     |
|             | 市民大学受講者アンケートによる受講者満足度 | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | -      | -      | 80%    | -   | 90% |
|             |                       | 61.76%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 90.24% | 87.50% | 84.62% |     |     |

| 施策の総合評価          |    | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |    | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 目標達成状況<br>(自己評価) | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | B  | <p>【生涯学習課】</p> <p>令和5年度は、断捨離、マネープラン、終活、報徳仕法、ゼロ・ウェイストのほか、震生湖誕生100年記念事業として「親子で学ぶ防災」をテーマとして実施した。また、学校教育と社会教育の連携のもと、はだのふるさと大使のLUNA SEA真矢氏を講師に招き、母校の本町中学校の協力により特別講演を開催し、講師の人生観に触れる機会を提供することができた。</p> <p>令和6年度は、触覚、嗅覚、聴覚、味覚といった感覚を使って学ぶ講座を充実させる。</p> <p>【図書館】</p> <p>毎回異なる講師が登壇する取組を行ったため、事業実施の日程や講義の準備等の調整は難しかったが、当初の予定どおり、市民の興味関心に応えるような学習機会の提供を行うことができた。</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | B  | <p>生涯学習講座について、市公式YouTube「はだのモーピック」への掲載は、参加できなかった方に「いつでも・どこでも」学習できる良い機会であり、今後ますます必要になると考える。また、前田夕暮の生誕140周年記念事業をはじめ、市民にとって魅力ある学習の機会を提供できたと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | B  | <p>他の点検・評価項目と比較しても、施策の目標が「はだの生涯学習講座等の実施回数」と「市民大学受講者アンケートによる受講者満足度」の2項目のみであり、EBPMの視点から言えば評価は難しい。</p> <p>【はだの生涯講座】</p> <p>非常に内容也多岐にわたり特色ある講座を展開していると評価したいが、あまりに主観的な評価となる。市民大学と同様に、自己評価の項目でも良いので、参加者アンケート並びに参加率等の記載が望ましい。</p> <p>【報徳仕法啓発事業】</p> <p>報徳サミットについては市民ツアーの参加者も多く、市民の熱を感じる一方で、掛川市のような市民学としての取組も期待したい。</p> <p>【夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会】</p> <p>事業内容の欄では記載があるものの、夕暮祭短歌大会には1,753首、夕暮記念こども短歌大会は過去最多の2,671首の応募という事象をどのように評価しているのか、学校の協力を考えれば、記載がないのが大変残念である。</p> <p>【市民大学】</p> <p>84.62%というアンケート結果を見れば、点検評価会議の意見にもあったとおり市民にとって魅力ある学習の機会を提供できたと評価したい。一方で令和3年度から少しずつ数字が下がっているという点も分析すべきと考える。</p> |



# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |        |                                                                                                                                         | 主管課名                  | 図書館    |
|---------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.15   | 施策名    | 市民の生涯学習を支える読書活動への支援                                                                                                                     | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 4-4(1) |
| 施策の概要   | 目的     | 市民一人ひとりが読書に親しみ、本や情報を活用した学びを支える。<br>また、身近でだれもが利用しやすい図書館サービスの充実を図る。                                                                       |                       |        |
|         | 今後の方向性 | 市民それぞれの学ぶ意欲や知る楽しさに応え、本と出会う機会を提供するとともに、学びの楽しさを伝えることに努める。<br>また、家庭、地域、学校などの関係機関と連携・協力しながら、読書のきっかけや、本に親しむ時代の変化に適応した仕組みづくりに取り組む。            |                       |        |
|         | 主な取組   | ①図書館資料の充実 ②レファレンスサービスの充実 ③障害者、高齢者等へのサービスの充実                                                                                             |                       |        |
| 施策の進捗状況 | 取組内容   | ①図書館資料の充実                                                                                                                               |                       |        |
|         | R5事業内容 | 利用者のニーズを捉え、求められる情報を提供できるよう、新刊、時事等に基づく資料選定を行うとともに、講演会や展示にあわせた資料を購入・展示し、読書啓発事業の推進に取り組んだ。また、電子図書館の利用について、読書活動推進校（7校）の児童生徒教職員にアカウントを一括配付した。 |                       |        |
|         | R6事業予定 | 利用者のニーズを捉え、求められる情報を提供できるよう、新刊、時事等に基づく資料選定を行うとともに、地域の皆さんとともに作る図書館の取組として、雑誌スポンサー制度を継続実施する。                                                |                       |        |
|         | 取組内容   | ②レファレンスサービスの充実                                                                                                                          |                       |        |
|         | R5事業内容 | 利用者の利便性向上のため、レファレンスサービスの充実を図るとともに、幅広い利用者ニーズに対応できるよう、リクエストサービスの実施や相互貸借サービスの活用を行った。                                                       |                       |        |
|         | R6事業予定 | 利用者の利便性向上のため、レファレンスサービスの更なる充実を図るとともに、幅広い利用者ニーズに対応できるよう、リクエストサービスや相互貸借サービスの活用を行う。                                                        |                       |        |
|         | 取組内容   | ③障害者、高齢者等へのサービスの充実                                                                                                                      |                       |        |
|         | R5事業内容 | 録音図書や点字資料、拡大図書等の収集、整理を行うとともに、視覚障害者への郵送による資料の貸出しを行った。                                                                                    |                       |        |
|         | R6事業予定 | 録音図書や点字資料、拡大図書等の収集、整理を行うとともに、障害者や高齢者等の福祉に関係する各ボランティア団体との連携を図る。                                                                          |                       |        |

|                  |         |                                                                                                                                                                                                                                                                             |           |          |          |       |          |     |
|------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|----------|-------|----------|-----|
| 課題及び<br>工夫・改善事項  |         | 利用者の生涯学習活動を支える地域の情報拠点としての機能を充実させるために、これまでの取組に加え、市内他課等と連携した資料展示企画を進めるとともに、利用者ニーズを捉えた資料収集を行いながら、劣化や情報の内容が古い資料については適切な除籍を実施し、書庫や書籍の適正管理に努めた。また、令和4年10月に導入した電子図書館は読み上げ機能を有するなど、視覚障害者もサービスを受けられる環境はあるが、今後も利用が進むようなコンテンツの購入等について、継続して検討していく。                                      |           |          |          |       |          |     |
| 施策の<br>目標        | 年 度     | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                                  | 3 年度      | 4 年度     | 5 年度     | 6 年度  | 7 年度     |     |
|                  | 指標名     | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                                  | 目標現状値（R1） | -        | -        | 目標中間値 | -        | 目標値 |
|                  |         | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                                         | 実績値       | 実績値      | 実績値      | 実績値   | 実績値      |     |
|                  | 図書年間購入数 | 9,134冊                                                                                                                                                                                                                                                                      | -         | -        | 9,200冊   | -     | 9,300冊   |     |
|                  |         | 7,523冊                                                                                                                                                                                                                                                                      | 6,700冊    | 6,970冊   | 6,673冊   |       |          |     |
|                  | 予約受付件数  | 114,418件                                                                                                                                                                                                                                                                    | -         | -        | 115,000件 | -     | 115,500件 |     |
|                  |         | 109,662件                                                                                                                                                                                                                                                                    | 121,115件  | 119,053件 | 116,313件 |       |          |     |
| 施策の総合評価          |         | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                          |           |          |          |       |          |     |
|                  |         | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                              |           |          |          |       |          |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価      | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |          |          |       |          |     |
|                  | B       | 昨年度に引き続き、物価上昇に伴う本の単価上昇などにより、目標値に対する購入冊数の実績に開きが生じているが、市民の生涯学習活動を支えるために必要な資料を購入するなど、蔵書の充実と利用者ニーズの充足を図ることができている。<br>また、予約受付件数についてはコロナ禍より減少しているが、利用者ニーズの充足を図ることなどにより、目標値を上回ることができている。                                                                                           |           |          |          |       |          |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価      | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |          |          |       |          |     |
|                  | B       | 利用者のニーズに応えるため、各種サービスの充実や活用に取り組んでいることは評価できる。また、レファレンスの相談件数が増えており、市民相談機能の強化が確認できることや、エフセル版を使い書架の整理を行うなど、できるところから環境整備を進めている点も評価できる。<br>一方で、図書の貸出数は伸び悩んでおり、コロナ禍前の水準にまでは戻っていないようなので、駅前連絡所で図書の受取・返却ができることの周知や、駅前連絡所などの身近な場所で利用登録できる機会があると、市民の読書の機会増大につながると考えるため、今後の課題として検討いただきたい。 |           |          |          |       |          |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価      | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |          |          |       |          |     |
|                  | B       | 購入冊数については諸般の事情もあり、やむを得ないと判断するが、予約受付件数は成果指標を上回っており、利用者のニーズを捉えた蔵書の充実や求められる情報提供が効率よくできたものと評価する。<br>電子書籍の学校への導入については、導入校数だけでなく、利用率の向上に向けて学校現場の声もよく聴きながら更なる充実を期待したい。                                                                                                             |           |          |          |       |          |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|                             |            |                                                                                                                                                   | 主管課名                  | 図書館    |
|-----------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.16                       | 施策名        | 子ども読書活動の推進【重点施策】                                                                                                                                  | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 4-5(1) |
| 施策<br>の<br>概<br>要           | 目的         | 読書は、子どもの成長にとって重要なものであるため、子どもが、本に親しみ、読書の楽しさを体感できるような機会を提供し、子どもの読書活動の推進を図る。                                                                         |                       |        |
|                             | 今後の<br>方向性 | 子どもがそれぞれの状況に応じて、本に親しみ、読書を行えるように読書環境の整備に努める。                                                                                                       |                       |        |
|                             | 主な取組       | ①読書啓発事業の推進 ②ブックスタート事業の推進 ③学校等への支援                                                                                                                 |                       |        |
| 施策<br>の<br>進<br>捗<br>状<br>況 | 取組内容       | ①読書啓発事業の推進                                                                                                                                        |                       |        |
|                             | R5事業内容     | 子どもの読書活動推進のため、読書通帳の配布や読書週間にあわせたイベント、また庁内関係課と連携した講座・講演会（交通住宅課・空き家対策関係）を開催したほか、防災課、消防本部等と連携した企画展示等を実施した。                                            |                       |        |
|                             | R6事業予定     | 子どもの読書活動推進のため、引き続き読書通帳の配布や読書週間にあわせたイベント、講座・講演会開催のほか、企画展示やおはなし会等を実施する。                                                                             |                       |        |
|                             | 取組内容       | ②ブックスタート事業の推進                                                                                                                                     |                       |        |
|                             | R5事業内容     | 絵本を通して、赤ちゃんとのふれあいのひとときを持つきっかけになることを目的として、4か月児健康診査に訪れた親子にブックスタートを実施した。                                                                             |                       |        |
|                             | R6事業予定     | 引き続き担当課と協力し、4か月児健康診査の会場でのブックスタートを実施する。また、図書館で行われているおはなし会等のイベントを通じて、読書活動を推進する。                                                                     |                       |        |
|                             | 取組内容       | ③学校等への支援                                                                                                                                          |                       |        |
|                             | R5事業内容     | 教育現場における、図書館資料の有効活用や利用促進のため団体貸出を行った。また、図書館見学や体験学習の受け入れを行うとともに、全校で実施される「よむよむDAY」の推進などのため、読書活動推進校（7校）を対象に令和4年10月に導入した電子図書館アカウントの一括配付を実施し、利用の促進を図った。 |                       |        |
|                             | R6事業予定     | 引き続き、図書館資料の有効活用や利用促進のため団体貸出を行う。また、図書館見学や体験学習の受け入れについても、継続して取り組んでいく。電子図書館の利活用では、令和5年度導入校に加えて、令和6年度の読書活動推進校（8校）にアカウントを一括配付する。                       |                       |        |

|                  |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |        |        |       |      |     |
|------------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|--------|-------|------|-----|
| 課題及び<br>工夫・改善事項  |                    | 子どもたちの読書意欲の芽生えや意欲向上のために読書の楽しさを伝えるとともに、図書館利用のきっかけづくりをどのように展開していくかを、学校図書館や公民館図書室との連携を含めて検討する必要がある。様々なイベントを通じて、蔵書や読書に興味を持てるような仕組みづくりを検討するとともに、図書館への来館や各種サービスの利用を促すきっかけとなるように、様々な周知手法の活用を図っていく。                                                                                   |           |        |        |       |      |     |
| 施策の<br>目標        | 年 度                | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                                                    | 3 年度      | 4 年度   | 5 年度   | 6 年度  | 7 年度 |     |
|                  | 指標名                | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                                                    | 目標現状値（R1） | -      | -      | 目標中間値 | -    | 目標値 |
|                  |                    | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                                           | 実績値       | 実績値    | 実績値    | 実績値   | 実績値  | 実績値 |
|                  | 読書関連行事の開催数         | -                                                                                                                                                                                                                                                                             | -         | -      | 7回     | -     | 7回   |     |
|                  |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                               | 5回        | 6回     | 6回     |       |      |     |
|                  | ブックスタートでの絵<br>本配布率 | 99.3%                                                                                                                                                                                                                                                                         | -         | -      | 100%   | -     | 100% |     |
|                  |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                               | 99.15%    | 97.20% | 97.26% |       |      |     |
| 施策の総合評価          |                    | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |        |        |       |      |     |
|                  |                    | A：計画以上    B：計画通り    C：少し遅れた    D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                                       |           |        |        |       |      |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価） | 評価                 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                      |           |        |        |       |      |     |
|                  | B                  | ブックスタートによる絵本配布率を高水準で保っているほか、読書につながる事業等を市内関係各課との講演会や企画展示を通じて実施し、子どもたちの好奇心を高める取組を実施することができている。                                                                                                                                                                                  |           |        |        |       |      |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価                 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                      |           |        |        |       |      |     |
|                  | B                  | 若い世代は絵本の表紙をインテリアやファッションの一つとして興味を持つ方も多い。赤ちゃん誕生後から親子で本に親しみ、読書に興味を持つブックスタート事業について、乳幼児健診の時期が変更になるなど、条件が大きく変わる中、工夫してサービスを継続している点は評価できる。<br>今後は、子どもの参加型読書イベント等にも取り組んでいただきたい。また、学校図書室の充実の一つとして、図書館の団体貸出の利用を大いに進めてほしい。                                                                |           |        |        |       |      |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価                 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                      |           |        |        |       |      |     |
|                  | B                  | ブックスタート事業は、赤ちゃんとその周囲の人とのふれあいのひとときを持つきっかけになるとともに、赤ちゃんに対してどのような本を読ませればよいか、親にとって非常に参考となる取組であるので、今後とも継続して実施していただきたい。<br>さらに小学校などへの団体貸出は、子どもに対して、文字を読ませることにつながる良い事業といえる。<br>今後は、例えば本の内容がわかるポップを作るなど、子どもの興味を引くような取組も可能な範囲で検討していただきたい。<br>また、地域の博物館やアーカイブとの連携についても今後検討していつてはどうかと考える。 |           |        |        |       |      |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |             |                                                                                                                                                                              | 主管課名 | 生涯学習課 |
|---------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| No.17   | 施策名         | 施設長寿命化の推進（公民館）                                                                                                                                                               |      |       |
| 施策の概要   | 目的          | 市民が、安全・安心で快適な施設として利用できるよう、施設の適切な改修を行うことにより、既存施設の長寿命化による有効活用を図り、快適な学習環境づくりと利用者の利便性向上に努める。                                                                                     |      |       |
|         | 今後の方向性      | 公共施設再配置計画及び公共施設保全計画との共有を図りながら、施設・設備の適正な維持管理及び法定点検等についても適切に実施する。<br>また、多くの団体が利用できるよう、利用環境を整える。<br>さらに、幅広い講座を取り入れることによって、利用者の増加を図る。                                            |      |       |
|         | 主な取組        | ①公民館の計画的改修 ②公民館の計画的更新                                                                                                                                                        |      |       |
|         | 取組内容        | ①公民館の計画的改修 ②公民館の計画的更新                                                                                                                                                        |      |       |
| 施策の進捗状況 | R5事業内容      | 公民館トイレ改修工事（渋沢、鶴巻、南が丘、堀川）、公民館館内LED工事（本町、南が丘、東、北、堀川、渋沢、上、鶴巻）、上公民館受水槽更新工事、鶴巻公民館ガラス屋根改修工事について、8館、4件の改修及び更新工事を実施した。                                                               |      |       |
|         | R6事業予定      | 南が丘公民館自家発電機改修工事、本町公民館トイレ小便器改修工事、堀川公民館多目的ホール電動ブラインド更新工事及び東公民館屋上防水工事を実施予定                                                                                                      |      |       |
|         | 取組内容        |                                                                                                                                                                              |      |       |
|         | R5事業内容      |                                                                                                                                                                              |      |       |
|         | R6事業予定      |                                                                                                                                                                              |      |       |
|         | 取組内容        |                                                                                                                                                                              |      |       |
|         | R5事業内容      |                                                                                                                                                                              |      |       |
|         | R6事業予定      |                                                                                                                                                                              |      |       |
|         | 課題及び工夫・改善事項 | 公共施設保全計画に基づき、計画的に改修及び更新工事を実施することは、利用者の安全・安心な利用につながるものであるが、突発的な修繕への対応により計画通り進んでいない状況があるため、設備の更新時期と財政負担について、検討していく必要がある。また、公共施設再配置計画に基づき、更新時期が近づいている公民館について、引き続き建替え等の検討を進めていく。 |      |       |
|         |             |                                                                                                                                                                              |      |       |

| 施策の目標                           | 年 度             | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                    | 3 年度       | 4 年度     | 5 年度     | 6 年度  | 7 年度     |     |
|---------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------|----------|-------|----------|-----|
|                                 | 指標名             | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                    | 目標現状値（R I） | -        | -        | 目標中間値 | -        | 目標値 |
|                                 |                 |                                                                                                                                                               | 実績値        | 実績値      | 実績値      | 実績値   | 実績値      | 実績値 |
|                                 | 公民館利用者数<br>（年間） | 431,494人                                                                                                                                                      | -          | -        | 516,000人 | -     | 517,000人 |     |
|                                 |                 | 206,229人                                                                                                                                                      | 283,927人   | 339,191人 | 366,457人 |       |          |     |
| 公民館施設・重要設備<br>更新計画による工事計<br>画件数 | 5件              | -                                                                                                                                                             | -          | 5件       | -        | 5件    |          |     |
|                                 | 3件              | 4件                                                                                                                                                            | 2件         | 4件       |          |       |          |     |
| 施策の総合評価                         |                 | 凡例                                                                                                                                                            |            |          |          |       |          |     |
|                                 |                 | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                |            |          |          |       |          |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価）                | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                      |            |          |          |       |          |     |
|                                 | C               | 利用者数は、前年度よりも増加したものの目標値の約71％に留まっていることから、引き続き、利用者の増加に向けた事業等の取組みを進める。また、施設等の更新については、突発的な修繕への対応により、計画どおりに進んでいない状況があるため、関係課と調整し、修繕箇所や時期を検討するとともに、予算措置について検討していきたい。 |            |          |          |       |          |     |
| 点検・評価会議の<br>評価                  | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                      |            |          |          |       |          |     |
|                                 | B               | 利用者の安全・安心を考えると突発的に起こる修繕はやむを得ないことであり、適切な対応であると考えてる。利用者数は目標値と開きがあるが、着実に増やしていることを評価したい。<br>今後も利用者の安全のために、優先順位を明確にして対応することを期待したい。                                 |            |          |          |       |          |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価                 | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                      |            |          |          |       |          |     |
|                                 | B               | 厳しい財政状況や突発的な修繕への対応により、修繕が計画どおり進まない現状は理解できる。しかし、軽易な修繕について職員が工夫し対応することで、利用者の施設に対する印象が良くなることもあると思われるため、可能な範囲で対応ができるよう引き続き努めていただきたい。                              |            |          |          |       |          |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                                               | 主管課名                  | 図書館    |
|-------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.18       | 施策名    | 施設長寿命化の推進（図書館）                                                                                                                                                                                                                | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 4－6（1） |
| 施策の概要       | 目的     | 市民が、安全・安心で快適な施設として利用できるよう、施設の適切な改修を行うことにより、既存施設の長寿命化による有効活用を図り、快適な学習環境づくりと利用者の利便性向上に努める。                                                                                                                                      |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 公共施設再配置計画及び公共施設保全計画との共有を図りながら、施設・設備の適正な維持管理及び法定点検等についても適切に実施する。<br>また、多くの団体が利用できるよう、利用環境を整える。<br>さらに、幅広い講座を取り入れることによって、利用者の増加を図る。                                                                                             |                       |        |
|             | 主な取組   | ①図書館の計画的改修                                                                                                                                                                                                                    |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①図書館の計画的改修                                                                                                                                                                                                                    |                       |        |
|             | R5事業内容 | 計画的改修として、空調の熱源となる冷温水を作る冷温水循環装置の一部の修繕、及び、老朽化した給水設備の給水弁の修繕を実施した。<br>さらに、令和4年度から運用を開始したWi-Fiの供給エリアを拡充するためLAN設備を1階図書室部分で改修した。<br>また、施設・設備等を適正に管理するため、各種法定点検等(建築物、電気設備、消防設備、受水槽、昇降機など)の実施や、読書環境維持のための点検等(空調設備、清掃、害虫防除、警備など)を実施した。  |                       |        |
|             | R6事業予定 | 計画的改修として、建設以降38年が経過したエレベーターについて、老朽化した機器類の更新と、耐震対策など現行法への適合を図るため、改修工事を実施する。<br>さらに、法定点検で、指摘のあった消防設備について、改修を実施する。<br>また、施設・設備等を適正に管理するため、各種法定点検等(建築物、電気設備、消防設備、受水槽、昇降機など)の実施や、読書環境維持のための点検等(空調設備、清掃、害虫防除、警備など)を実施する。            |                       |        |
|             | 取組内容   |                                                                                                                                                                                                                               |                       |        |
|             | R5事業内容 |                                                                                                                                                                                                                               |                       |        |
|             | R6事業予定 |                                                                                                                                                                                                                               |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | 図書館が昭和60年（1985年）に竣工してから38年が経過しており、施設等に経年劣化が見られ、また、使用機器類の生産が終了しているなど、維持管理が困難な状況になってきている。そのため、施設・設備の不具合箇所などを早期発見し、少額な修繕や自主修繕で対処できるよう状況の把握に努めるとともに、庁内設備担当課である、公共建築課と法定点検で指摘された箇所について、情報共有をし、次年度以降の改修ができるよう、図書館の適切な読書環境の整備に努めている。 |                       |        |

| 施策の目標                           | 年 度             | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                        | 3 年度           | 4 年度           | 5 年度     | 6 年度       | 7 年度     |     |
|---------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------|------------|----------|-----|
|                                 | 指標名             | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                        | 目標現状値（R I）     | -              | -        | 目標中間値      | -        | 目標値 |
|                                 |                 | 実績値                                                                                                                                                                                                                               | 実績値            | 実績値            | 実績値      | 実績値        | 実績値      | 実績値 |
|                                 | 図書館入館者数<br>（年間） | 219,888人                                                                                                                                                                                                                          | -              | -              | 220,000人 | -          | 221,000人 |     |
|                                 |                 | 138,900人                                                                                                                                                                                                                          | 203,799人       | 203,355人       | 206,440人 |            |          |     |
| 図書館施設・設備の長<br>寿命化計画に基づく改<br>修工事 | -               | -                                                                                                                                                                                                                                 | -              | 計画的な<br>改修     | -        | 計画的な<br>改修 |          |     |
|                                 | 予定箇所の<br>工事等実施  | 予定箇所の<br>工事等実施                                                                                                                                                                                                                    | 予定箇所の<br>工事等実施 | 予定箇所の<br>工事等実施 |          |            |          |     |
| 施策の総合評価                         |                 | 凡例                                                                                                                                                                                                                                |                |                |          |            |          |     |
|                                 |                 | A：計画以上    B：計画通り    C：少し遅れた    D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                           |                |                |          |            |          |     |
| 目標達成状況<br>（自己評価）                | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                          |                |                |          |            |          |     |
|                                 | B               | 施策目標のうち、図書館入館者数はコロナ禍前の水準に届いていないが、前年度と比較して増となっている。また、図書館施設・設備については、当初計画のとおり予定箇所の改修が実施できている。                                                                                                                                        |                |                |          |            |          |     |
| 点検・評価会議の<br>評価                  | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                          |                |                |          |            |          |     |
|                                 | B               | 施設の維持管理、老朽化に関して適切な対応が取られていると考える。また、図書館のみならず各公民館設置の図書室も地域の人たちにとって身近で貴重な場所になっている。今後も多くの人が利用したくなる図書館となるよう、魅力ある明るい読書環境の整備を期待したい。                                                                                                      |                |                |          |            |          |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価                 | 評価              | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                          |                |                |          |            |          |     |
|                                 | B               | 施設の維持管理について、大規模修繕ではない軽易な修繕については、職員で直すなど、小さいことから積み上げていくと、費用の抑止につながる。このため、自分たちでできることを常時考えていただきたい。さらに言えば専門的な見地から対応できる管理業務に従事する職員の配置が望ましい。<br>また、図書館の在り方が変わってきている中で、デジタル化に対応できるような設備（デジタルサイネージ、映像資料のデジタル化など）について、今後を見据えて整備を進めていただきたい。 |                |                |          |            |          |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 主管課名                  | 生涯学習課  |
|-------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------|
| No.19       | 施策名    | 歴史資源等の保存・管理の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 教育振興<br>基本計画の<br>位置付け | 5－1（1） |
| 施策の概要       | 目的     | 貴重な文化財や歴史文化資料を収集、整理、保存し、利用者に提供できるように整備し、次の世代に引き継いでいく。                                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | 今後の方向性 | 地域に所在する文化財の計画的な管理活用を図る。<br>また、郷土資料の収集、整備を継続し、利用しやすい環境整備を図る。<br>さらに、歴史文化資料の有効的な利活用のために、デジタル化の作業などに取り組む。                                                                                                                                                                                                        |                       |        |
|             | 主な取組   | ①歴史資源の収集・保存 ②収蔵資料の管理・活用 ③地区別管理・活用計画作成の検討                                                                                                                                                                                                                                                                      |                       |        |
| 施策の進捗状況     | 取組内容   | ①歴史資源の収集・保存                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |        |
|             | R5事業内容 | 歴史資源の適正保存・管理のため、指定重要文化財の所有者に対し、文化財保存事業補助金を交付した。 宝蓮寺、金剛寺、蔵林寺、稻荷神社 4件                                                                                                                                                                                                                                           |                       |        |
|             | R6事業予定 | 歴史資源の適正保存・管理のため、指定重要文化財の所有者に対し、文化財保存事業補助金を交付していく。 宝蓮寺、蔵林寺 2件を予定                                                                                                                                                                                                                                               |                       |        |
|             | 取組内容   | ①歴史資源の収集・保存                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |        |
|             | R5事業内容 | 令和4年度に実施した市史資料の所有者に対する現況調査の回答に基づき、状況把握を行うとともに、保存と次世代への継承を促すための一環として、企画展開催に当たり、個人所蔵の資料を借用し、活用を図った。                                                                                                                                                                                                             |                       |        |
|             | R6事業予定 | 引き続き、歴史資源の状況把握に努めるとともに、保存と次世代への継承を促すための一環として、企画展開催に当たっては、個人所蔵資料の借用など活用を図っていく。                                                                                                                                                                                                                                 |                       |        |
|             | 取組内容   | ②収蔵資料の管理・活用                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |        |
|             | R5事業内容 | 収蔵資料をデジタル化して管理活用するため、横野近世文書のデジタル化委託業務を行った（10年計画の3年目）。                                                                                                                                                                                                                                                         |                       |        |
|             | R6事業予定 | 引き続き横野近世文書のデジタル化委託業務を行う（10年計画の4年目）。                                                                                                                                                                                                                                                                           |                       |        |
| 課題及び工夫・改善事項 |        | <p>収蔵庫については、新たな場所の確保や学校等の利用可能性などを調整してきた中、現時点で利用可能な施設を確保できる状況にない。引き続き、公共施設等の利用可能性など検討し、学校や幼稚園等といった教育関係施設の統廃合、若しくは、公民館の建替えや複合化といった公共施設全体の動向、さらには、有効な代替活用を見込んだ民間施設の動向についても察知しながら、新たな収蔵庫の確保に努めていく。</p> <p>なお、保管に当たっては、これまでのように各場所への分散保管ではなく一元管理を目指すとともに、地域住民や児童・生徒等が見学できるようにするなど、保管後の活用についても視野に入れた収蔵庫を検討していく。</p> |                       |        |

| 施策の目標            | 年 度              | 令和<br>2 年度                                                                                                                                                                                                                                 | 3 年度       | 4 年度      | 5 年度         | 6 年度  | 7 年度                |     |
|------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|--------------|-------|---------------------|-----|
|                  | 指標名              | 目標値<br>実績値                                                                                                                                                                                                                                 | 目標現状値（R I） | -         | -            | 目標中間値 | -                   | 目標値 |
|                  |                  |                                                                                                                                                                                                                                            | 実績値        | 実績値       | 実績値          | 実績値   | 実績値                 | 実績値 |
|                  | 未指定・未登録の文化財の調査件数 | 2件                                                                                                                                                                                                                                         | -          | -         | 5件           | -     | 調査対象の検討・洗い出し登録機運の醸成 |     |
|                  |                  | 2件                                                                                                                                                                                                                                         | 3件         | 5件(継続)    | 5件           |       |                     |     |
|                  | はだの歴史博物館等での活用    | 写真映像による活用                                                                                                                                                                                                                                  | -          | -         | デジタル化の推進     | -     | 計画的な改修              |     |
|                  |                  | 写真映像による活用                                                                                                                                                                                                                                  | 写真映像による活用  | 写真映像による活用 | デジタル化の推進     |       |                     |     |
|                  | 収集した資料の一元管理と活用   | 資料の分野別に収蔵                                                                                                                                                                                                                                  | -          | -         | 新たな収蔵スペースの検討 | -     | 新たな収蔵スペースの検討        |     |
|                  |                  | 資料の分野別に収蔵                                                                                                                                                                                                                                  | 資料の分野別に収蔵  | 資料の分野別に収蔵 | 新たな収蔵スペースの検討 |       |                     |     |
|                  | 施策の総合評価          |                                                                                                                                                                                                                                            | 凡例         |           |              |       |                     |     |
|                  |                  | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                             |            |           |              |       |                     |     |
| 目標達成状況<br>(自己評価) | 評価               | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                   |            |           |              |       |                     |     |
|                  | B                | 歴史資源の収集・保存、収蔵資料の管理・活用については、一定の成果が見られ、本町四ツ角周辺の近代化遺産については調査の結果、新たに3件が国登録有形文化財に登録された。<br>収蔵庫の確保等については更なる検討が必要である。                                                                                                                             |            |           |              |       |                     |     |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価               | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                   |            |           |              |       |                     |     |
|                  | B                | 新たに3件の国登録有形文化財が登録されるなど堅実な成果を上げており、デジタル化も含め各施策が計画通りに進んでいることは評価されるが、新たな収蔵スペースの検討はここ数年、継続的な課題として未解決のままになっている。関係部署との情報を密にして中長期的に取り組んでほしい。                                                                                                      |            |           |              |       |                     |     |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価               | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                   |            |           |              |       |                     |     |
|                  | B                | 市の貴重な文化財や歴史資料の収集・保存・整理等は、非常に地味な仕事ではあるが、現在が過去からの延長線上にあると考えれば、これらは未来に繋ぎ、未来を創っていくことに欠かすことの出来ない業務である。これに当たり、点検・評価シートからは、その点をしっかりと認識し、一つひとつの業務を丁寧に実施している様子が見て取れる。<br>残念な点としては、課題である収蔵庫の確保に苦慮されていることであり、一元管理は難しくとも、貴重な歴史資料等の保存について、最大限の努力をしてほしい。 |            |           |              |       |                     |     |

# 令和6年度（5年度事業） 点検・評価シート

|         |        |                                                                                                                                                                                                                                                  | 主管課名          | 生涯学習課  |
|---------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|
| No.20   | 施策名    | 文化財・歴史資源等の活用の推進【重要施策】                                                                                                                                                                                                                            | 教育振興基本計画の位置付け | 5-2(1) |
| 施策の概要   | 目的     | 市民の歴史文化に対する理解を深め、郷土に親しむ心を育てていく。                                                                                                                                                                                                                  |               |        |
|         | 今後の方向性 | <p>はだの歴史博物館を文化財や市の歴史に関する情報発信の拠点として、これまで以上に多様なニーズに応えていく。</p> <p>また、これまで活用頻度が低かった桜土手古墳公園についても、公園を活用したイベントを実施し、親しまれる場所になるよう努める。</p>                                                                                                                 |               |        |
|         | 主な取組   | ①指定文化財特別公開の充実 ②歴史民俗講座の充実 ③体験型学習の推進 ④総合歴史博物館機能の充実                                                                                                                                                                                                 |               |        |
| 施策の進捗状況 | 取組内容   | ①指定文化財特別公開の充実                                                                                                                                                                                                                                    |               |        |
|         | R5事業内容 | <p>文化財保護強調週間(11月上旬)に合わせ、県・市指定の重要文化財の特別公開を、はだの歴史博物館、蓑毛大日堂ほか、太岳院、金剛寺にて実施した。また、より多くの市民に文化財に触れる機会を提供するため、特別公開期間中である11月3日に、桜土手古墳公園内で、飲食店の出店イベント「さくらいち」を実施した。</p>                                                                                      |               |        |
|         | R6事業予定 | <p>文化財保護強調週間(11月上旬)に合わせ、県・市指定の重要文化財の特別公開を開催する。はだの歴史博物館のほか、文化財所有者の協力を得て実施する。また、特別公開の開催や桜の開花時期に合わせ、飲食店の出店イベントを実施する。</p>                                                                                                                            |               |        |
|         | 取組内容   | ②歴史民俗講座の充実                                                                                                                                                                                                                                       |               |        |
|         | R5事業内容 | <p>・ミュージアムさくら塾を、当初計画どおり（年5回）開催した。<br/>【内容】①縄文時代の土器づくりのムラ、②秦野の盆行事、③震生湖の魅力と災害遺構のこれから（震生湖誕生100周年記念式典内）、④江戸時代の史料に見る秦野の暮らし、⑤おれの肖像とその変遷</p> <p>・青空レクチャーを、当初計画どおり（年3回）開催した。<br/>【内容】①地形・地質から探る震生湖、②本町四ツ角の歴史と近代建築、③東地区（田原）の文化財</p>                       |               |        |
|         | R6事業予定 | <p>市民の歴史・文化に関わる知識を深めるとともに、博物館の認知度を高めること、及び博物館外における学習機会の場を提供するための歴史専門講座等を次のとおり実施していく。</p> <p>・ミュージアムさくら塾 年6回開催予定。<br/>【内容】①桜土手古墳群発掘秘史、②古代相模の交易、③江戸時代の丹沢御林・山守、④秦野の地勢について、⑤波多野ダイコンについて、⑥神奈川県巡回展に関連した内容</p> <p>・青空レクチャー 年3回開催予定。<br/>【内容】本町四ツ角ほか</p> |               |        |

|             |                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                         |        |        |     |                    |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|--------|--------|-----|--------------------|
| 施策の進捗状況     | 取組内容                        | ③体験型学習の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                         |        |        |     |                    |
|             | R5事業内容                      | 夏休み中に親子まが玉教室を実施した（7月26日～29日の4日間）。また、公園を活用したイベントとして、クイズラリー「はだの歴史探検～はだの大発見！歴史のナゾを解き明かそう～」（7月25日～3月31日）、ヨガ教室「古墳 de YOGA」（10月7日）を開催した。<br>飲食店の出店イベント「お花見フェア」（3月30日）の際には、子ども向けに昔遊び（独楽、ベーゴマ、竹馬、けん玉、割箸工作、拓本等）を体験出来るコーナーを設置し、火起こし器の体験なども併せて行った。                                                                                                                      |                         |        |        |     |                    |
|             | R6事業予定                      | 夏休み中のまが玉作り教室に加え、公園を活用したヨガ教室等を開催予定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                         |        |        |     |                    |
|             | 取組内容                        | ④総合的歴史博物館機能の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                         |        |        |     |                    |
|             | R5事業内容                      | 博物館の企画展示室にて企画展を、当初計画より多く（年9回）開催した。<br>【内容】①秦野の年中行事、②丹沢山麓の縄文集落－秦野の縄文土器－、③秦野の街並みと記憶、④震生湖 保存と活用の歩み（震生湖誕生100周年記念事業）、⑤関東大震災、その時 秦野では。（神奈川県博物館協会震災100年プロジェクト）、⑥学制150年われらの学び舎ヒストリー～昔はみんな子どもだった～、⑦村の戦いと暮らし－江戸時代の秦野、⑧お金のなしあれやこれ～お金をととして見る秦野の歴史～、⑨戦争と人びとの生活～戦いは戦地だけではない～を開催した。<br>また、特別公開期間中で市民の日（11月3日）と花見の時期（3月30日）に、開催した飲食店の販売イベント時にフロアレクチャーを行うなど、公園活性化と博物館の誘客に努めた。 |                         |        |        |     |                    |
| 課題及び工夫・改善事項 |                             | R6事業予定<br>市民が文化財に触れることを通して秦野市への愛着を育み、生涯学習施設としての役割を果たすため、博物館展示室において、年8回の企画展を開催していく。                                                                                                                                                                                                                                                                           |                         |        |        |     |                    |
| 施策の目標       | 年 度                         | 令和2年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 3年度                     | 4年度    | 5年度    | 6年度 | 7年度                |
|             | 目標値<br>実績値                  | 目標現状値（R1）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | -                       | -      | 目標中間値  | -   | 目標値                |
|             | 指標名                         | 実績値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 実績値                     | 実績値    | 実績値    | 実績値 | 実績値                |
|             | 指定文化財特別公開の開催                | 4か所で実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | -                       | -      | 4か所で実施 | -   | 4か所で実施<br>ウォーキング事業 |
|             |                             | 新型コロナウイルス感染症拡大のため博物館で開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 新型コロナウイルス感染症拡大のため博物館で開催 | 4か所で実施 | 4か所で実施 |     |                    |
|             | 市内の国登録文化財等を紹介するガイドツアーの実施    | 年1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | -                       | -      | 年2回    | -   | 年3回                |
|             |                             | 年1回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 年3回                     | 年3回    | 年4回    |     |                    |
|             | フロアレクチャーや桜土手古墳公園を活用した新事業の実施 | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | -                       | -      | 1事業    | -   | 2事業                |
|             |                             | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | -                       | 2事業    | 4事業    |     |                    |

| 施策の総合評価          |    | 凡例                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |    | A：計画以上 B：計画通り C：少し遅れた D：大きく遅れた                                                                                                                                                                                                                    |
| 目標達成状況<br>(自己評価) | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | A  | 計画通りに企画展示及び事業を実施することができたことに加え、桜土手古墳公園を活用した新事業を実施したことで、来館者数は増加傾向にあり、より多くの人に文化財や市の歴史に触れる機会を提供できた。                                                                                                                                                   |
| 点検・評価会議の<br>評価   | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | A  | <p>当初の計画に基づいた企画展示及び事業を計画通りに実施できたことに加え、桜土手古墳公園を活用した様々な新事業は、子どもたちを含め、市民に文化財や歴史資源を知るきっかけとなっており、来館者数を増加させたことは大いに評価できる。</p> <p>今後は、周囲の風景や日々の出来事を素材にしたソーシャルメディアでの情報発信などの検討を期待する。</p>                                                                    |
| 教育長・教育委員<br>の評価  | 評価 | 評価に関する意見                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | A  | <p>はだの歴史博物館における展示や様々なイベントを通じて、市民に親しまれる場所にしたいという熱意が伝わってくる一年間であった。特に毎回タイムリーなテーマ設定のもとで開催された「ミュージアムさくら塾」、「企画展」や「体験型イベント」等は、市民の興味や関心を十分に引き寄せていると感じられる。来館者が年々増加していることも納得できる。</p> <p>これからも、年度や回を重ねる毎に、事業の質の向上や、市民ニーズに応えることに腐心すること多いと思うが、創意と工夫に期待したい。</p> |

## 第4章 学識経験者の総合評価

東海大学資格教育センター 教授  
大島 宏

### はじめに

平成29（2017）年3月、新たな学習指導要領及び幼稚園教育要領が告示された。幼稚園では平成30（2018）年、小学校では令和2（2020）年、中学校では令和3（2021）年から全面実施されている。秦野市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）では、この学習指導要領に対応した施策が計画されている。他方で、基本計画の策定直前である令和3年1月、中央教育審議会が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（以下、「令和3年答申」とする）を答申した。また、令和4年12月には、文部科学省が作成する生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書である「生徒指導提要」が改訂された。さらには、令和5年6月には、政府が定める第4期教育振興基本計画が閣議決定された。点検・評価の対象となった施策等をこれらの政策動向に位置付けることで、各施策の意義と課題を確認することとしたい。

### 1. 教育で何をを目指すのか

「令和3年答申」では、「急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力」について、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている」と指摘している。これは、政府が策定した第4期教育振興基本計画の今後の教育政策に関するコンセプトである「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」と共通するものである。

このうち、持続可能な社会の創り手の育成という視点は、秦野市教育振興基本計画の基本方針1「全ての子どもたちの可能性を引き出す

新たな学びのスタイルにより、持続可能な社会を創り出す力を育みます」とも共通している。また、ウェルビーイングの向上という視点は、基本方針４「市民の誰もが豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりを推進します」と関連する。

秦野市教育振興基本計画では、学校教育の施策として「新たな学びプロジェクトの展開」を設定し、「学習指導要領で求められている確かな学力の定着に向けて、園小中一貫教育を軸とした教育指導施策を展開し、子どもたちの学ぶ意欲や非認知能力を育み、教育水準の改善・向上を図る」ことを目指している。「非認知能力」には、自己認識や自己有用感、自尊感情、自己制御などの自分に関する事柄のほかに、他者の感情や思考の理解など他者や自分と他者や集団との関係構築に係る事柄を含む。その意味において、「新たな学びプロジェクトの展開」で目指されている「非認知能力」の育成は、「自分のよさや可能性を認識する」ことや「あらゆる他者を価値のある存在として尊重」すること、「多様な人々と協働」することと密接に関連し、ひいては「持続可能な社会の創り手の育成」や「ウェルビーイングの向上」に寄与するものといえよう。

なお、No.１「新たな学びプロジェクトの展開」に関する点検・評価会議や教育長・教育委員の評価では、「非認知能力」の育成について幼児期からの継続的な取組の必要性が指摘されている。しかしながら、No.４「一人ひとりを大切にした特色ある幼児教育の推進」では、この点が明確ではないように思われる。

## ２．子どもたちの学び

「令和３年答申」では、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」と名付け、子どもたちの学びのあり方として「個別最適な学び」と「協働的な学び」を提示している。秦野市教育振興基本計画においても、「基本方針１」において「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため」とその目的が説明されており、「令和３年答申」の内容が反映されている。つまり、基本方針１に係る施策・取組が「令和３年答申」で目指す、子どもたちの学びのあり方に関連するものと考えられる。

子どもたちの学びの姿の一つである「個別最適な学び」を進めるに当たっては、指導方法等の工夫改善はもとより、これまで以上に子どもの理解に努め、一人ひとりの興味・関心・意欲等を踏まえた、きめ細かい指導や支援が求められている。重点施策であるNo.1「新たな学びプロジェクトの展開」では、取組内容②「学びの基盤プロジェクトの推進」において、非認知能力の育成だけでなく、「個々の学力の定着度に注目した授業改善」に取り組んでいる。一人ひとりに注目することは、「個別最適な学び」の前提である子どもの理解という点で重要である。他方で、学力（の定着度）は、家庭の状況や経験、個々の興味や関心・意欲などを反映したものである。この観点を考慮した今後の展開に期待したい。また、「新たな学びプロジェクトの展開」の取組内容④「GIGAスクール構想の推進」では、学習端末のより効果的な活用の実現に向けた取組も展開されている。「令和3年答申」ではICTを活用して「子供の学習状況に応じた教材等の提供により、知識・技能の習得等に効果的な学びを行うこと」などにより、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別に最適な学び」や支援の可能性が指摘されている。「個別最適な学び」の充実にに向けたICTの活用にも期待したい。

ところで、「令和3年答申」では、もうひとつの学びの姿である「協働的な学び」に関連して、「学校が家庭や地域社会と連携することで、社会とつながる協働的な学びを実現する」ことが今後の方向性として提示されている。また、新しい学習指導要領の基盤となる「社会に開かれた教育課程」という考え方では、よりよい社会を作るという目標を学校と社会が共有し、地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現することが目指されていることにも留意したい。秦野市教育振興基本計画では、重点施策であるNo.5「学校マネジメントの強化」において、「『社会に開かれた教育課程』の実現を目指した学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、学校と地域の連携・協働を更に推し進め『地域とともにある学校づくり』を実現するため、学校と地域が一体となった教育活動を展開し、幼児、児童、生徒の豊かな成長につなげる」ことを目的とした取組が行われている。この施策の取組のうち、特に②「コミュニティ・スクールの推進」は地域と学校との連携・協働という観点から重要である。評価指標として設定された学校運営協議会は目標値を上回る18校で設置されたが、「全国学力学習状

況調査の学校質問紙における「コミュニティ・スクールと学校の教育水準の向上の取組の関連性」に関する項目の集計値は低いレベルにとどまっている。また、地域と学校の連携・協働のための仕組みである学校運営協議会と地域学校協働活動について、「二つの事業趣旨がまだ十分理解されていないこと」が課題及び改善事項として指摘されている。「令和3年答申」でも「連携・分担による学校マネジメントを実現する」ことが今後の方向性の一つとして提示されているが、No.5「学校マネジメントの強化」が、その目的である「学校と地域が一体となった教育活動を展開し、幼児、児童、生徒の豊かな成長につなげる」ための工夫・改善となることを期待したい。

### 3. 多様な教育的ニーズへの対応

いじめや長期欠席・不登校などの生徒指導上の課題を抱える子どもや外国にルーツがある子ども、発達障害、貧困、ヤングケアラー、性同一性障害や性的指向・性自認に悩みを抱える子どもなど、社会構造や家庭をめぐる環境の変化や子どもたちの多様化により、学校は様々な課題に直面している。こうした状況を受けて、「令和3年答申」では、今後の方向性の一つとして、「学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する」ことを掲げている。特に義務教育段階では、「多様な教育的ニーズのある子供たちに対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要であり、実態として学校教育の外に置かれることのないようにするべきである」ことが強く求められている。政府の第4期教育振興基本計画でも、今後の教育政策の基本方針の一つとして「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」を掲げ、「一人一人の多様なウェルビーイングの実現のためには、誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す学びを、学校をはじめとする教育機関の日常の教育活動に取り入れていく必要がある」と述べている。

多様な教育的ニーズを踏まえて、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現することは、すべての子どもが「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を

切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」ことに寄与することになる。多様な教育的ニーズへの対応は、理念的には秦野市教育振興基本計画の基本方針Ⅰに係るすべての施策に関連することであるが、具体的な取組としては、No.2「インクルーシブ教育の推進」、No.4「一人ひとりを大切にした特色のある幼児教育の推進」（取組内容②「個に応じた支援の充実」）と密接に関連していよう。なかでも、No.2「インクルーシブ教育の推進」では、「インクルーシブな学校運営モデル事業」に採択され、「フルインクルーシブ教育の実現に向け、障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指し、具体的な教育活動の実践研究」の展開が予定されている。インクルーシブ教育が多様な子どもたちが同じ場で学ぶことにとどまることなく、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた取組となり、さらに一人ひとりの子どもたちが「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重」できるようになることを期待したい。

いじめや不登校など生徒指導上の課題への対応も、多様な教育的ニーズへの対応として位置付けることができる。秦野市教育振興基本計画ではNo.3「いじめ・不登校等の対策の推進」がこれに該当しよう。ただし、いじめや不登校等の生徒指導上の課題への対応は、課題を抱える特定の子どものみが対象ではない。令和4年12月に改訂された「生徒指導提要」では、生徒指導を①「発達支持的生徒指導」、②「課題予防的生徒指導：課題未然防止教育」、③「課題予防的生徒指導：早期発見早期対応」、④「困難課題対応的生徒指導」の4層からなる生徒指導の構造を提示している。特に①「発達支持的生徒指導」は、児童生徒の「個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支える」ことを目指したすべての児童生徒を対象とした働きかけである。その意味において、No.3「いじめ・不登校等の対策の推進」の取組内容③「いじめを考える児童生徒委員会の推進」のような取組がさらに充実することを期待したい。

なお、「非認知能力」の育成を目指したNo.1「新たな学びプロジェクトの展開」の取組内容②「学びの基盤プロジェクト」は、多様性を認め、包摂性を高めるという点において、多様な教育的ニーズへの対応としても意義を認めることができよう。

#### 4. 教師を支える環境整備と働き方改革

学校が直面している様々な課題に学校の有する資源のみで対処し、さらに学校における働き方改革を推進することは難しい。そのため、「令和3年答申」では、「連携・分担による学校マネジメントを実現する」ことを今後の方向性として掲げ、外部人材や専門スタッフ等の多様な人材が指導に携わることのできる学校の実現や学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たしつつ相互に連携・協働して、地域全体で子どもの成長を支える環境の整備が求められている。このような多様な人材の活用は、教師の勤務環境の改善・働き方改革の一助となるものである。

外部人材の活用という点では、No.2「インクルーシブ教育の推進」の取組①～③や施策No.3「いじめ・不登校等の対策の推進」ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携による「学校内外の相談体制の充実」に取り組んでいる。また、No.6「学校における働き方改革の推進」における「部活動スタートアップ事業の展開」や「スクールサポートスタッフの効果的な活用」の取組もこれに当たるだろう。このほかNo.5「学校マネジメントの強化」における「コミュニティ・スクールの推進」や地域学校協働活動もこれとの関連を見出すことができる。このような取組が教師の働き方改革につながることを期待されるが、働き方改革の域にとどまっては意味がない。例えば、No.6「学校における働き方改革の推進」の目的は、「働き方を見直し、教育水準の改善・向上のため、自らの授業を磨く」ことであり、「自らの人間性や創造性を高め、教職員としての自信と誇りを持って子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができる」ようにすることである。このように、働き方改革は教育活動の充実のための取組であることに留意すべきであろう。そのためには、学校で働く人材の多様性を考慮したマネジメントが不可欠であることは言うまでもない。

## 5. 施設・設備の整備と学校安全

「令和3年答申」や国の第4期教育振興基本計画では、学校施設のあり方について言及している。このような学校の施設・設備に当たって最も重要なことは、当然のことながら子どもたちの安全・安心を保証しつつ、学びの充実を実現することである。施設・設備の整備が学校における教育実践と有機的に関連し、教育活動の充実に資することを期待したい。

また、学校は、地域の人々にとっては、様々な活動の場であり、また災害時の避難場所である。したがって、施設・設備の整備に当たっては、地域における機能や役割についても考慮する必要があることは言うまでもない。基本計画ではNo.7「学校施設長寿命化の推進」やNo.12「教育施設の一体的整備の推進」などに位置付く取組において施設・設備の整備が進められているが、No.7「学校施設長寿命化の推進」に関する点検・評価会議や教育長・教育委員の評価においても、地域の防災拠点との観点からの言及がなされている。また、このような観点から、学校の安全管理を行う必要があることにも留意したい。

### おわりに

「計画」とは何のためにあるのだろうか。今回もこのことを改めて考えさせられた。

教育によって育てたい姿とはどのような姿なのか。そのためにどのような資質や能力を身に付ける必要があるのか。このことを実現するために計画がある。

しかし、計画には指標が設定され、その指標の達成度によって評価されることになる。その結果、指標を達成することが計画を達成することと同義になっている場合も少なくない。

何を実現するための計画なのか、点検・評価を通じて振り返る機会となれば幸いである。

## はじめに

生涯学習や社会教育に関する分野を扱うセクションが教育委員会から文化スポーツ部に移管されて数年になることから、その扱いにどのような変化が表れているのかについて確認してみたいと思いました。もちろん、補助執行ということで、実質的には従来と変わらず、教育委員会の意向が強く浸透しているものと思いつながらも、若干の不安があるからです。ただし、市民の学習環境も多様化・複雑化し、従来からの社会教育に対する考え方のみでは捉えられず、生涯学習という新たな観点、あるいは、地域コミュニティやまちづくりという捉え方に変容しているという事実を無視する訳にもいかないと思います。

今回は、手元にある“令和6年度(5年度事業)点検・評価シート”の関連項目の確認をさせていただき、その後、「令和5年度主要施策の基本方針4」、すなわち、“市民の誰もが豊かな人生を送ることができる環境づくり”についての感想などを述べさせていただきます。

## Ⅰ 生涯にわたって学び続けるための施設について

### Ⅰ-Ⅰ 地域コミュニティの活動拠点としての公民館事業について

社会教育の今後についての中央教育審議会の最近のテーマは、“地域コミュニティの基盤を支える社会教育のあり方”であり、特に、公民館、図書館、博物館などにおける社会教育活動、青少年教育施設等における青少年体験活動、共生社会の実現に向けた障害者・外国人等を含めた社会教育等を重点課題として審議が行われており、まさに、今回の点検・評価シート No.13 に相当するものであり、いち早い取組であったと評価できるが、先の重点課題の追加も検討していただきたい。

No.13 での取組事業として、市民提案型事業の充実、公民館協働事業の充実、地域協働事業の充実などの事業が、地域まちづくりコーディネーターとしての公民館長を中心に展開されるとあるが、具体的活動例、その成果などが「公民館事業評価報告」などに網羅されているのであればひと安心である。なお、地域コミュニティや地

域まちづくりが今後の社会教育活動の重要事項であるとすれば、市民の理解と協力が必要であり、教育委員会の協力による、より積極的な周知徹底が望まれる。

公民館、図書館のいずれについても「施設長寿命化の推進等」が点検・評価の対象となっていることは、それぞれの施設の重要性に鑑み当然のことであるが、取組内容は、計画的改修、計画的更新であり、長期的には施設そのものの改修、建て替えなどについても言及されていることは評価したい。ただし、いつまでに、どのような建て替えが行われるのかについての具体的な計画が見えない点は不安である。公共施設再配置計画がベースとなるであろうが、個々の施設の必要条件是必ずしも同じではないことも考慮したうえで、地域に住む人々の思いなどをしっかりと聞き取っての計画案作成を望みたい。

図書館については、全国的にも見直しの傾向にあり、あまねく、より良い利用が可能になるように、分館、専門別図書館、あるいは、貸し借り手続きの利便性、また、児童生徒の読書離れ改善の手段としての幼児・児童図書館設立なども話題にあがっている。

また、図書資料の選定に当たって、市民、あるいは近隣書店との協力によるまちも散見されていることも参考にしたい。図書館関係組織や大手企業のノウハウの提供依頼も増えつつあるが、市民のための図書資料であることを忘れずに、必要図書資料の購入、保管、開架を心がけてほしい。（主要施策 No.13.14.17.18 を中心として）

## 1-2 公民館、図書館における地域学習の推進について

公共施設についての計画案を検討する場合に、必要経費なども考慮し、修理・補修についての計画が先行するケースが多いが、点検・評価シート No.14 の施策は、魅力ある地域学習の推進ということで、「はだの生涯学習講座」、「報徳仕法啓発事業」、「夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会」、「市民大学」等が開催されるなど、市民の学習チャンスをしっかりと実施していることは評価したい。ただし、点検・評価会議や教育委員の評価でも指摘されていることであるが、それぞれの事業についての改善工夫が十分でないこと、特に、学校との連携の姿が見えづらくなりつつある点など、教育委員会との協力・連携を強化し、未来に向けての積極的な事業と

なることを期待したい。特に、企画・実施についての市民との協働作業の見直しについても考慮してほしい。

GIGAスクール構想などによって、全ての児童生徒が学習用端末に触れる機会が多くなることによって、読書量の低下が懸念されるという報告も散見されるが、悩むばかりでなく、学校図書館として、ICT機器の導入を検討することも必要であると考えても良いのではなかろうか。端末機器を活用することによって、多数の児童生徒が、同時に、同一の作品に触れる事ができるし、それは図書館などの読み聞かせ事業においても同様であろう。準備費用の問題や書店等との検討等も必要となろうが、喫緊の課題でもある。

点検・評価シート“No.16 子ども読書活動の推進”は、図書館活動の中でも重要な施策であることは紛れもない事実である。中でも、長年の事業であるブックスタート事業は、地味ではあるが、多くの市民からの高い評価もあり、引き続き継続していただきたい。

また、団体貸出の利用が増加しつつあると伺っているが、幼・保・こども園などでの利用に団体貸出の方法を活用することも必要と考えられる。これらの施設では、図書購入費用などは微細であり、図書館と各施設との定期的な持ち回りにによって、かなりの絵本に触れるなどの魅力的な手段でもあるという他市町村からの報告を目にした事がある。購入図書希望アンケート先を幼・保・こども園に限っても、絵本などの選定に役立つことであろう。なお、先の文面と重なる部分でもあるが、地域の書店などとの交流も活発に行い、それぞれの役割についての話し合いをすることも、購入資料の無駄を省くためにも必要なことと思われる。新刊ばかりに目を奪われることなく、長い間、子どもたちや保護者によって語り継がれている古いと思われる絵本、児童書などの保存や紹介も公共図書館としてのあるべき姿ではなかろうか。(主要施策 No.15,16,18 を中心として)

## II 歴史、文化資料などの将来への継承を期待して

現代に生きる私たちの生活環境改善のヒントとしての歴史資料は重要な役割を担っているはずであり、博物館等での保存、展示、そして、講座や解説資料の発行などを積極的に行われなければならない。合わせて、研究・教育のための部門の強化もおろそかにはせ

ず、より積極的な計画案の設定、市民への働きかけなどの努力も必要であろう。収蔵保管場所不足の問題も、時の流れとともに、貴重な資料の散逸などを招きかねない事態になりうるので、喫緊の課題ととらえ、教育委員会や生涯学習課、そして市民と協働して解決に向かう方法をまとめるべきであり、生涯学習推進計画案の重要課題として、社会教育委員会を中心に検討して欲しい。

「はだの歴史博物館」の存在については、まだまだ市民はもとより、近隣市町村の人々に対しても周知不足と思われるので、積極的な紹介をお願いしたい。多くの人々の目に触れることによって、隠れた歴史的文化的資料の更なる発見もあり得ると考えられる。(主要施策 No.19,20 を中心として)

### Ⅲ 社会教育と学校教育等との連携強化について

従来から“いじめを考える”をテーマに開催されていた「いじめを考える児童生徒委員会」が、「こども基本法」の施行に伴い「秦野こども未来づくり会議」と名称変更されたことで、いじめ撲滅運動はさらに前進すると思うが、市民、特に社会教育関係者との連携、協働による工夫がない限り、実際の解決策には至らないのではなかろうか。他市町村の多くが、いじめ問題対策としての各種の対策会議などが設置されていても、実態報告が主なる会議内容で終わっている場合が少なくなく、撲滅の方向には程遠いともいわれている。本市においては、児童生徒の冷静な見方を中心にした実のある事業であることを願わずにはいられない。また、ヤングケアラー問題もいじめ問題と関わりが多く、家庭環境問題も関連し、学校関係者のみでの解決は困難であり、教育委員会と生涯学習部門との強い連携による行動が必要であろう。明治時代のある資料の中の、“12、3歳の兄は馬を引き、7、8歳の妹が弁当を持って両親と共に、田畑に向かう“(福島県行政歴史資料より引用)という文章を思い出す。幼少の頃から、父母とともに労働に従事することによって成長している姿は、「ヤングケアラー」という現代的事象解決のために、“労働者と学び”という観点から研究・検討することも考えてみてはいかがであろうか。(主要施策 No.3,4 を中心として)

## まとめ

先の、今年度主要施策の5つの基本方針のうちの4、5が、私が確認させていただいた、いわゆる社会教育、あるいは生涯学習に関わる項目であり、従来どおり、教育委員会の主要業務とされており、地域コミュニティの活動拠点としての公民館の位置付け、読書活動推進のための図書館活動への取組、そして、歴史資料保存や公開の大切さなどについても温かく見守り、支援している実態に触れる事ができ、私が懸念していた補助執行による社会教育行政の希薄化の不安は解消されました。ただし、私の見方が偏っているのかもしれませんが、教育委員会等の評価の大部分が、“期待したい”、“努力をしてほしい”のように、おだやかな表現での意見が多い事が、補助執行による教育委員会のあり方として気になったことも事実です。

費用対効果などの実状を理解してのこととは思いますが、担当職員の工夫ばかりに頼るのではなく、必要経費の捻出、専門職員の完全配置計画、あるいは快適学習環境俯瞰プランなど、公民館、図書館、博物館等の公共的学習施設の理想案を市民とともに検討する時期でもあると思います。もちろん、いくつかの前提条件のもとでのプランであることも付記しなければならないでしょう。

また、「はだのE-Lab」が開設されることによって、教育研究所が新しい道を歩むとの事ですが、例えば、秦野市の教育の優れた面や学生ボランティアが容易に活動できるために、単なる支援協力ではなく、「寄附講座」のような形で、近隣大学のカリキュラムの一端を担うことも考えてはどうでしょうか。講座受講学生は、講義の一環としての実習を市内の教育施設や社会教育施設で正規に行い、正式な単位としても認められることになれば、まちにとっても、大学にとっても良い結果が得られるように思います。長い歴史を誇る公立幼稚園としてのノウハウの提供や絵本などの幼児児童図書の新たな研究も、その講座を中心に可能となるでしょう。はだのE-Labや公民館などの新たなあり方をぜひ検討していただきたいと思うところです。（講座名は、『E-Labゼミ』なども考えられますね）

社会教育・生涯学習などの施策の重要さに鑑み、これからも市民部のみに委ねることなく、教育委員会としての意向も積極的に提案し、市民の学習環境構築のより良い発展にご尽力をお願いしたいと思います。



## おわりに

秦野市教育委員会による令和６年度の「教育行政点検・評価報告書」を提出いたします。

この点検・評価は、教育行政の効果的な推進と市民への説明責任を果たすことを目的に、関係各課等における事務の管理・執行状況について、「教育委員会の活動状況」及び「基本方針に基づく主要施策」の２つの視点から実施しました。

また、点検・評価の対象となる主要施策は、令和３年度を実行初年度とする秦野市教育振興基本計画の進捗状況を経年で管理していくため、昨年度と同様の２０施策とし、学校教育や生涯学習の関係者で組織する「教育施策点検・評価会議」における、第三者的な視点からの点検・評価、御意見をいただくとともに、学識経験者の総合評価を活用しながら教育長・教育委員による点検・評価を行いました。

P D C A サイクルに基づき、点検・評価結果をフィードバックし、各施策のチェックを踏まえ、次のアクションをどのように展開していくか、引き続き、各施策の目標達成に向けて着実に事業を推進してまいります。

コロナ禍も経た中で、学校は「教える」から「学ぶ」への転換期を迎え、子どもたちの学びのスタイルが大きく変わろうとしています。

このような流れの中で、教育委員会の役割と使命を自覚し、複雑・多様化する教育課題に対しては、様々な立場の方からの意見を聴きながら最適値と納得解が導き出せるよう、学校教育と社会教育のより一層の連携・協働により、本市の教育の充実・向上に努めてまいります。

最後に、学識経験者として総合的な評価をいただきました東海大学資格教育センターの大島宏教授、東海大学の逢坂伸一名誉教授に厚く御礼申し上げます。

併せて、御協力いただきました教育施策点検・評価会議の委員の皆様に、心より感謝申し上げます。



---

令和 6 年度 教育委員会教育行政点検・評価報告書

令和 6 年 9 月発行

編集・発行 秦野市教育委員会

秦野市桜町 1 - 3 - 2

電話 0463-84-2783

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/>

---